

安城市市民アンケート調査報告書

令和2年3月

目 次

I	調査の概要及び報告書の基本事項	1
1	調査の概要	1
2	報告書の基本事項	3
II	調査対象者（回答者）の属性	5
III	調査結果	11
1	住みやすさについて	11
(1)	住みやすさ	11
(2)	住みにくい理由	13
2	安城市の取組みについての評価	16
(1)	評価分析方法	16
(2)	満足度	17
(3)	重要度	35
(4)	満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係分布	53
3	日常生活について	55
(1)	健康状態について	55
(2)	食生活の問題点	56
(3)	1日の歩行時間	57
(4)	スポーツ・運動	59
(5)	みるスポーツ	61
(6)	外出先への移動手段	62
(7)	安城市内での移動手段	64
(8)	今後の自転車の利用	66
(9)	安城市の文化や芸術への愛着や誇り	68
(10)	デンパークの満足度	70
(11)	子育て中の人への就労環境の整備	71
(12)	消費生活に関する相談体制	72
(13)	自治基本条例の認知度	73
(14)	マイナンバーでの証明書等コンビニ交付サービスの利用予定状況	74
(15)	地震への備え（家具等の転倒防止）	76
(16)	地震への備え（食料や飲料水の備蓄）	77
(17)	「健幸」の認知度	78
(18)	「健幸」のために普段から心掛けていること	79
3	自由記入意見のまとめ	82
(1)	自由記入意見の内訳	82
(2)	主な意見	83
IV	調査票	93

I 調査の概要及び報告書の基本事項

1 調査の概要

1) 調査の目的

安城市では、平成 28 年に第 8 次安城市総合計画（平成 28 年度（2016 年度）～令和 5 年度（2023 年度））を策定し、目指す都市像「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に向け、あらゆる施策分野に健康の視点を取り入れ、安城市の特性を活かした個性あるまちづくりを進めています。

<総合計画とは？>

総合計画とは、安城市のまちづくりを進める上で最も重要な基本となる計画で、市が目指すまちづくりの方向性や、それを実現するために取り組むべきことを定めた計画です。

第 8 次安城市総合計画は、「幸せつながる健幸都市 安城」をテーマに次の 5 つの要素について目標とするまちの姿を掲げ、具体的な施策や事業を推進しています。



幸せつながる
健幸都市 安城

<目標とするまちの姿>	
「健康」	生涯にわたり心身ともに健康にすごせるまち
「環境」	くらしの質を高める持続可能なまち
「経済」	地域の魅力、潤いと活力あふれるまち
「きずな」	人々が優しくつながり、支え合う安全安心なまち
「こども」	子どもたちを社会で豊かに育むまち

「第 8 次安城市総合計画」は市公式ウェブサイトで見ることができます。

市公式ウェブサイト

<http://www.city.anjo.aichi.jp/>

本調査は、第 8 次安城市総合計画における目指す都市像「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に向けて各取組みを進める中、市民の生活意識や市政の各取組みに対する満足度、重要度を把握することにより、計画の進捗状況の把握や今後の取組みへの基礎資料を得ることを目的とします。

2) 調査対象および調査方法

調査地域	安城市全域
調査対象者	市内在住の 18 歳以上の男女
標本数	3,000 人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	令和元年 5 月 10 日（金）～令和元年 5 月 31 日（金）

3) 調査票の回収状況

配布数	3,000 件
回収数	1,875 件
回収率	62.5%
有効回答数	1,875 件
有効回収率	62.5%

※回収数は無効回答（調査票への記載が全くなかったもの等）を含めた回収数。有効回答数は無効回答を除いた回収数。本調査では無効回答が無かったため、回収数と有効回答数が同数となっています。

4) 調査項目

調査項目	1 調査対象者（回答者）の属性 2 安城市の住みやすさについて 3 これまでの安城市の取組みに対する満足度 4 今後、安城市が取り組むことの重要性 5 日常生活について
------	--

2 報告書の基本事項

1) 報告書の見方

- ・図表中の「n」は、アンケートの有効回答数を示しています。
- ・回答率（％）は、その質問の回答者数を母数（n）として算出しています。
- ・比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため比率の合計が100.0%にならないこともあります。
- ・複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数とし、その項目を選んだ人が、全体からみて何%なのかという見方をしています。そのため、各項目の比率の合計は通常100.0%を超えます。
- ・本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。

2) 居住地区区分について

市民アンケートを分析するにあたり、居住地区については「中学校区（全8区分）」を単位に分析しました。

■図表1 居住地区区分



II 調査対象者（回答者）の属性

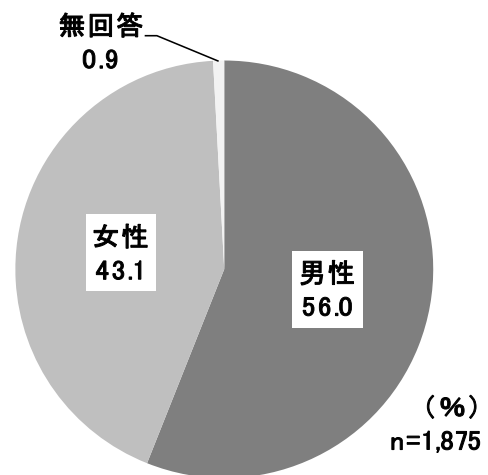
問 1 あなた自身についておたずねします。該当するものをそれぞれ 1 つずつ 選んで、番号に○をつけてください。

1) 性別

回答者の性別は、「男性」が 56.0%、「女性」が 43.1%となっています。

■図表 2 性別（全体）

	n	%
男性	1,050	56.0
女性	809	43.1
無回答	16	0.9
全 体	1,875	100.0



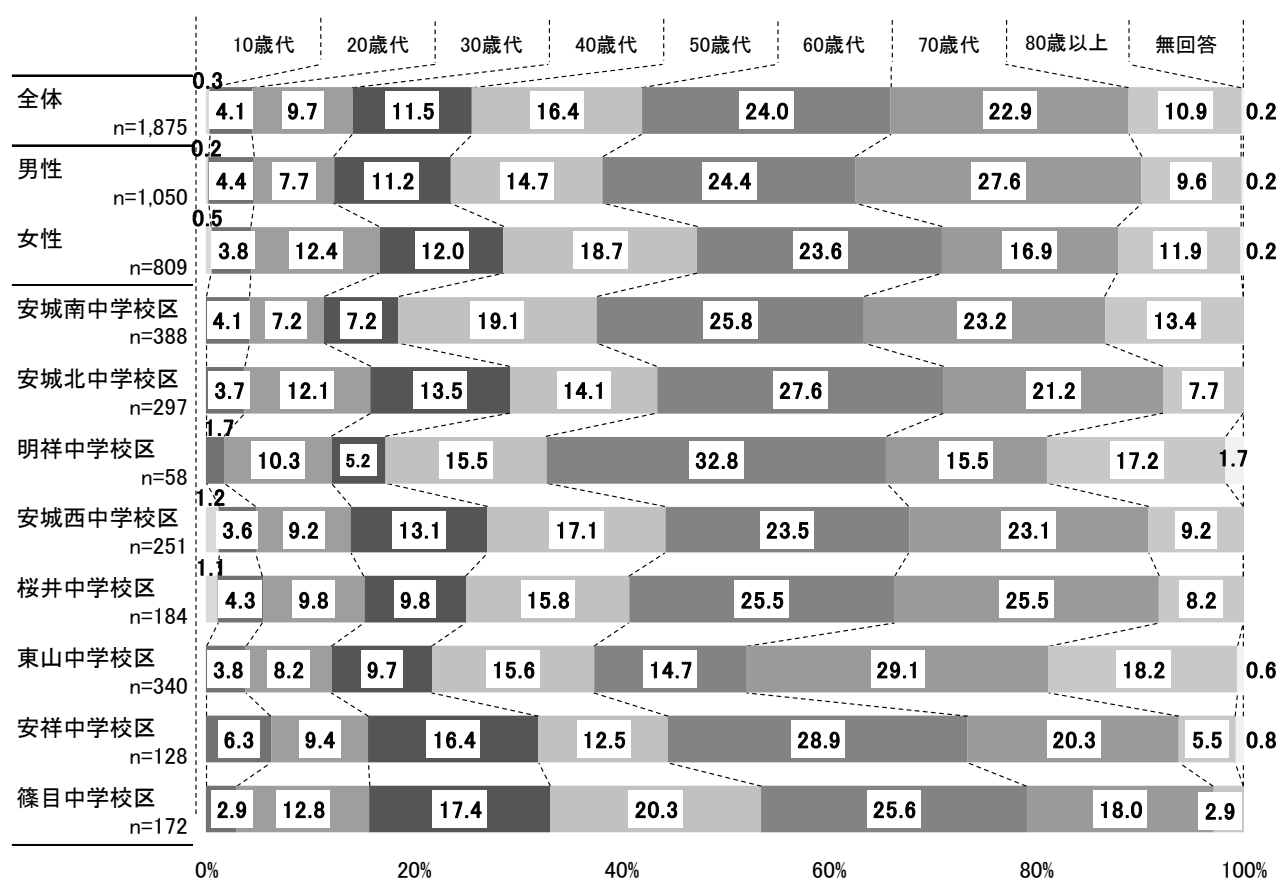
2) 年齢

回答者の年齢について、全体でみると、「60 歳代」が 24.0%で最も高く、次いで「70 歳代」(22.9%)、「50 歳代」(16.4%)となっています。

性別でみると、男性は「70 歳代」(27.6%)、「60 歳代」(24.4%)、女性は「60 歳代」(23.6%)、「50 歳代」(18.7%)の順になっています。

居住地区別でみると、「60 歳代」の割合が最も高い地区が多く、安城南中学校区(25.8%)、安城北中学校区(27.6%)、明祥中学校区(32.8%)、安城西中学校区(23.5%)、安祥中学校区(28.9%)、篠目中学校区(25.6%)となっています。また、桜井中学校区では「60 歳代」と「70 歳代」がいずれも 25.5%と高く、東山中学校区では「70 歳代」(29.1%)が最も高くなっています。

■図表 3 年齢（全体・性・居住地区別）



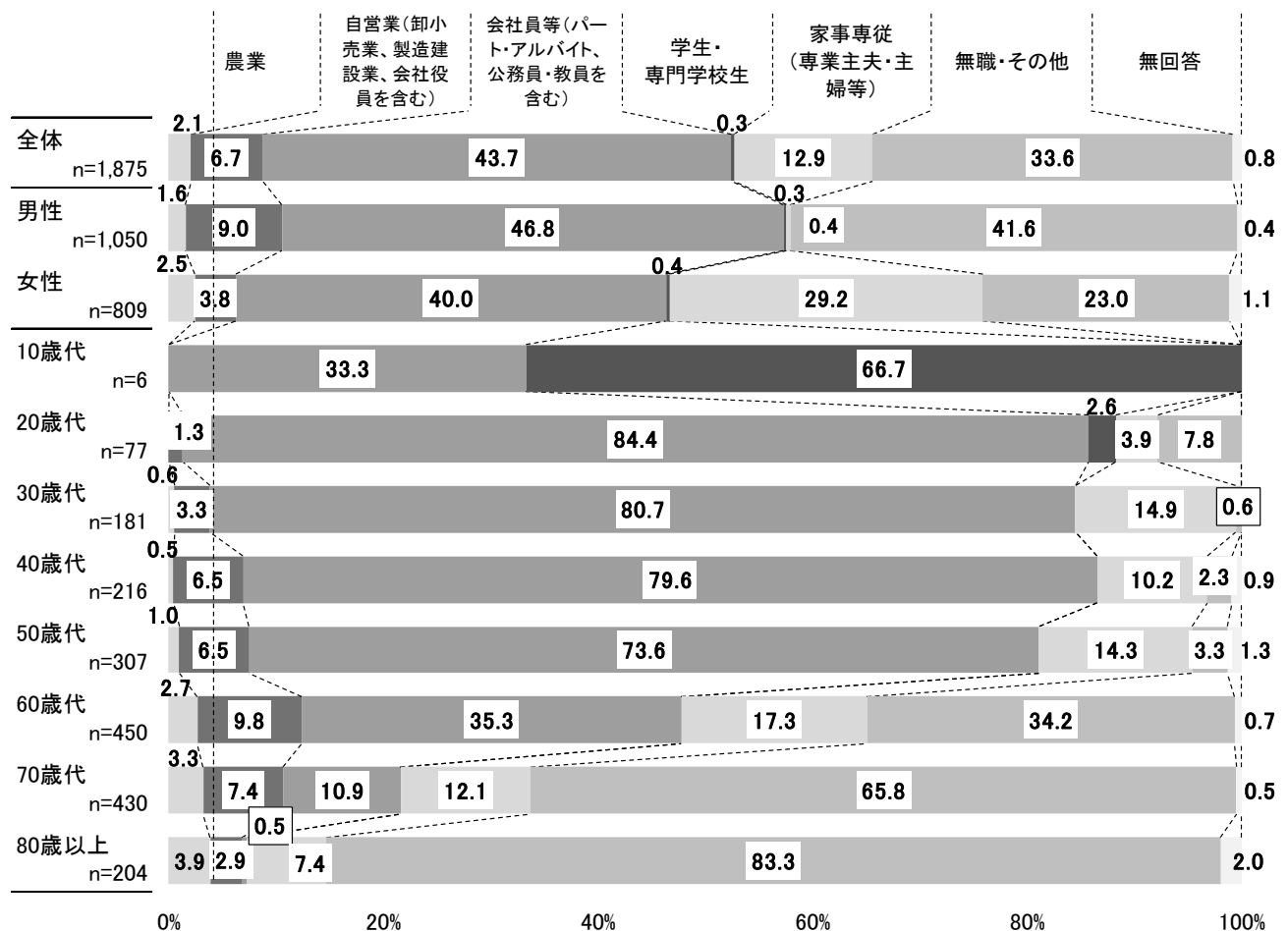
3) 職業

回答者の職業について、全体でみると、「会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む）」が 43.7%で最も高く、次いで「無職・その他」（33.6%）、「家事専従（専業主夫・主婦等）」（12.9%）となっています。

性別でみると、男性は「会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む）」（46.8%）、「無職・その他」（41.6%）、女性は「会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む）」（40.0%）、「家事専従（専業主夫・主婦等）」（29.2%）の順となっています。

年齢別でみると、20 歳代～50 歳代では「会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む）」が最も高く、7 割以上となっています。10 歳代では「学生・専門学校生」（66.7%）、70 歳代・80 歳以上では「無職・その他」（65.8%、83.3%）が最も高くなっています。

■図表 4 職業（全体・性・年齢別）

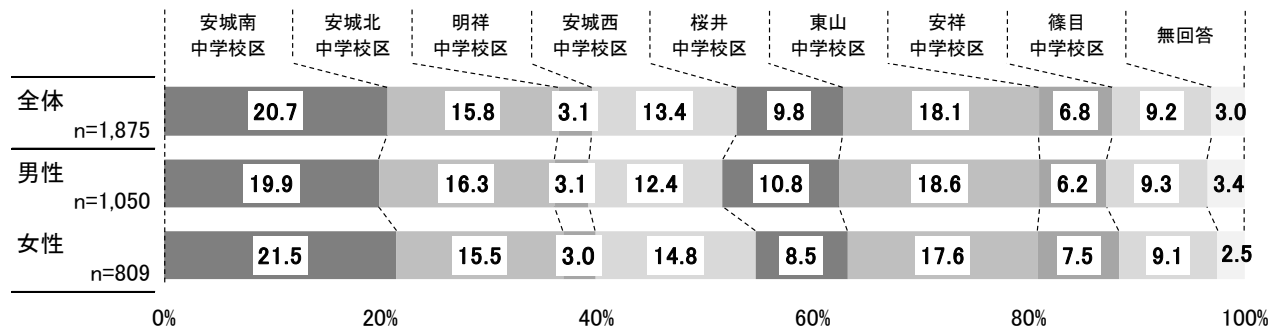


4) 居住地区（中学校区）

居住地区について全体でみると、「安城南中学校区」が20.7%で最も高く、次いで「東山中学校区」（18.1%）、「安城北中学校区」（15.8%）となっています。

性別による大きな差はみられません。

■図表5 居住地区（中学校区）（全体・性別）



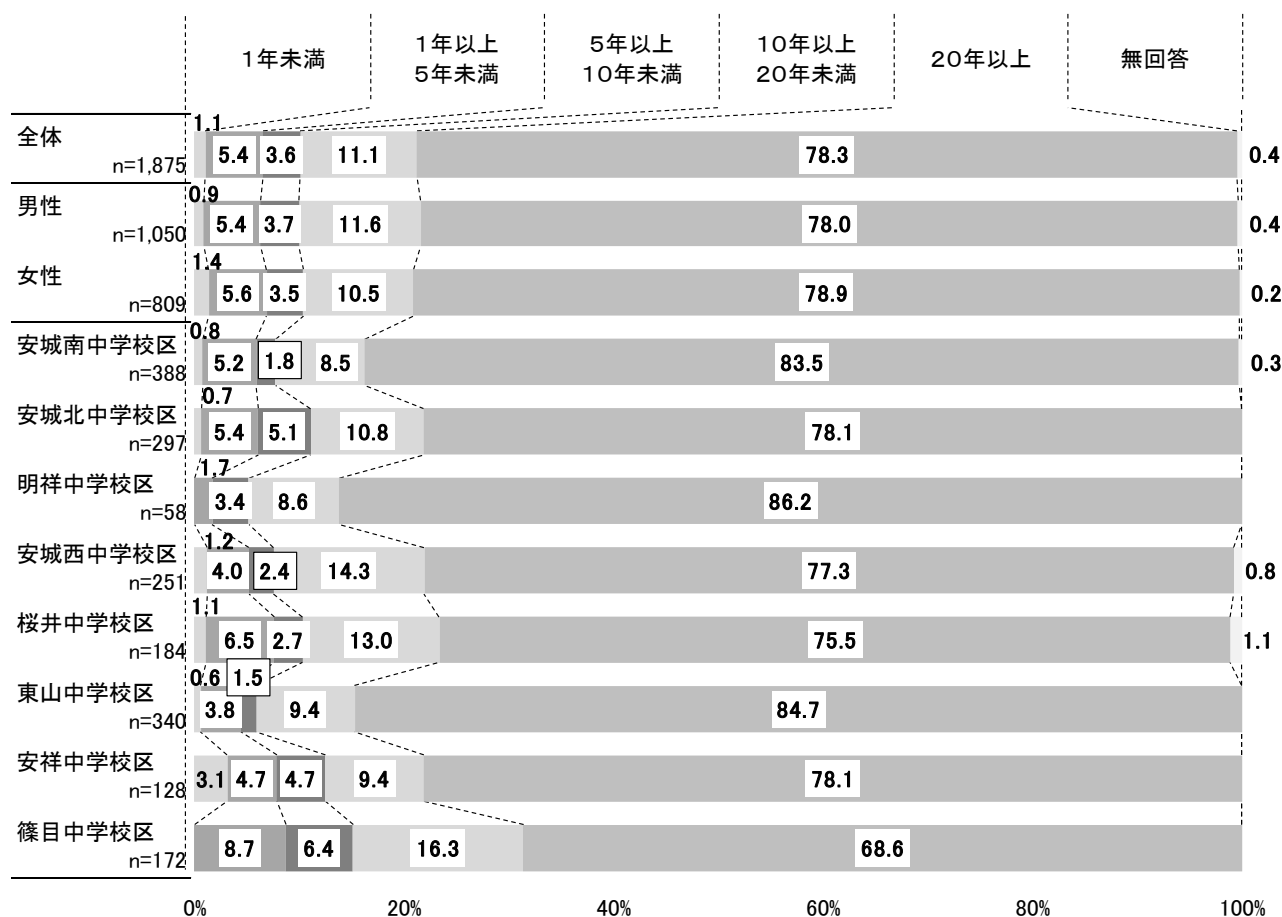
5) 居住年数（通算年数）

居住年数について、全体でみると「20年以上」が78.3%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が11.1%となっており、両者を合わせた“10年以上”が約9割（89.4%）となっています。

性別による大きな違いはありません。

居住地区別でも、すべての中学校区において「20年以上」が最も高くなっています。

■図表6 居住年数（全体・性・居住地区別）



III 調査結果

1 住みやすさについて

(1) 住みやすさ

問2 安城市の住みやすさについて、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

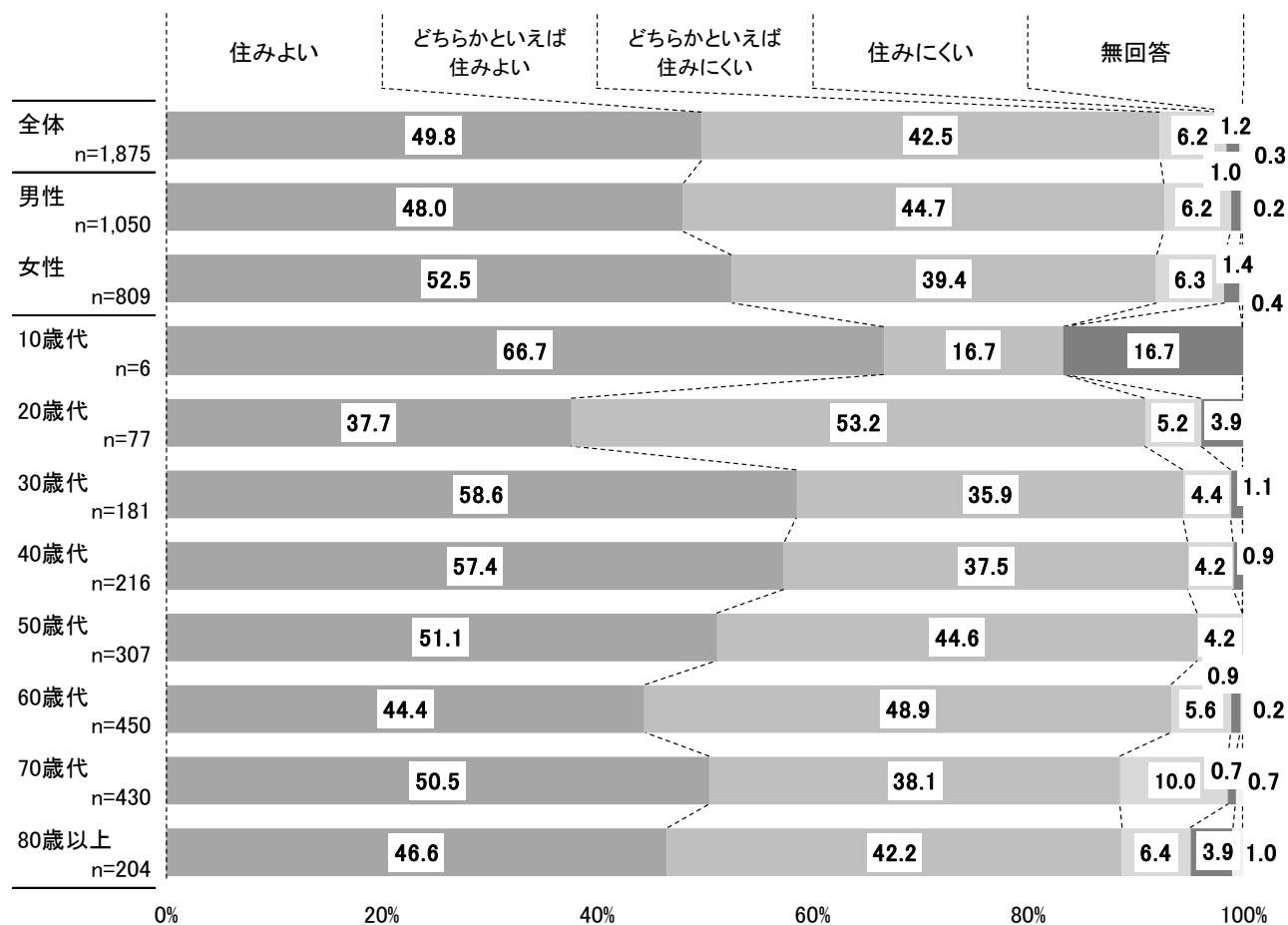
安城市の住みやすさについて、全体でみると「住みよい」が49.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば住みよい」が42.5%となっており、両者を合わせた“住みやすい”とした人の割合は9割以上(92.3%)となっています。

一方、“住みにくい”（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）は7.4%となっています。

性別でみると、“住みやすい”とした人は、男性では92.7%、女性では91.9%となっています。

年齢別でみると、20歳代～60歳代では9割以上が“住みやすい”と感じており、中でも50歳代(95.7%)が最も高くなっています。なお、「住みよい」のみの割合では10歳代が最も高く、66.7%となっています。

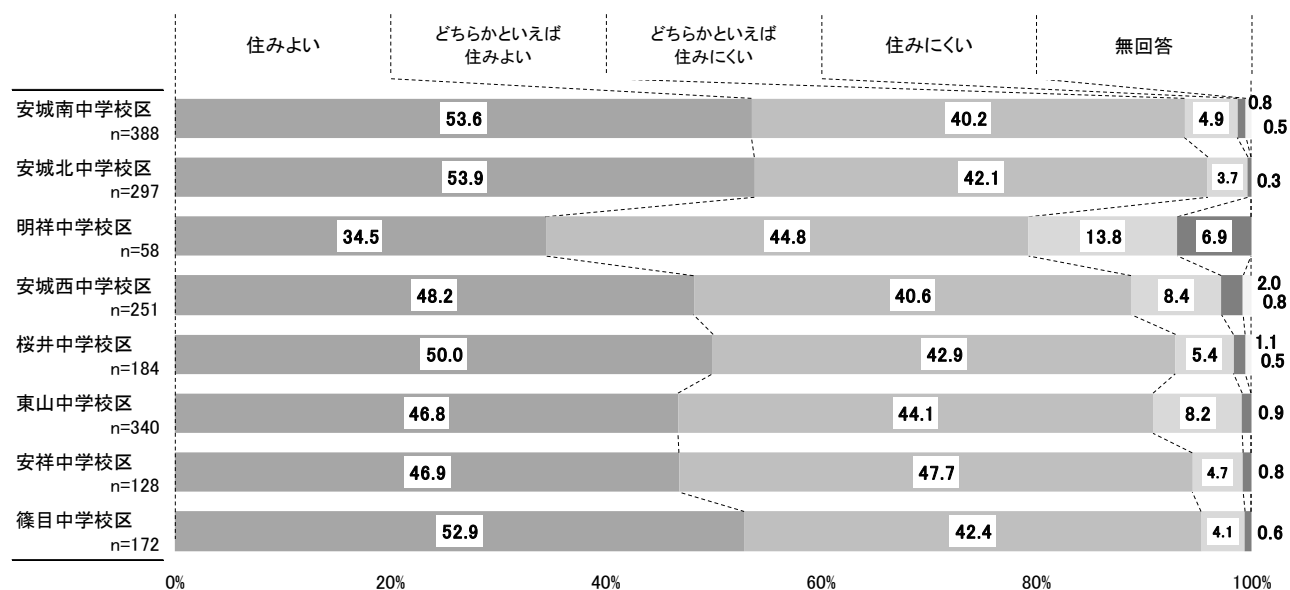
■図表7 住みやすさ（全体・性・年齢別）



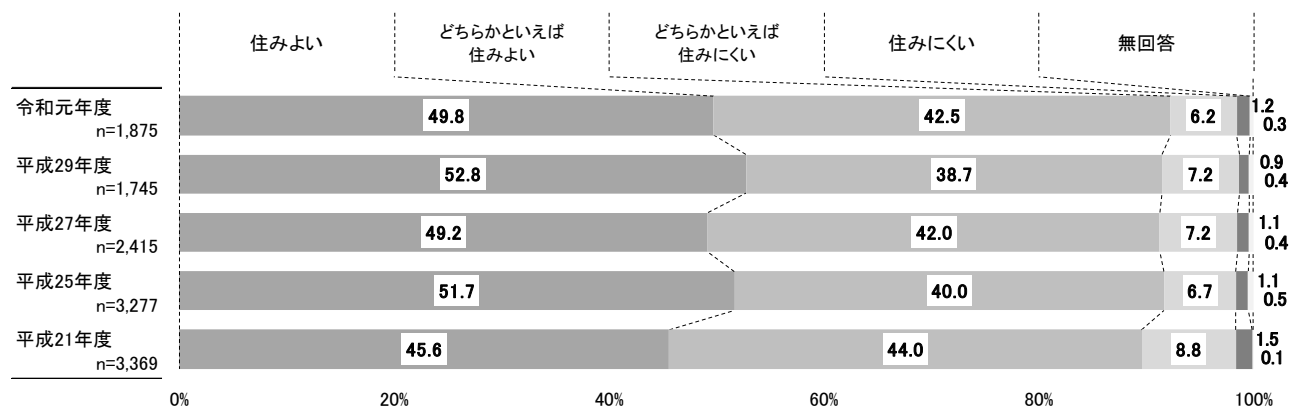
居住地区別では、「住みよい」が最も高いのは「安城北中学校区」の 53.9%で、次いで「安城南中学校区」（53.6%）、「篠目中学校区」（52.9%）となっています。「住みやすい」の割合は、安城西中学校区（88.8%）と明祥中学校区（79.3%）を除く 6 地区で 9 割を超えています。「明祥中学校区」では「住みよい」の割合が 34.5%と他の中学校区より低く、「住みにくい」の割合が 20.7%と他より高くなっています。

過去に実施した調査との比較では、平成 29 年度と比べて「住みやすい」の割合は 0.8 ポイント増加（「住みよい」-3.0、「どちらかといえば住みよい」+6.8）し、「住みにくい」の割合は 0.7 ポイント減少しています。

■図表 8 住みやすさ（居住地区別）



■図表 9 住みやすさ（過去に実施した調査との比較）



(2) 住みにくい理由

問3 問2で「3 どちらかといえば住みにくい」または、「4 住みにくい」と回答した人におたずねします。
住みにくいと思う点について、次の中から2つ選んで、番号に○をつけてください。

住みにくい理由について、全体でみると、「交通の便が悪い」が55.4%で最も高く、次いで「日常の買い物が不便である」(34.5%)、「騒音、大気汚染等自然環境が悪い」(11.5%)となっています。

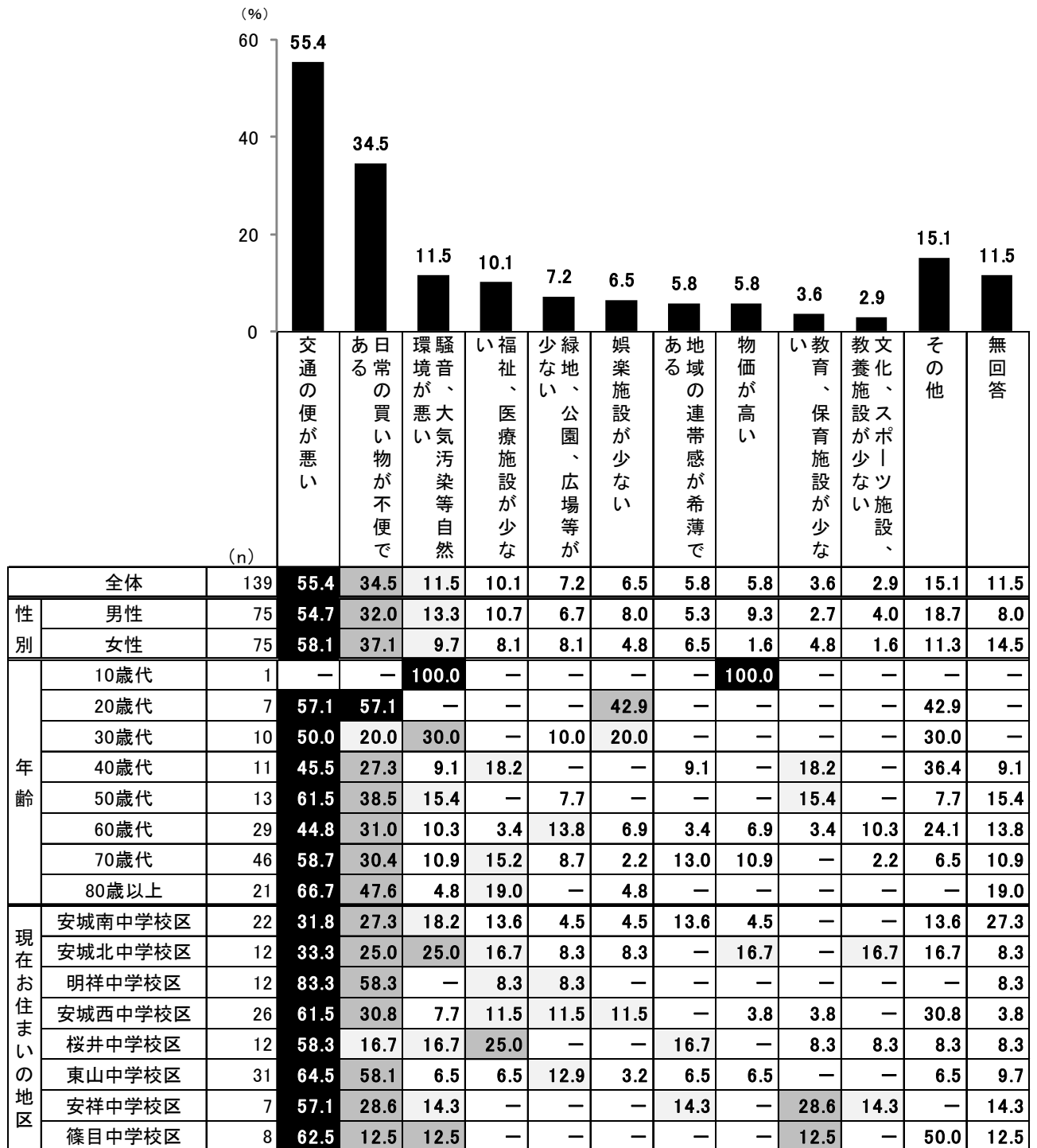
性別でみると、男女ともに「交通の便が悪い」(54.7%、58.1%)が最も高く、次いで「日常の買い物が不便である」(32.0%、37.1%)、「騒音、大気汚染等自然環境が悪い」(13.3%、9.7%)の順となっています。

年齢別でみると、10歳代を除くすべての年齢で「交通の便が悪い」が最も高く、20歳代ではそれと並んで「日常の買い物が不便である」(57.1%)や「娯楽施設が少ない」(42.9%)も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての中学校区で「交通の便が悪い」が最も高くなっています。特に、明祥中学校区では83.3%と他の地区と比べて高い割合となっています。

過去に実施した調査との比較では、平成29年度と比べて増加している項目が多く、「日常の買い物が不便である」(+6.1ポイント)、「交通の便が悪い」(+5.8ポイント)、「福祉、医療施設が少ない」(+5.8ポイント)などで特に増加しています。一方、「娯楽施設が少ない」と「文化、スポーツ施設、教養施設が少ない」(いずれも-7.7ポイント)など、減少している項目もあります。

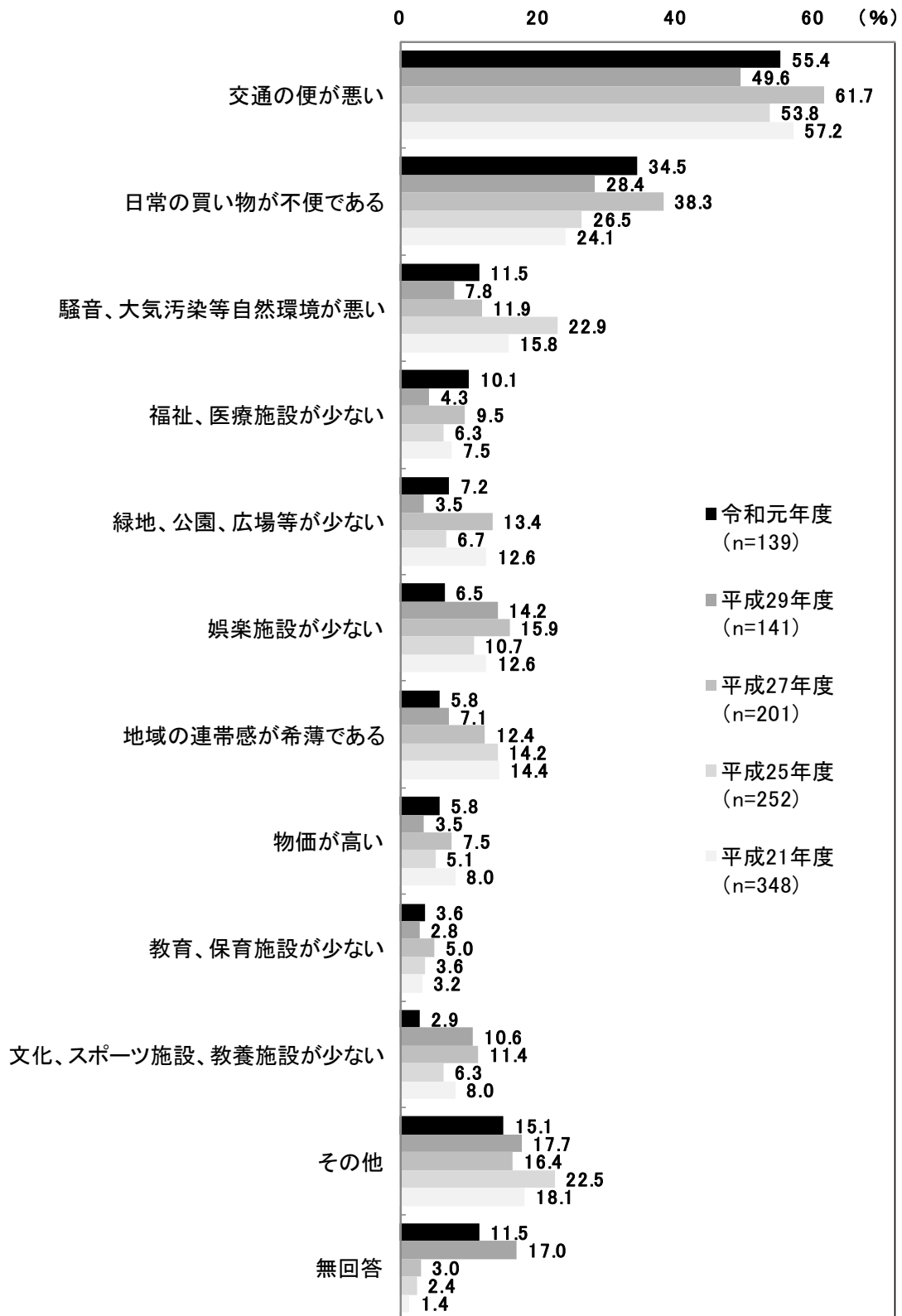
■図表 10 住みにくい理由（全体・性・年齢・居住地区別）



<「その他」の回答>

- ・渋滞が多い
- ・バスの本数が少ない
- ・費用が高い（固定資産税、水道料金、町内会費など） 等

■図表 11 住みにくい理由（過去に実施した調査との比較）



2 安城市の取組みについての評価

(1) 評価分析方法

1) 評価の算出方法

安城市の取組みの満足度・重要度について、「健康」「環境」「経済」「きずな」「こども」「行政運営」の6分野 23 項目に対して、以下の表のように評価得点をつけ、満足度および重要度の評価平均得点を算出しました。ここでは、“満足している”（「非常に満足」、「満足」、「やや満足」）や“重要である”（「非常に重要である」、「重要である」、「まあ重要である」）というプラス要素に、“不満である”（「非常に不満」、「不満」、「やや不満」）や“重要でない”（「全く重要でない」、「重要でない」、「あまり重要でない」）というマイナス要素を加味し、各施策に対する総体的な評価を行いました。

① 評価得点

■図表 12 評価得点

満足度	得点
非常に満足	3
満足	2
やや満足	1
やや不満	-1
不満	-2
非常に不満	-3

重要度	得点
非常に重要である	3
重要である	2
まあ重要である	1
あまり重要でない	-1
重要でない	-2
全く重要でない	-3

② 評価平均得点の算出方法

1 人 1 項目あたりの評価得点分析は、+3～-3 の範囲となり、この評価得点全体の平均を算出し、それぞれの評価の指標としました。

算出された評価平均得点は+3に近いほど満足（重要）であることを表し、-3に近いほど不満である（重要でない）ことを表しています。

<満足度評価平均得点の算出式>

「非常に満足」×3+「満足」×2+「やや満足」×1+「やや不満」×(-1)+「不満」×(-2)+「非常に不満」×(-3)

「わからない」・「無回答」を除く有効回答者数

(※重要度についても「 」内を置き換えて算出)

(2) 満足度

次の事項（問4～問26）に対する安城市の取組みについて、あなたの評価をしてください。

ア【満足度】これまでの安城市の取組みについて、どれくらい満足していますか。

それぞれ1～7のいずれか1つに○を付けてください。

1) 全体評価

<満足度の割合>

項目別に満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が最も高い項目は「健康・医療について」（73.6%）となっています。次いで、「観光について」（63.6%）、「生涯学習について」（62.6%）の順となっています。

一方、“不満”（「非常に不満」＋「不満」＋「やや不満」）が最も高い項目は、「都市基盤（交通）について」（37.8%）であり、次いで「生活安全について」（28.6%）、「自転車の利用促進について」（28.2%）となっています。

<評価平均得点>

安城市の取組みにおける満足度の評価平均得点の平均値は、0.65 となっています。

分野別では、「健康」が 1.11 と最も高く、次いで「行財政運営」が 0.84、「きずな」が 0.75 となっています。

項目別にみると、満足度がプラスになっている項目は合計22項目あり、満足度の高い項目から順に「健康・医療について」（1.17）、「生涯学習について」（1.12）、「スポーツについて」（1.04）、「文化・芸術について」（0.90）、「子育てについて」及び「行財政運営について」（0.84）となっています。

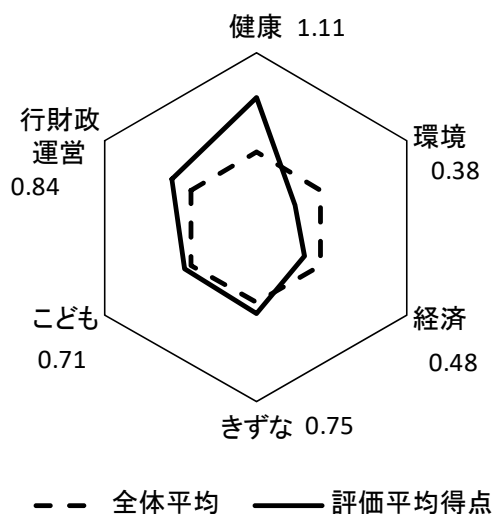
一方、満足度がマイナスになっている項目は「商工業について」（-0.06）の1項目です。

「商工業について」は“満足”が23.4%と全項目中で最も低く、“不満”は23.9%となっており、“満足”より“不満”の割合が高いことから評価平均得点がマイナスになっています。

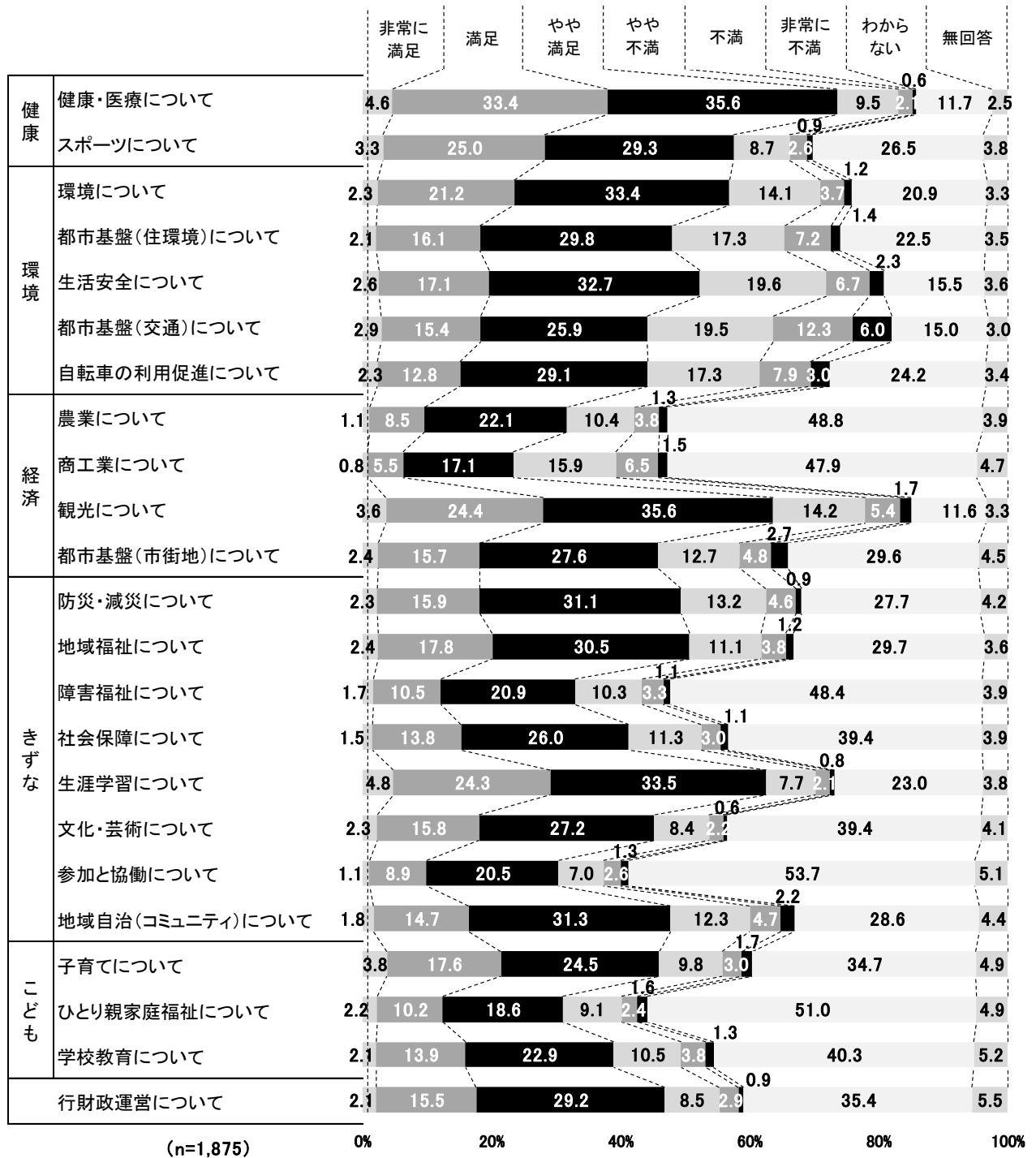
その他、「都市基盤（交通）について」（0.04）、「自転車の利用促進について」（0.27）、「生活安全について」（0.43）、「農業について」（0.43）、「都市基盤（住環境）について」（0.44）など、環境や経済の分野に満足度の低いものがみられます。

■図表 13 分野別満足度評価平均得点

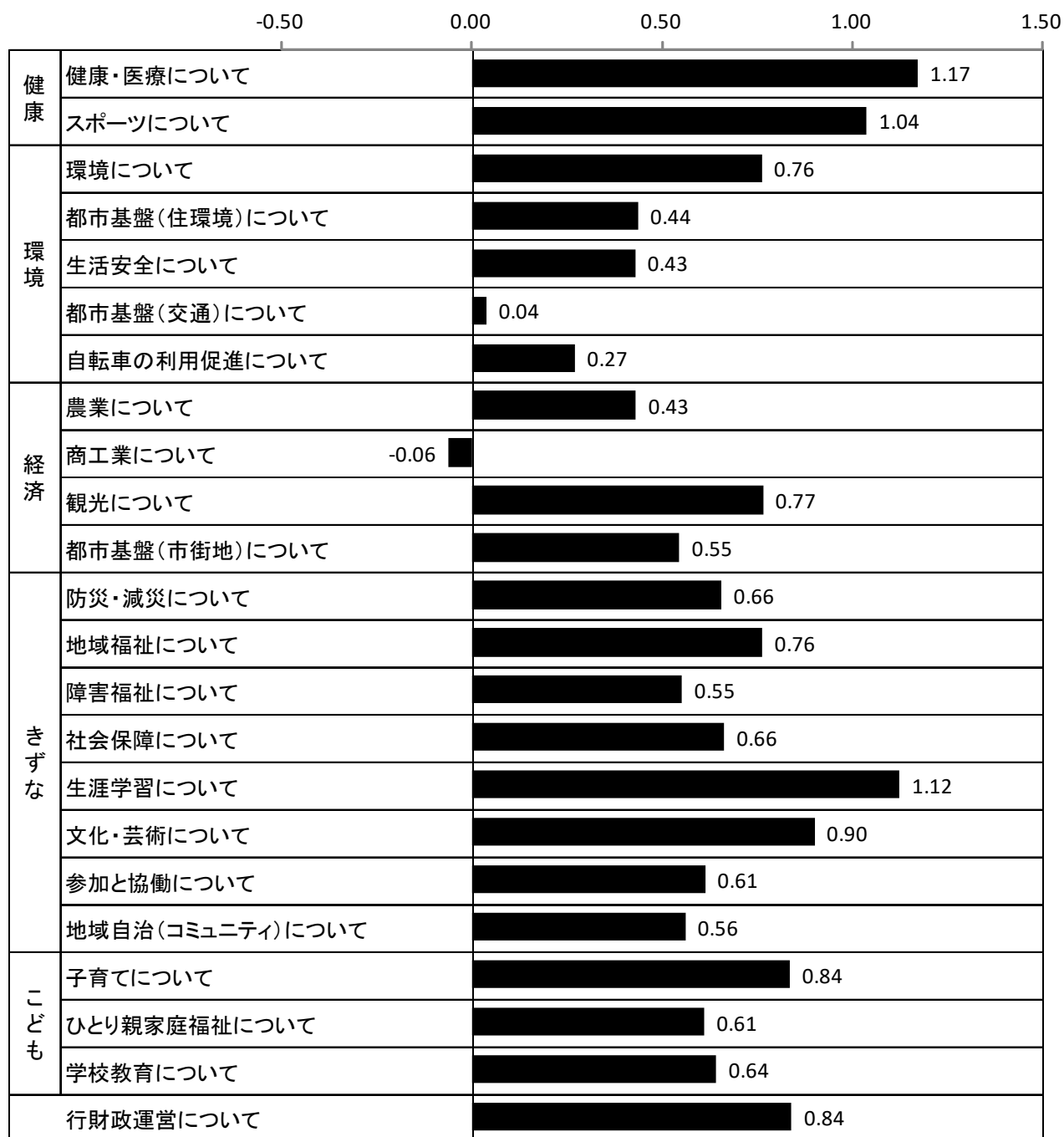
	満足度評価 平均得点
全体平均	0.65
健康	1.11
環境	0.38
経済	0.48
きずな	0.75
こども	0.71
行財政運営	0.84



■図表 14 安城市の取組みの満足度の割合



■図表 15 項目別満足度評価平均得点



2) 分野別評価

①健康

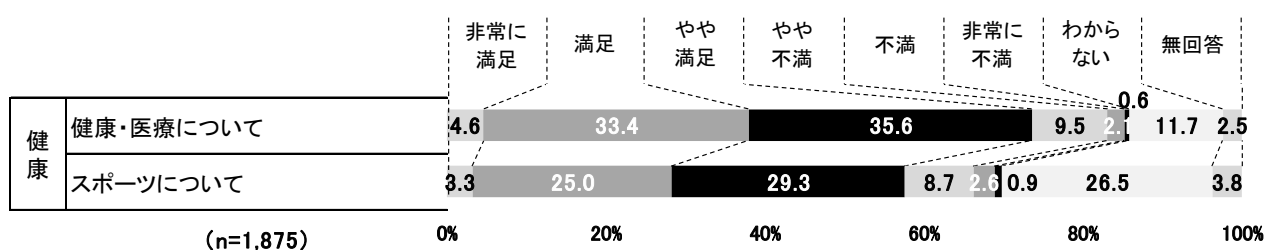
施策項目	主な取り組み
健康・医療について	・健康診査、がん検診、乳幼児健診の実施 ・健康イベント（ウォーキング等）開催、あんじょう健康マイレージ事業の実施 ・休日夜間急病診療所の運営
スポーツについて	・体育館、ソフトボール場などスポーツ施設の改修 ・安城シティマラソン、デンパーク駅伝、ウォーキングイベントなど市民参加スポーツ事業の開催 ・女子ソフトボール日本リーグなど全国レベルのスポーツ観戦事業の開催

健康分野について満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「健康・医療について」が73.6%、「スポーツについて」が57.6%となっています。評価平均得点では、2項目ともにプラスの評価となっています。

性別でみると、「健康・医療について」、「スポーツについて」とともに女性の方が男性よりも高くなっています。

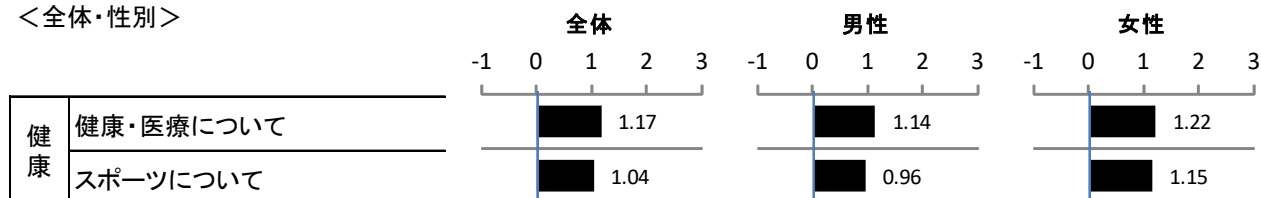
年齢別でみると、20歳代～30歳代では「健康・医療について」よりも「スポーツについて」の満足度が高いのに対し、40歳代以上では「健康・医療について」の満足度の方が高くなっています。

■図表 16 健康の満足度の割合

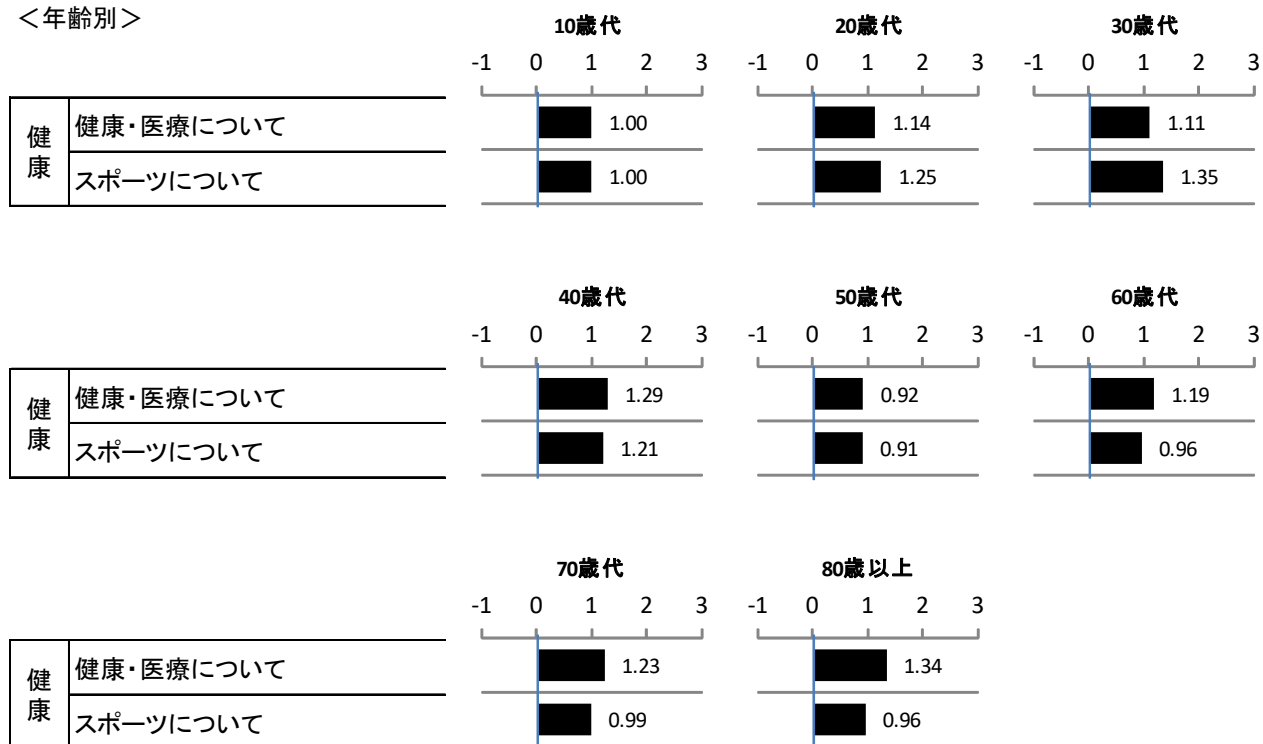


■図表 17 健康の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



②環境

施策項目	主な取組み
環境について	・スマートハウス普及促進設備^{*1}の設置補助 ・次世代自動車^{*2}の購入補助 ・ごみの減量・分別に対する取組み
都市基盤（住環境）について	・公園遊具の計画的な更新 ・下水道の計画的な整備 ・適切な管理がされていない空き家の対策
生活安全について	・地域や学校等での防犯・交通安全教室の開催 ・防犯灯・防犯カメラの設置 ・交通安全・防犯の啓発活動
都市基盤（交通）について	・あんくるバスの運行の充実（タイヤの改正、循環線のルートの変更） ・新安城駅の整備、南安城駅のバリアフリー化（エレベーターの設置）
自転車の利用促進について	・自転車走行空間（ブルーライン）の整備 ・自転車購入補助、TS マーク^{*3}取得補助 ・自転車啓発イベント（サイクリング、自転車教室等）の実施

*1 スマートハウス普及促進設備：太陽光発電設備、燃料電池、蓄電池、HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）、住宅用次世代自動車充給電システム

*2 次世代自動車：燃料電池車（FCV）、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHV）、超小型電気自動車（LEV）

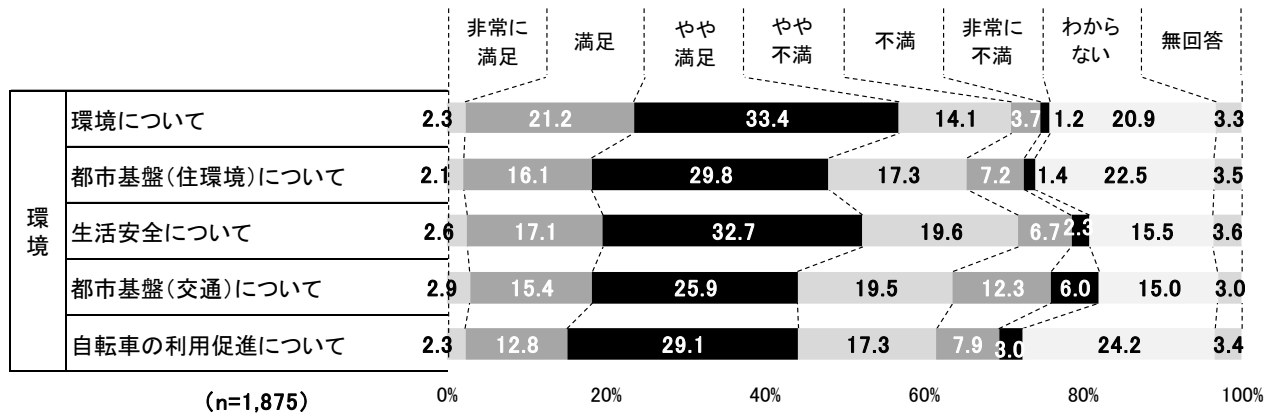
*3 TS マーク：自転車安全整備士が点検整備した自転車に貼付されるもので、傷害保険と賠償責任保険が付帯されている

環境分野について満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は、「環境について」が 56.9%、「都市基盤（住環境）について」が 48.0%、「生活安全について」が 52.4%、「都市基盤（交通）について」が 44.2%、「自転車の利用促進について」が 44.2%となっています。評価平均得点では、5 項目ともにプラスの評価ですが、「都市基盤（交通）について」は 0.04 と 23 項目中で 2 番目に低い評価となっています。

性別でみると、とくに「環境について」、「生活安全について」、「自転車の利用促進について」の 3 項目で女性（0.87、0.59、0.36）の方が男性（0.69、0.33、0.23）よりも高くなっています。

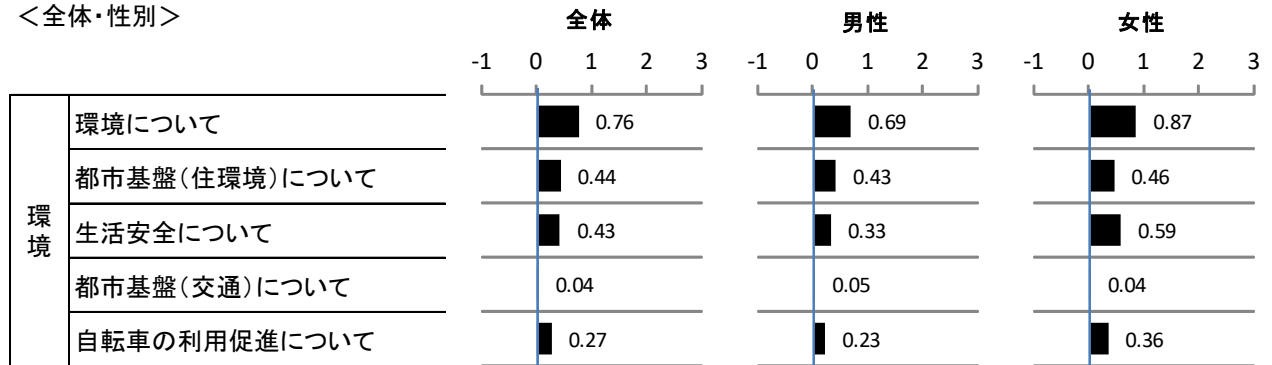
年齢別でみると、10 歳代・20 歳代・40 歳代では「都市基盤（住環境）について」が、30 歳代・50 歳代～80 歳以上では「環境について」が最も高くなっています。「都市基盤（交通）について」は、10 歳代を除くすべての年齢で評価が最も低く、とくに 50 歳代・70 歳代・80 歳以上ではマイナスとなっています。

■図表 18 環境の満足度の割合

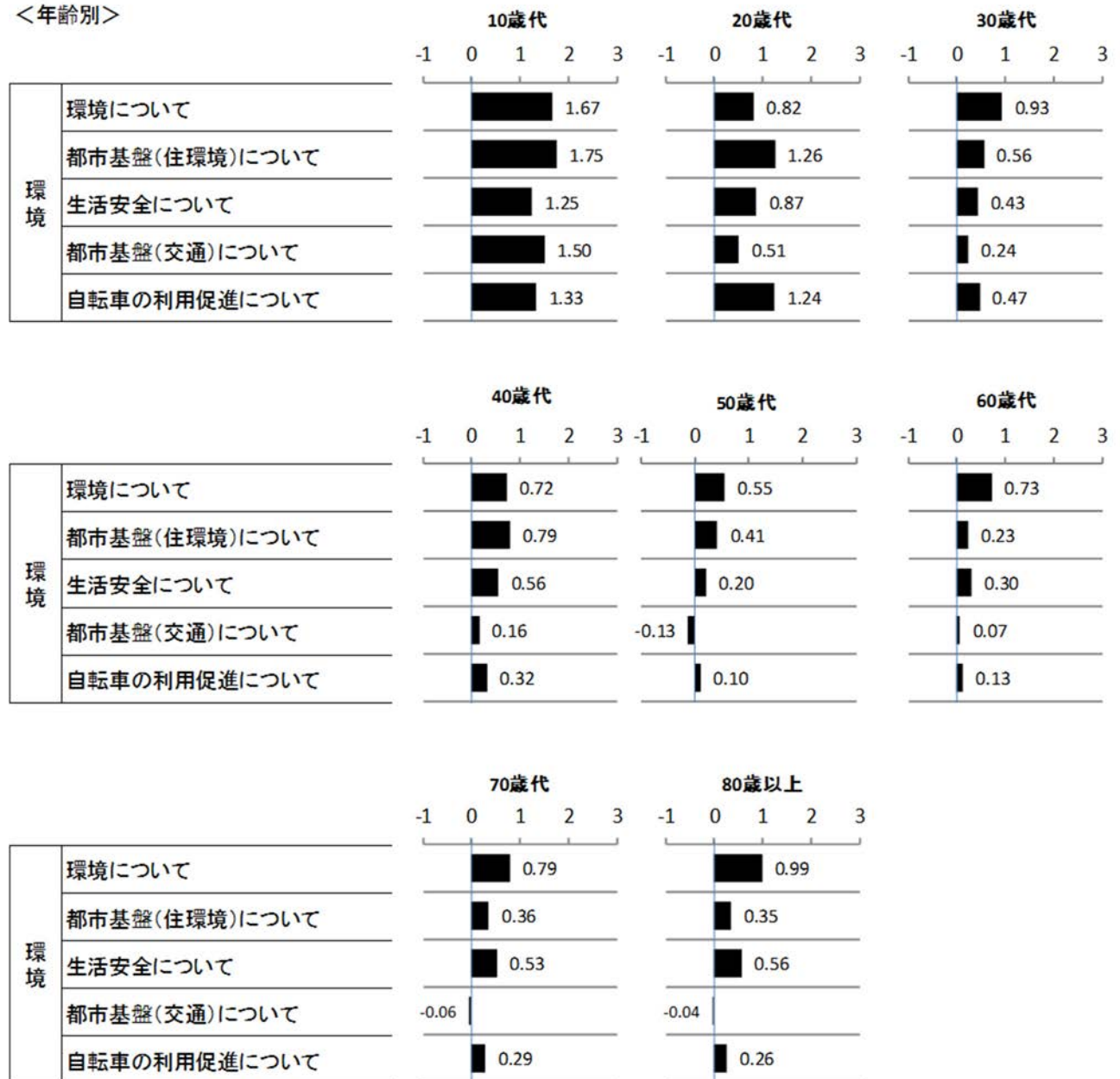


■図表 19 環境の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



③経済

施策項目	主な取組み
農業について	・農地の流動化*4、担い手*5の育成 ・農業の多面的機能共同活動*6、ほ場整備の実施 ・地産地消・食育の推進
商工業について	・市内企業の支援体制の充実 ・空き店舗対策の実施 ・安城ビジネスコンシェルジュ（ABC）の設置等、創業支援の推進
観光について	・七夕まつり、桜まつりの開催 ・デンパークの充実（施設・イベント） ・観光案内所やウェブサイトを活用した観光情報の発信
都市基盤（市街地）について	・南明治地区土地区画整理事業の実施 ・中心市街地拠点施設アンフォーレの建設及び賑わい創出事業の実施 ・桜井駅周辺特定土地区画整理事業の実施

*4 農地の流動化：経営規模を拡大したい農業者や農業法人に対し、効率的な生産ができるように農地の賃借や売買を促進すること

*5 担い手：地域の中心となって農業経営を行っていく意欲のある農業者や農業法人

*6 多面的機能共同活動：農地及び農業用施設について、地域ぐるみで適切に保全活動をする活動団体に対して支援する事業

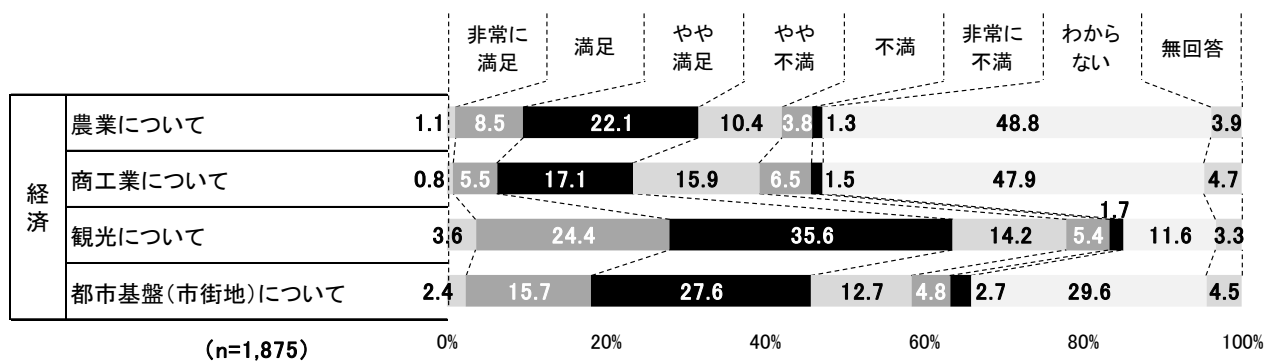
経済分野について満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は、「農業について」が31.7%、「商工業について」が23.4%、「観光について」が63.6%、「都市基盤（市街地）について」が45.7%となっています。

評価平均得点では、4項目のうちプラス評価が3項目、マイナス評価が1項目となっています。「観光について」（0.77）が最も高く、「商工業について」（-0.06）が最も低くなっています。

性別でみると、女性は男性よりもすべての項目において評価が高くなっています。

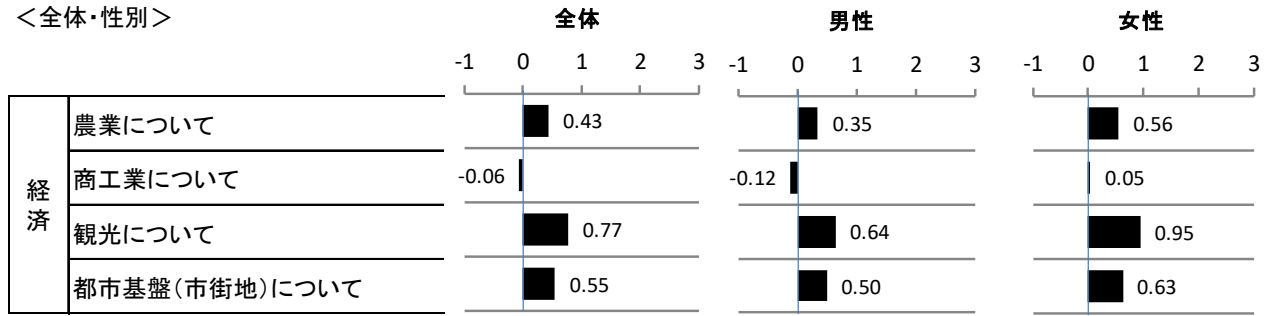
年齢別でみると、10歳代～30歳代・80歳以上ではすべての項目がプラスの評価となっています。また、10歳代を除くすべての年齢で「観光について」が最も高く、「商工業について」が最も低くなっています。

■図表 20 経済の満足度の割合

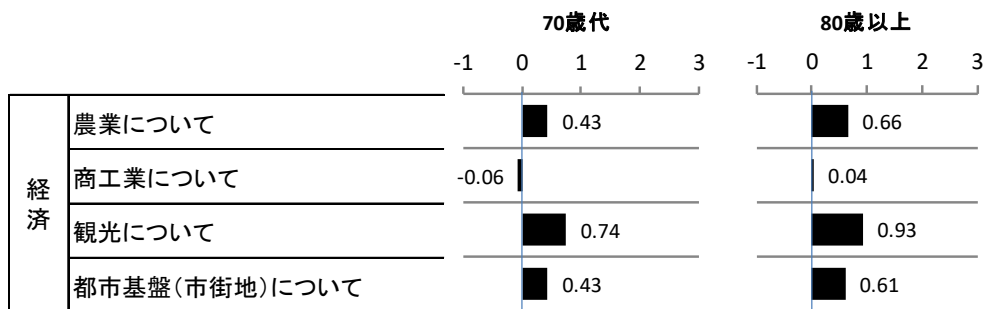
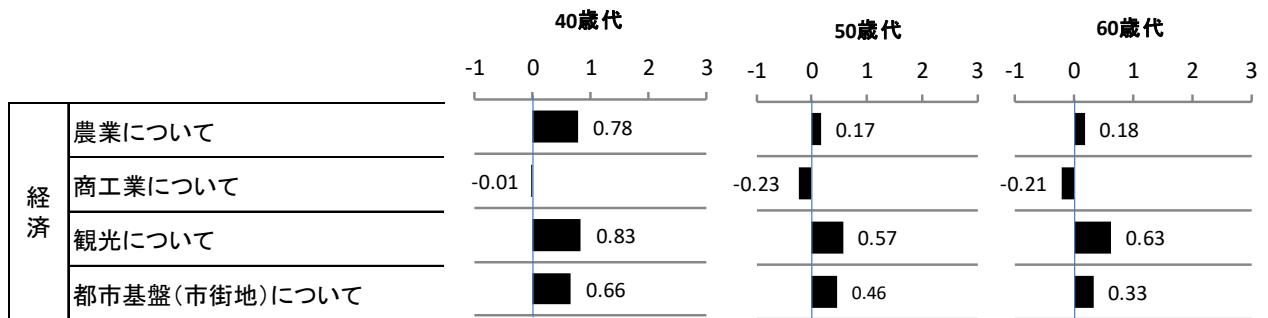
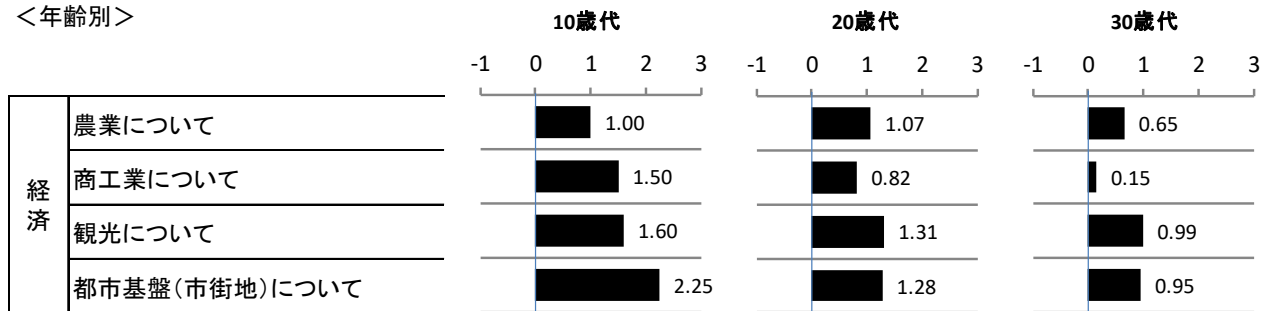


■図表 21 経済の評価平均得点（全体・性・年齢別）

＜全体・性別＞



＜年齢別＞



④きずな

施策項目	主な取組み
防災・減災について	・防災ラジオ等による防災情報の発信 ・自主防災活動への支援、関係機関等との連携強化 ・雨水貯留施設の計画的な整備
地域福祉について	・町内福祉委員会による地域見守り活動の推進 ・日常生活圏域（中学校区）における地域包括支援センターの設置 ・町内福祉委員会やボランティア団体の活動支援
障害福祉について	・24時間対応の相談体制の整備 ・就労支援など自立に向けた支援 ・グループホームなど居住サービスの提供
社会保障について	・生活困窮者の自立支援 ・特定健診^{*7}結果によって行う特定保健指導^{*8}などの生活習慣改善の支援 事業や医療受診の案内
生涯学習について	・公民館等における各種講座や教室の開催 ・図書館の充実とアンフォーレ、公民館図書室、学校図書室の連携による子ども読書の推進 ・文化センター、プラネタリウムの整備
文化・芸術について	・歴史的建造物、遺跡等の調査と保護、三河万歳等の伝承活動 ・文化芸術の鑑賞機会提供・情報発信
参加と協働について	・審議会等の市民公募委員の募集 ・パブリックコメント^{*9}、ワークショップ^{*10}、e モニター^{*11}の実施による意見募集 ・市民交流センターの充実と市民活動への支援
地域自治（コミュニティ）について	・町内会及び地域が行う活動への支援 ・町内会の管理する集会所施設等の建設・改修補助

*7 特定健診：40歳～74歳の人を対象に行われるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診

*8 特定保健指導：特定健診の結果に基づき、生活習慣のアドバイスなどを行うもの

*9 パブリックコメント：市が公表した施策等の案に対し、市民から意見を求めて、その意見の概要及び市の対応を公表する制度

*10 ワークショップ：参加者同士が問題解決のために議論や共同作業を行い、施策に対し理解を深めたり、意見を述べる研究集会

*11 e モニター：インターネットと電子メールを利用した登録制のアンケート調査

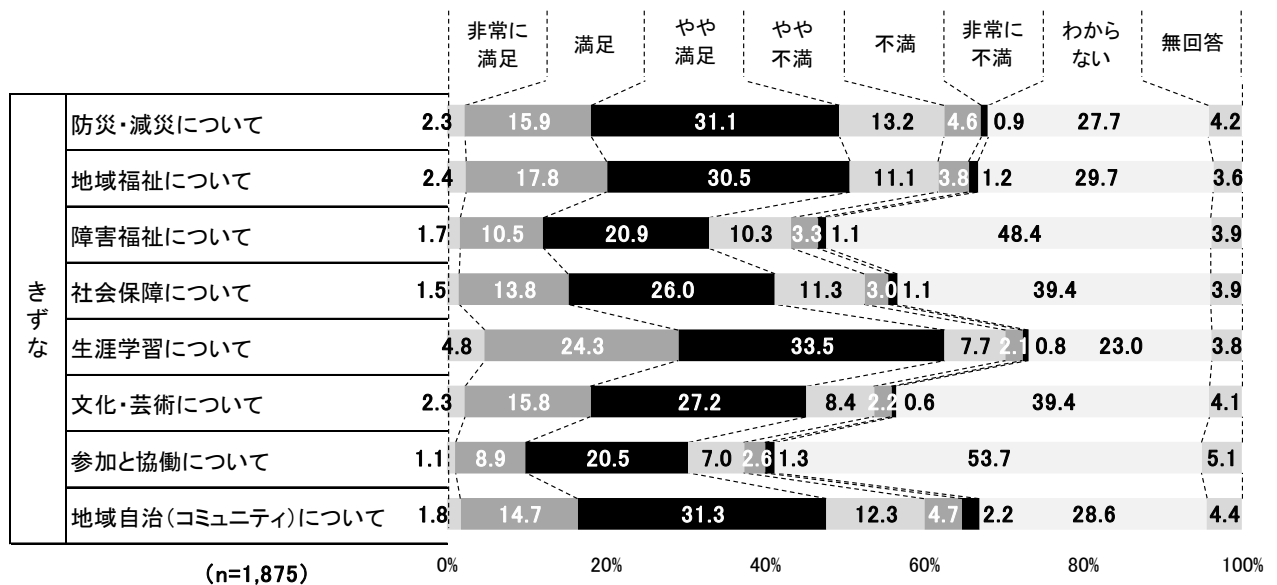
きずな分野について、満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は、「防災・減災について」が49.3%、「地域福祉について」が50.7%、「障害福祉について」が33.1%、「社会保障について」が41.3%、「生涯学習について」が62.6%、「文化・芸術について」が45.3%、「参加と協働について」が30.5%、「地域自治（コミュニティ）について」が47.8%となっています。

評価平均得点では、8項目すべてがプラス評価となっています。「生涯学習について」(1.12)が最も高く、「障害福祉について」(0.55)が最も低くなっています。

性別でみると、女性はすべての項目において男性よりも評価が高くなっています。

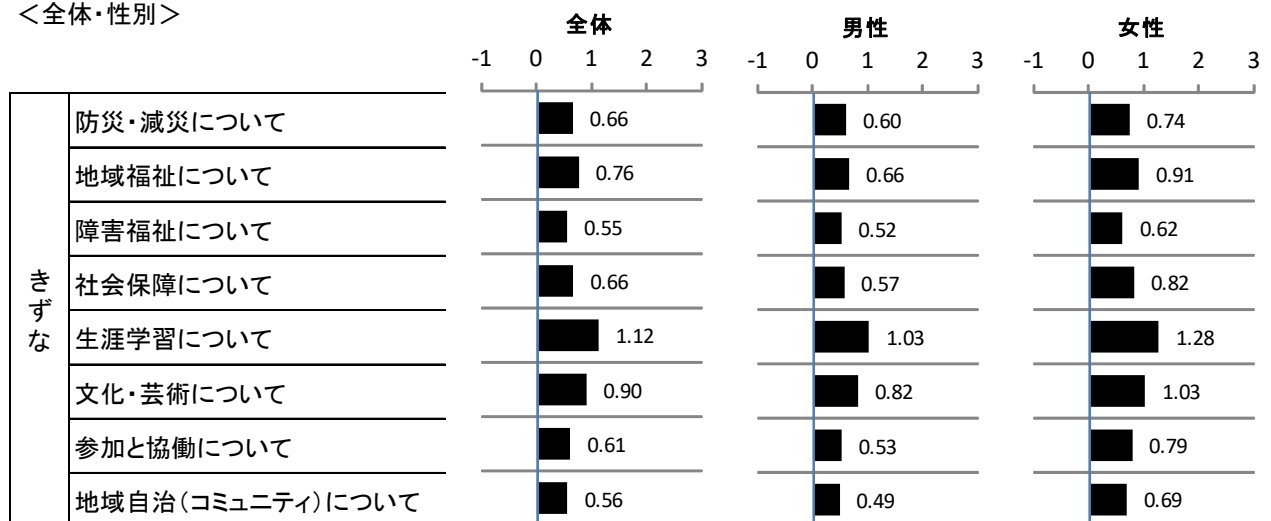
年齢別でみると、20歳代以上は「生涯学習について」が8項目中で最も高くなっています。一方、最も評価が低い項目は、10歳代・80歳以上では「参加と協働について」(0.25、0.66)、20歳代では「防災・減災について」(0.67)、30歳代・40歳代では「地域自治(コミュニティ)について」(0.42、0.45)、50歳代・60歳代・70歳代では「障害福祉について」(0.31、0.39、0.52)となっています。

■図表 22 きずなの満足度の割合

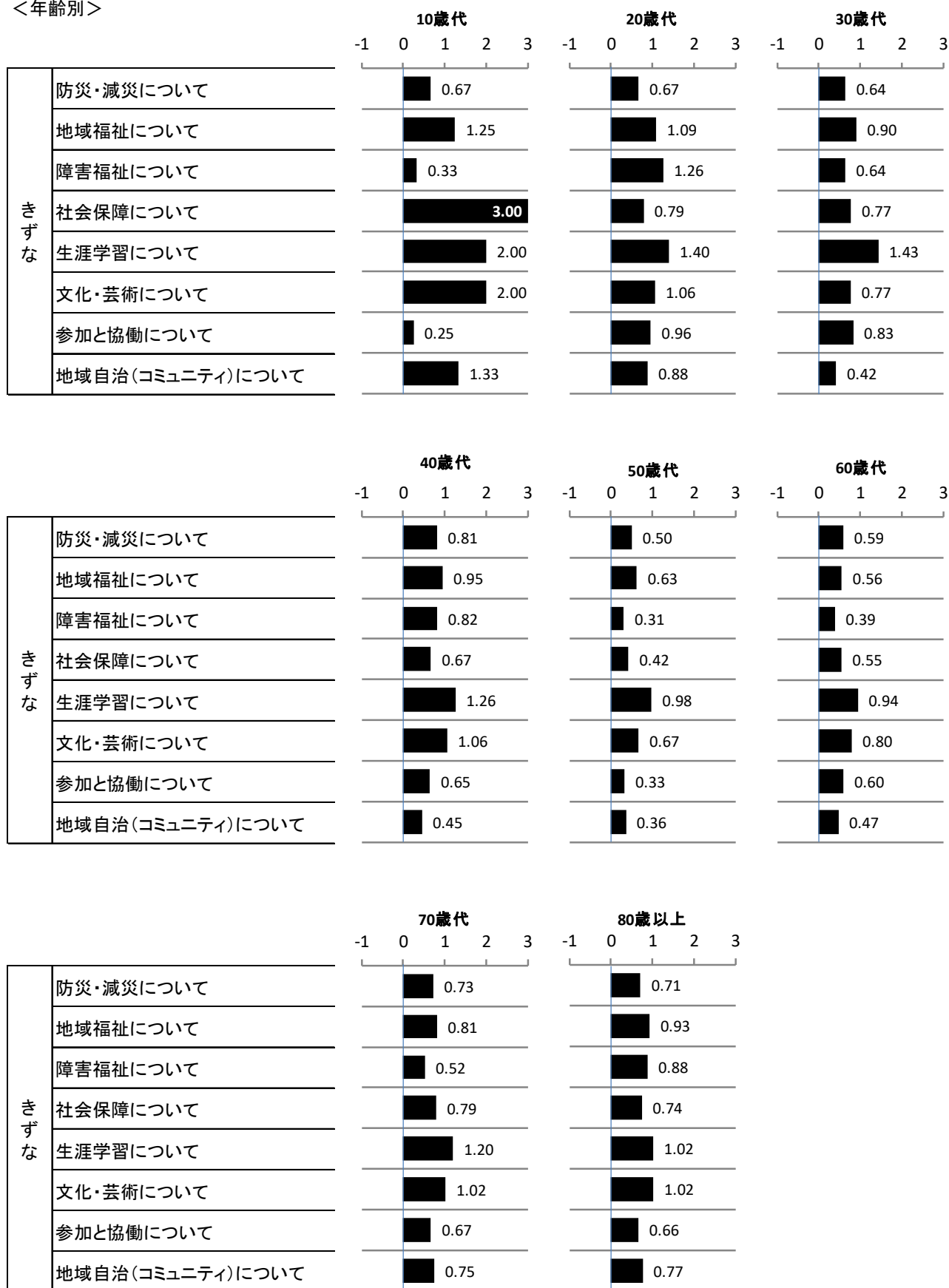


■図表 23 きずなの評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



⑤こども

施策項目	主な取組み
子育てについて	・低年齢児、延長保育、一時保育、休日保育等の充実 ・第3子以降の保育料・給食費の無料化及び小中学校給食費の無料化 ・児童クラブの対象学年拡大
ひとり親家庭福祉について	・ひとり親手当の支給 ・家庭相談員^{*12}による児童相談全般及び母子・父子自立支援員^{*13}による就業相談など ・産後の家事・育児支援事業の実施
学校教育について	・中学校1年生、小学校4年生までの少人数学級の実施 ・学校施設の改修（教室へのエアコン設置・トイレ・バリアフリー化など） ・授業でのタブレット端末等の情報機器の活用

*12 家庭相談員：地域や学校での人間関係、生活習慣、非行の問題などを抱える児童の保護者からの相談に対し、児童相談所など関係機関と連携して助言・指導を行う

*13 母子・父子自立支援員：ひとり親家庭の方が自立できるよう、生活の安定や子育ての相談、就業に関する相談・指導を総合的に行う

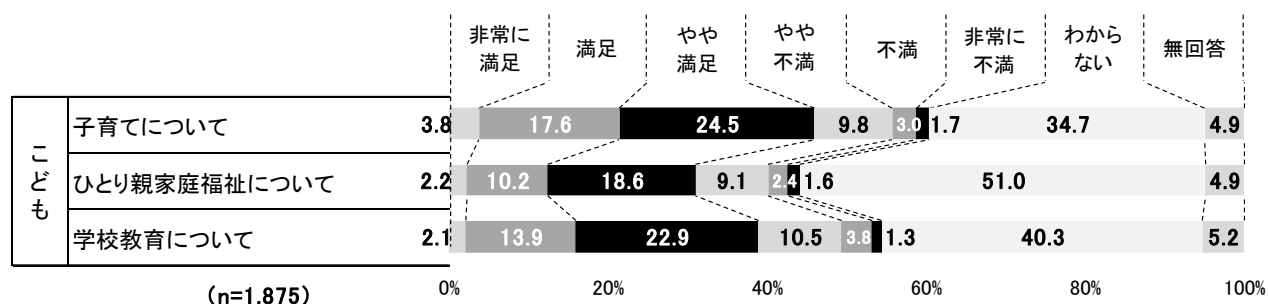
こども分野について満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は、「子育てについて」が45.9%、「ひとり親家庭福祉について」が31.0%、「学校教育について」が38.9%となっています。

評価平均得点では、3項目すべてがプラス評価となっています。中でも「子育てについて」（0.84）が最も高く、「ひとり親家庭福祉について」（0.61）が最も低くなっています。

性別でみると、女性はずべての項目において男性よりも評価が高くなっています。

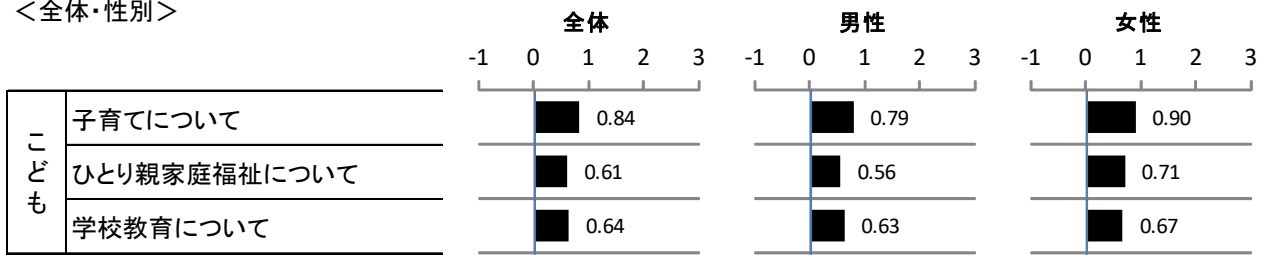
年齢別でみると、10歳代・30歳代は「ひとり親家庭福祉について」（2.75、0.79）、20歳代では「学校教育について」（1.26）、40歳代以上ではいずれも「子育てについて」（0.78、0.81、0.75、0.90、1.04）が最も高くなっています。

■図表 24 こどもの満足度の割合

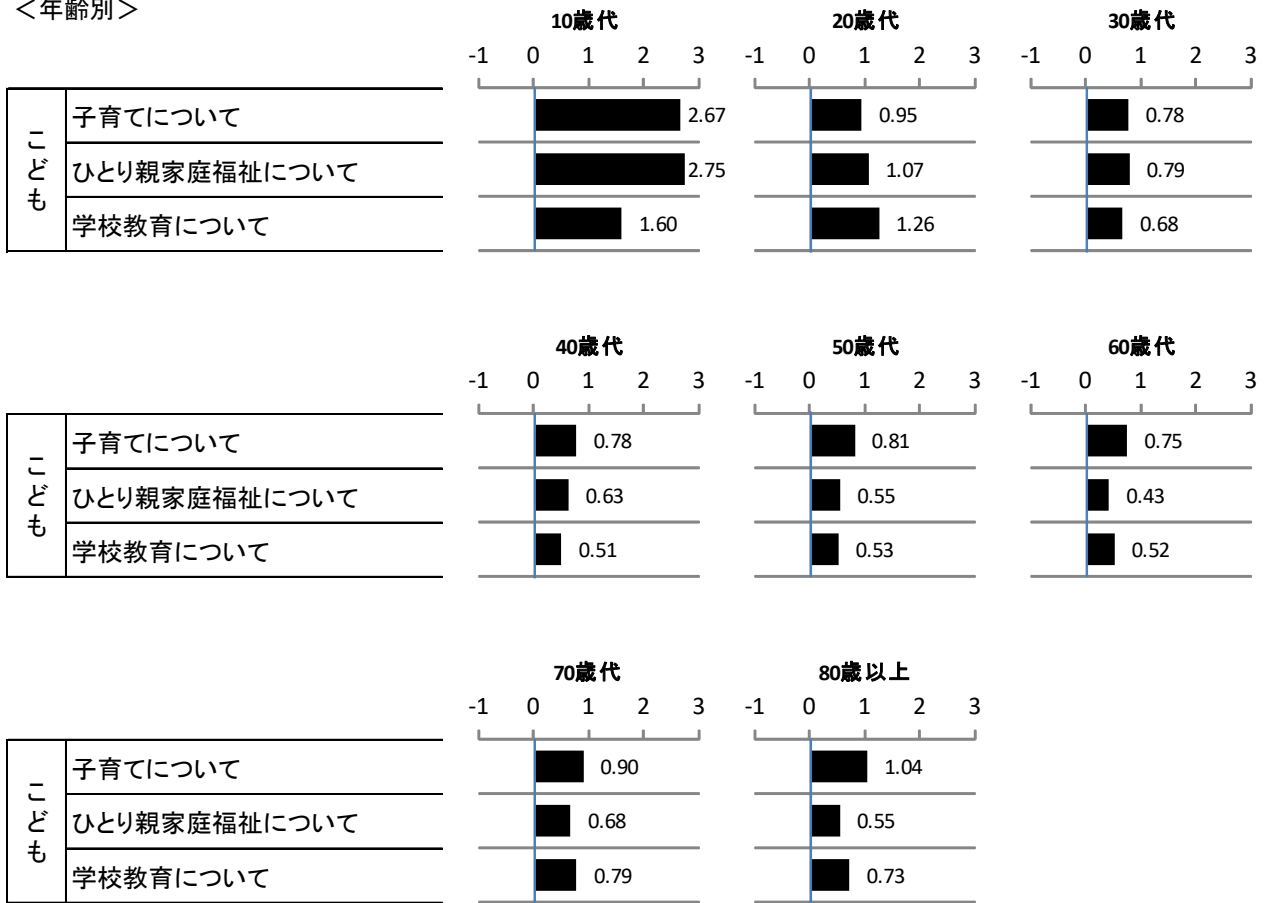


■図表 25 こどもの評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



⑥行財政運営

施策項目	主な取組み
行財政運営について	・公開行政レビュー（公開事業評価）の実施 ・各種証明書のコンビニ交付サービスの実施 ・健全財政の堅持

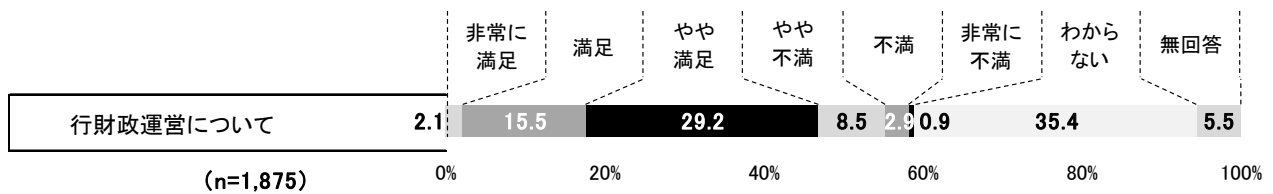
行財政運営分野について、満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は、「行財政運営について」は46.8%となっています。

評価平均得点を全体でみると、プラス評価となっています。

性別でみると、女性は男性よりも評価が高くなっています。

年齢別でみると、20歳代（1.14）で最も高く、40歳代～60歳代（0.71～0.77）でやや低くなっています。

■図表 26 行財政運営の満足度の割合

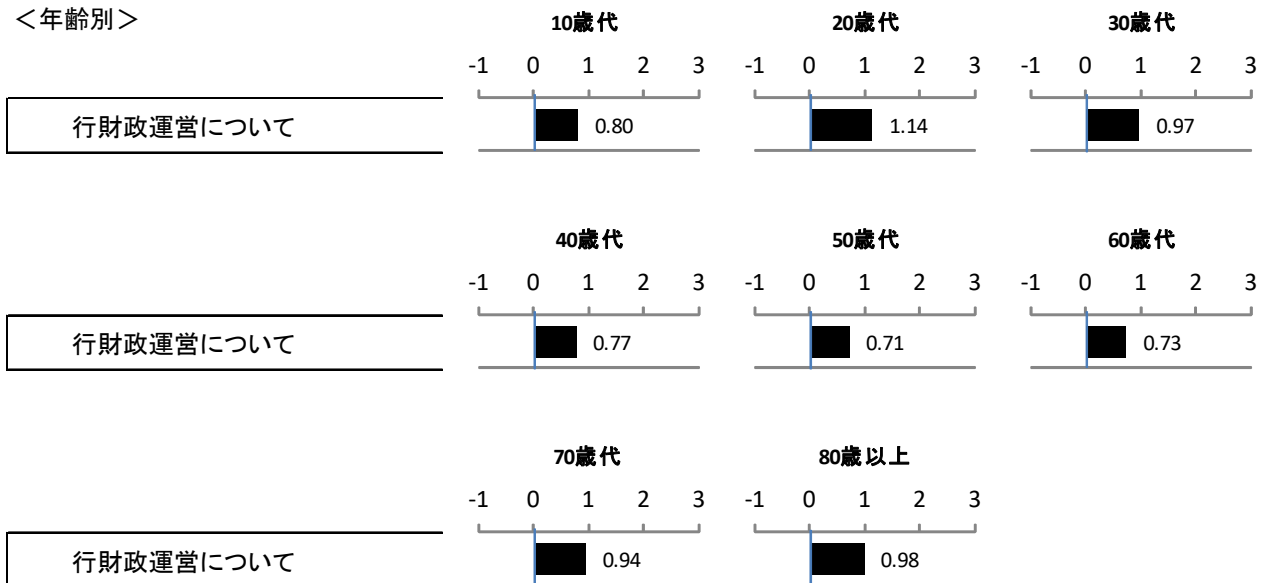


■図表 27 行財政運営の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>

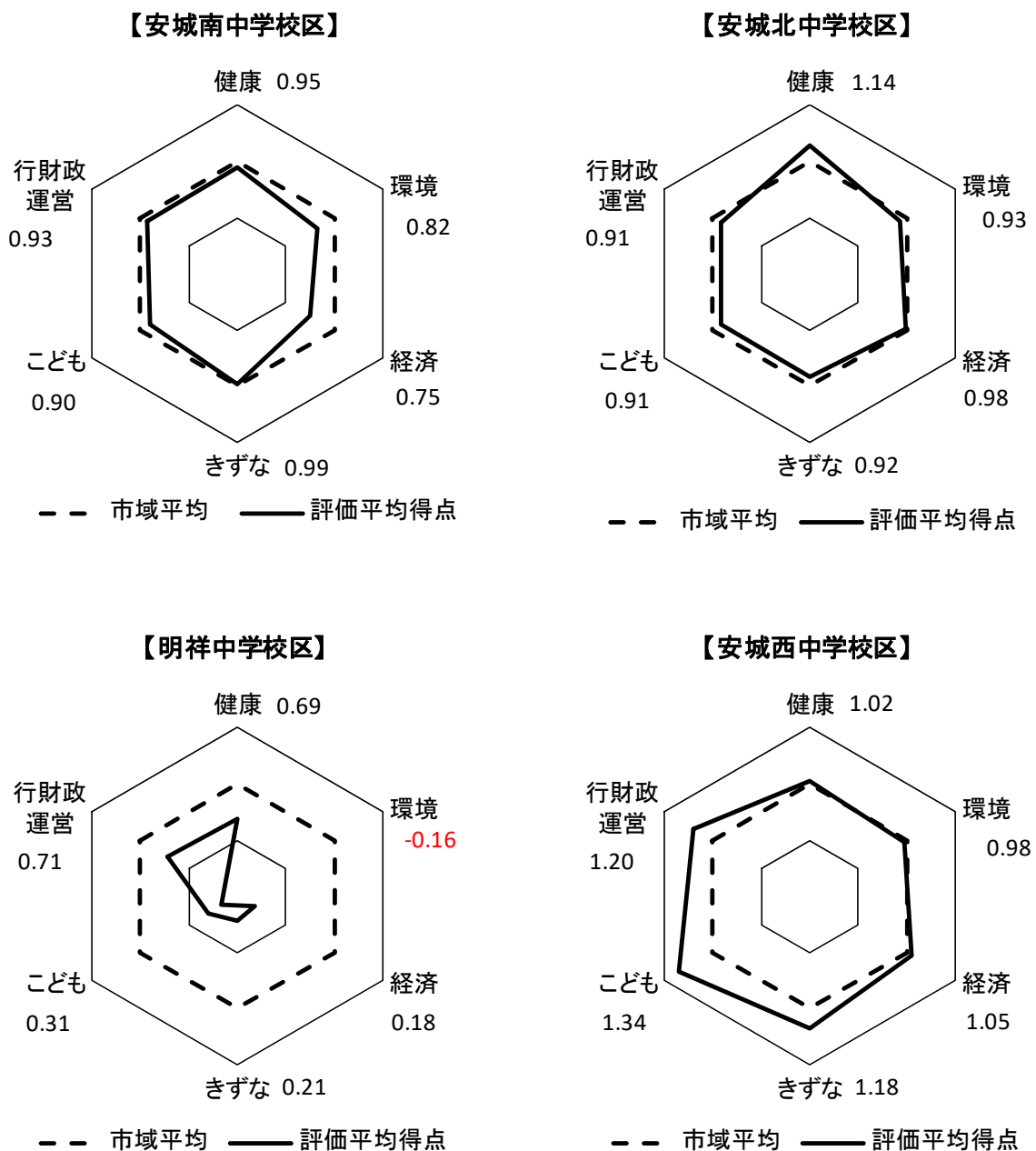


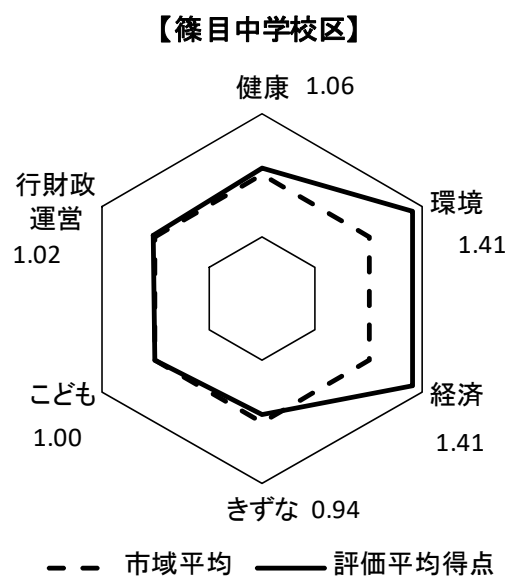
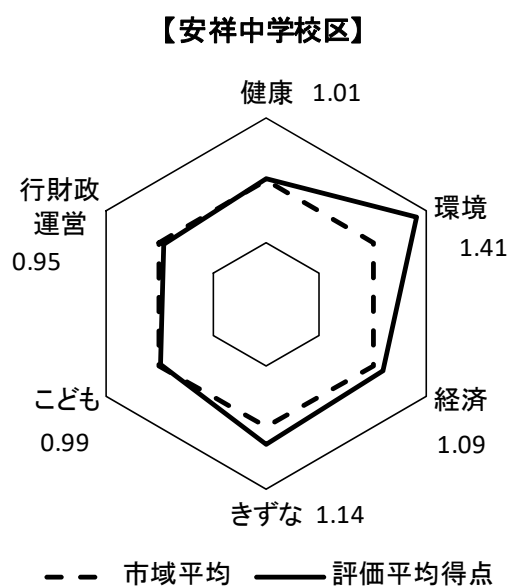
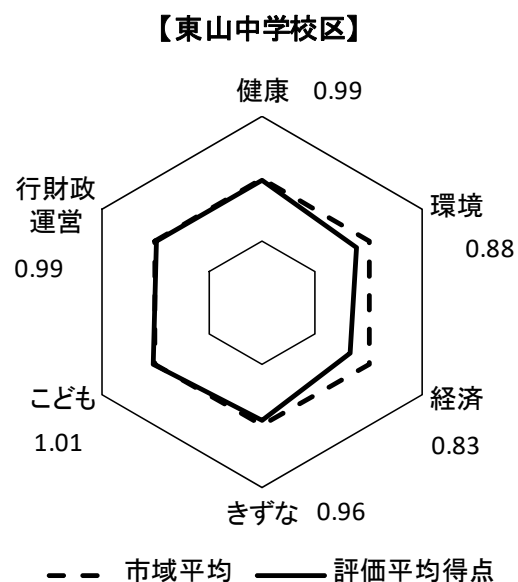
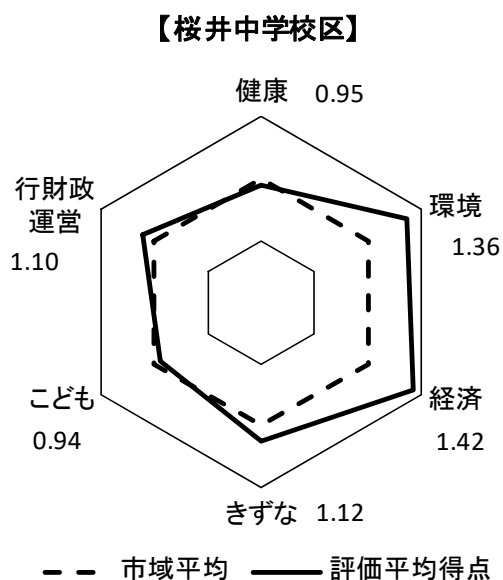
3) 居住地区別評価

居住地区別の満足度評価平均得点（市域平均を 1.00 として各中学校区の値を算出）をみると、安城南中学校区と明祥中学校区ではすべての分野で市域平均よりも満足度が低くなっています。特に明祥中学校区では、全分野の評価平均点が地区別で最も低く、中でも「環境」はマイナス評価（-0.16）となっています。

安城北中学校区は「健康」以外の 5 分野で、安城西中学校区は「環境」の 1 分野で、桜井中学校区は「健康」「こども」の 2 分野で、東山中学校区は「こども」以外の 5 分野で、安祥中学校区は「こども」「行財政運営」の 2 分野で、篠目中学校区は「きずな」の 1 分野で市域平均よりも評価が低くなっています。

■図表 28 居住地区ごとの施策分野別満足度評価の比較（市域平均を 1.00 として算出）





	健康	環境	経済	きずな	子ども	行財政運営
市域平均	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
安城南中学校区	0.95	0.82	0.75	0.99	0.90	0.93
安城北中学校区	1.14	0.93	0.98	0.92	0.91	0.91
明祥中学校区	0.69	-0.16	0.18	0.21	0.31	0.71
安城西中学校区	1.02	0.98	1.05	1.18	1.34	1.20
桜井中学校区	0.95	1.36	1.42	1.12	0.94	1.10
東山中学校区	0.99	0.88	0.83	0.96	1.01	0.99
安祥中学校区	1.01	1.41	1.09	1.14	0.99	0.95
篠目中学校区	1.06	1.41	1.41	0.94	1.00	1.02

(3) 重要度

次の事項（問 4 ～問 26）に対する安城市の取組みについて、あなたの評価をしてください。

イ【重要度】 今後、これらに安城市が取り組むことはどれくらい重要とお考えですか。

それぞれ 1 ～ 7 のいずれか 1 つに○を付けてください。

1) 全体評価

<重要度の割合>

項目別に重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）が最も高い項目は「生活安全について」（85.5%）となっています。次いで、「健康・医療について」（83.9%）、「都市基盤（交通）について」（80.5%）の順となっています。

一方、“重要でない”（「全く重要でない」＋「重要でない」＋「あまり重要でない」）が最も高い項目は、「文化・芸術について」（13.9%）であり、次いで「参加と協働について」（13.4%）、「自転車の利用促進について」（11.6%）となっています。

<評価平均得点>

安城市の今後の取組みにおける重要度の評価平均得点の平均値は、1.52 となっています。

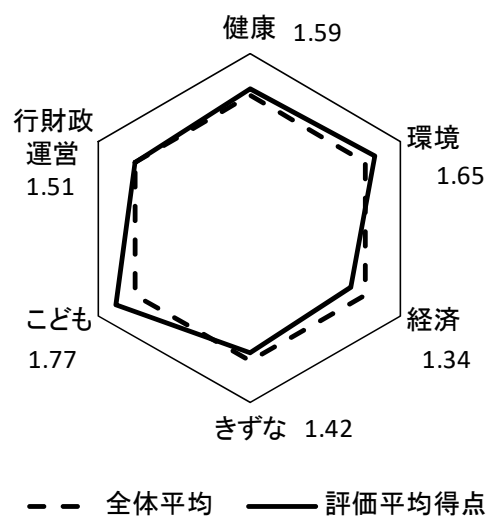
分野別では、「こども」が 1.77 と最も高く、次いで「環境」が 1.65、「健康」が 1.59 となっています。

項目別にみると、23 項目で重要度がプラスになっています。重要度の高い項目から順に「生活安全について」（2.05）、「健康・医療について」（1.96）、「防災・減災について」（1.91）などとなっています。

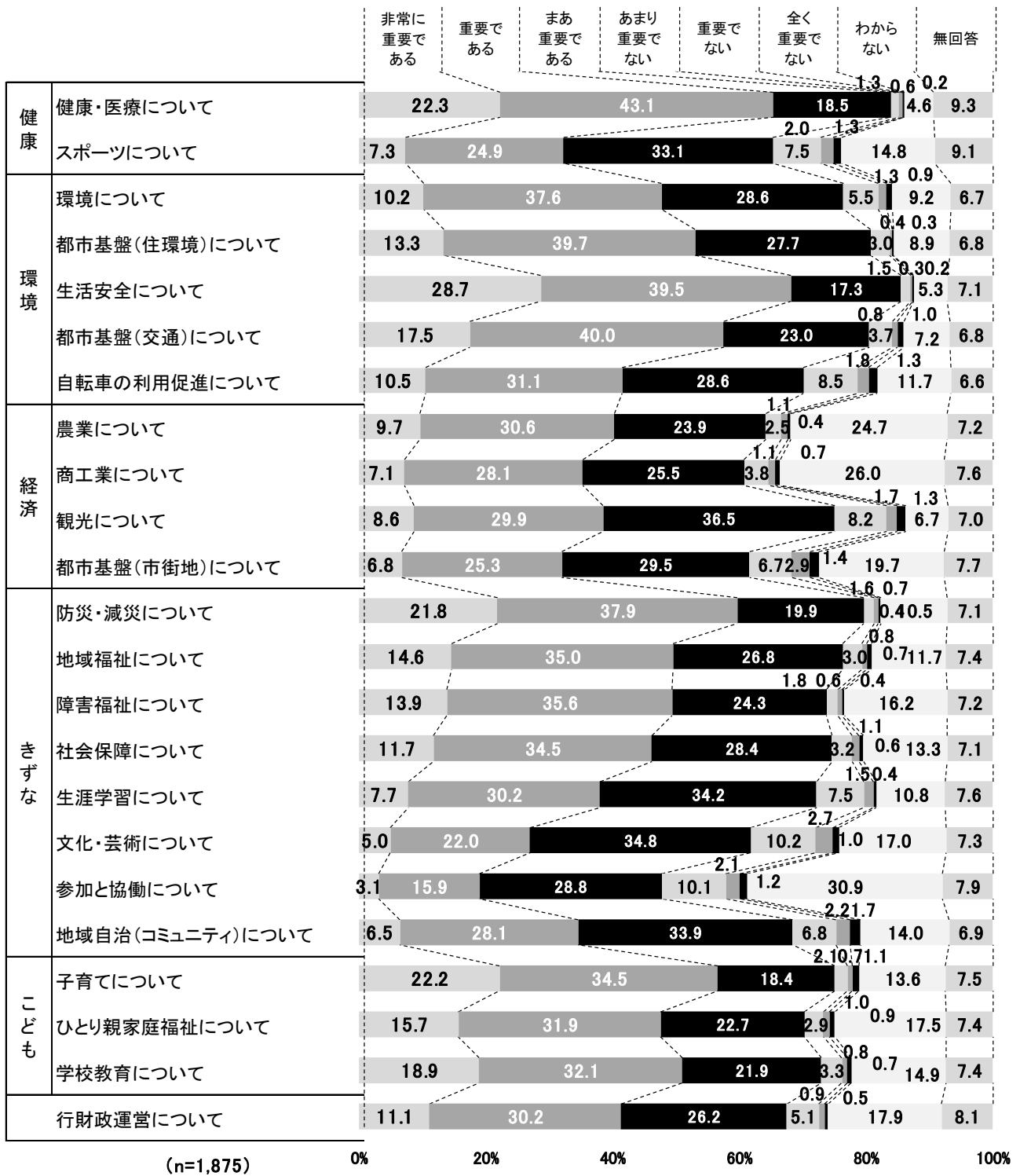
一方、「参加と協働について」（0.85）、「文化・芸術について」（0.99）のきずなの分野、「都市基盤（市街地）について」（1.15）などで重要度が低くなっています。

■図表 29 分野別重要度評価平均得点

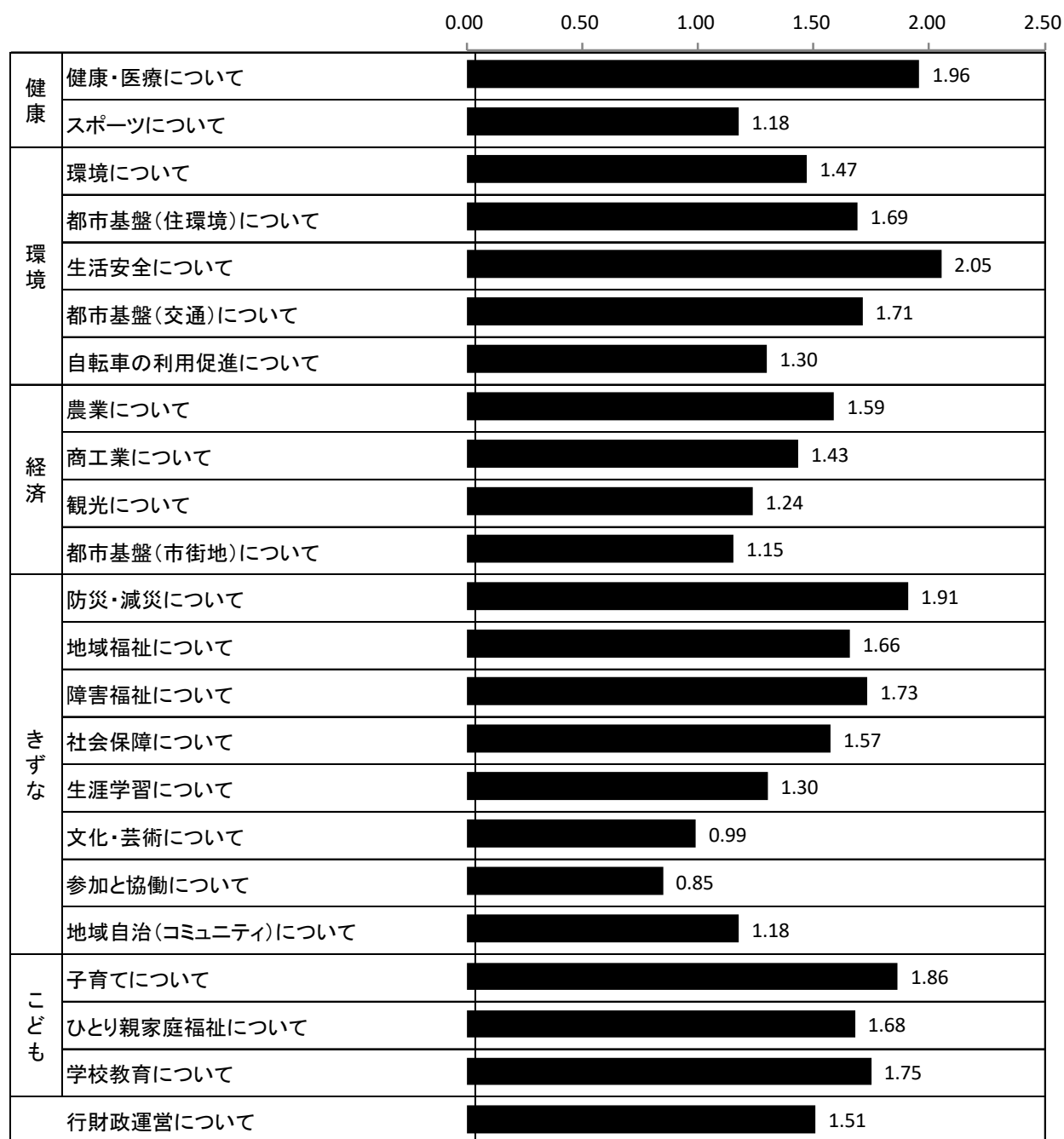
	重要度評価 平均得点
全体平均	1.52
健康	1.59
環境	1.65
経済	1.34
きずな	1.42
こども	1.77
行財政運営	1.51



■図表 30 安城市の取組みの重要度の割合



■図表 31 項目別重要度評価平均得点



2) 分野別評価

①健康

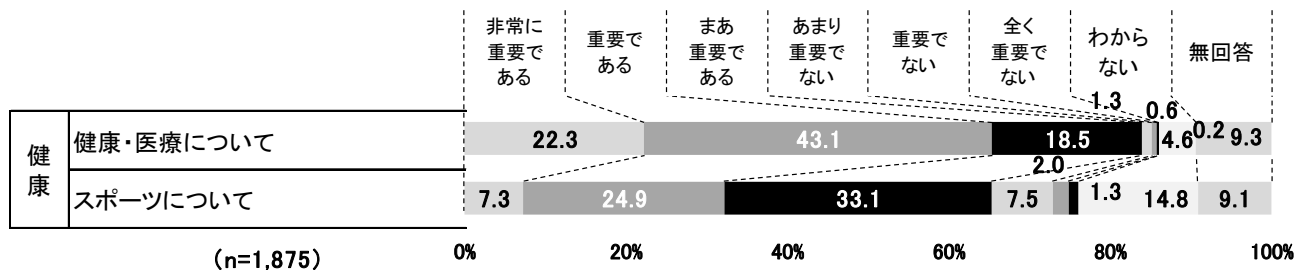
施策項目	主な取組み
健康・医療について	・健康診査、がん検診、乳幼児健診の実施 ・健康イベント（ウォーキング等）開催、あんじょう健康マイレージ事業の実施 ・休日夜間急病診療所の運営
スポーツについて	・体育館、ソフトボール場などスポーツ施設の改修 ・安城シティマラソン、デンパーク駅伝、ウォーキングイベントなど市民参加スポーツ事業の開催 ・女子ソフトボール日本リーグなど全国レベルのスポーツ観戦事業の開催

健康分野について重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は、「健康・医療について」が 83.9%、「スポーツについて」が 65.3%となっています。評価平均得点では、2 項目ともにプラスの評価となっています。

性別でみると、いずれの項目も女性（2.05、1.26）の方が男性（1.89、1.12）よりも高くなっています。

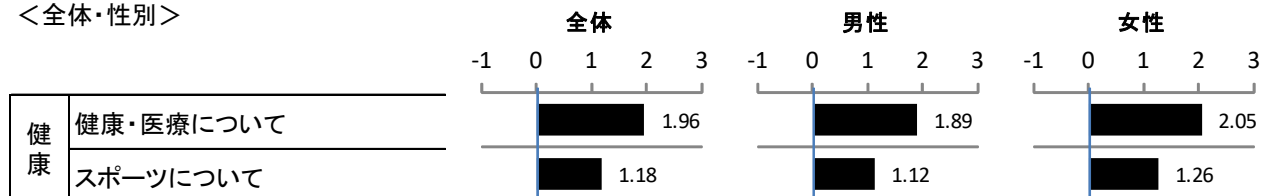
年齢別でみると、10 歳代を除くすべての年齢で「スポーツについて」よりも「健康・医療について」の重要度が高くなっています。

■図表 32 健康の重要度の割合

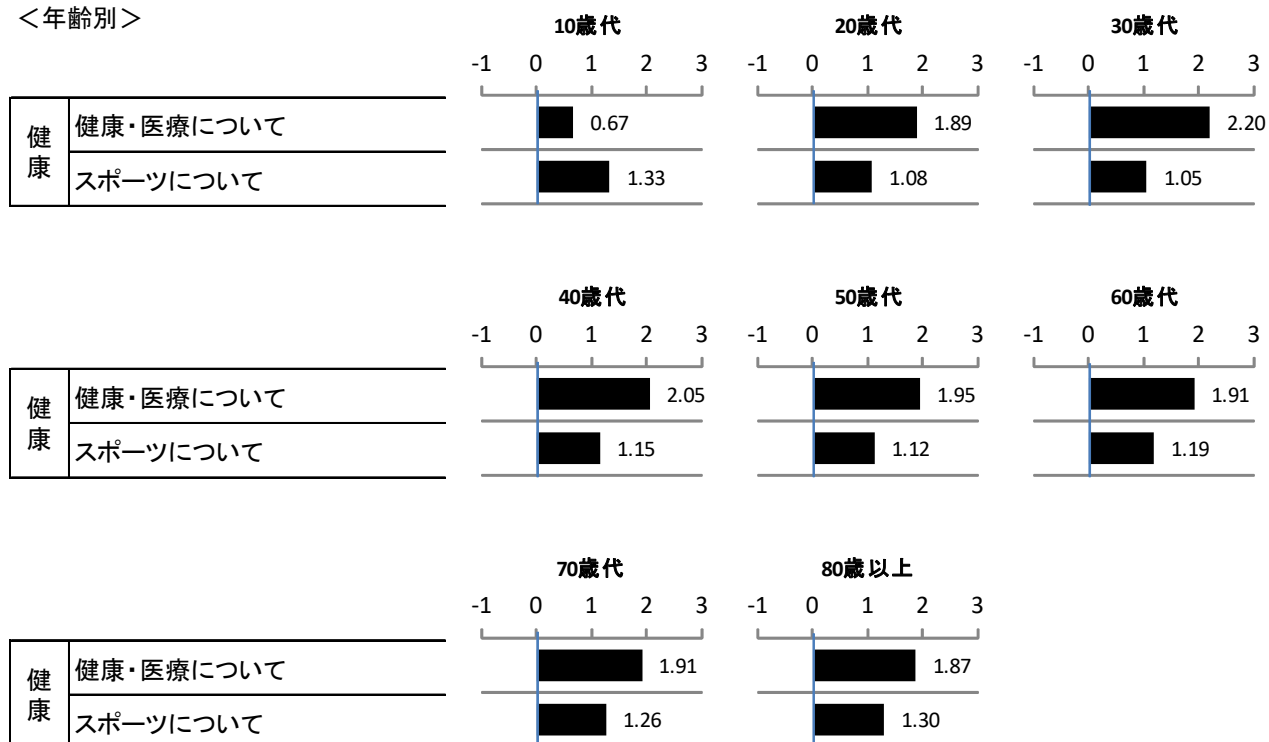


■図表 33 健康の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



②環境

施策項目	主な取組み
環境について	・スマートハウス普及促進設備^{*1}の設置補助 ・次世代自動車^{*2}の購入補助 ・ごみの減量・分別に対する取組み
都市基盤（住環境）について	・公園遊具の計画的な更新 ・下水道の計画的な整備 ・適切な管理がされていない空き家の対策
生活安全について	・地域や学校等での防犯・交通安全教室の開催 ・防犯灯・防犯カメラの設置 ・交通安全・防犯の啓発活動
都市基盤（交通）について	・あんくるバスの運行の充実（タイヤの改正、循環線のルートの変更） ・新安城駅の整備、南安城駅のバリアフリー化（エレベーターの設置）
自転車の利用促進について	・自転車走行空間（ブルーライン）の整備 ・自転車購入補助、TS マーク^{*3}取得補助 ・自転車啓発イベント（サイクリング、自転車教室等）の実施

*1 スマートハウス普及促進設備：太陽光発電設備、燃料電池、蓄電池、HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）、住宅用次世代自動車充電システム

*2 次世代自動車：燃料電池車（FCV）、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHV）、超小型電気自動車（LEV）

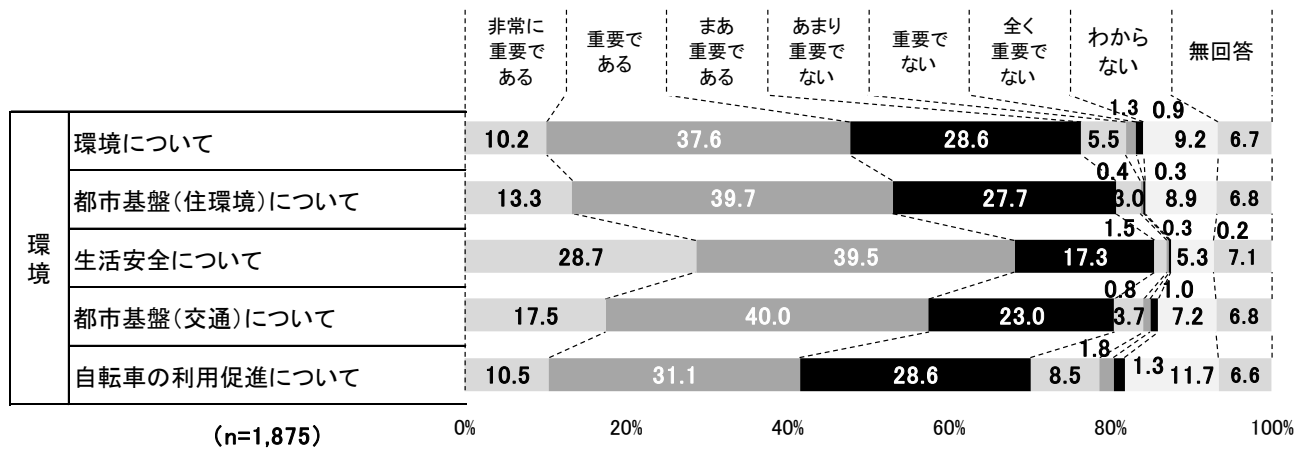
*3 TS マーク：自転車安全整備士が点検整備した自転車に貼付されるもので、傷害保険と賠償責任保険が付帯されている

環境分野について、重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は、「環境について」が 76.4%、「都市基盤（住環境）について」が 80.7%、「生活安全について」が 85.5%、「都市基盤（交通）について」が 80.5%、「自転車の利用促進について」が 70.2%となっています。評価平均得点では5項目ともにプラスの評価となっており、特に「生活安全について」は 2.05 と 23 項目中で最も高い重要度評価となっています。

性別でみると、すべての項目で女性の方が男性よりも高くなっています。

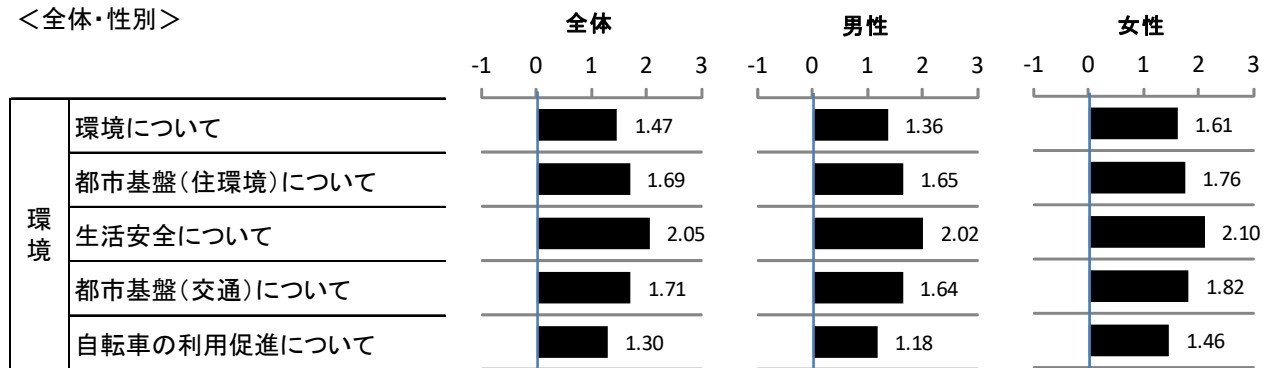
年齢別でみると、10 歳代を除くすべての年齢において「生活安全について」が最も高くなっており、特に 20 歳代～50 歳代で 2.00 以上の高い値になっています。

■図表 34 環境の重要度の割合

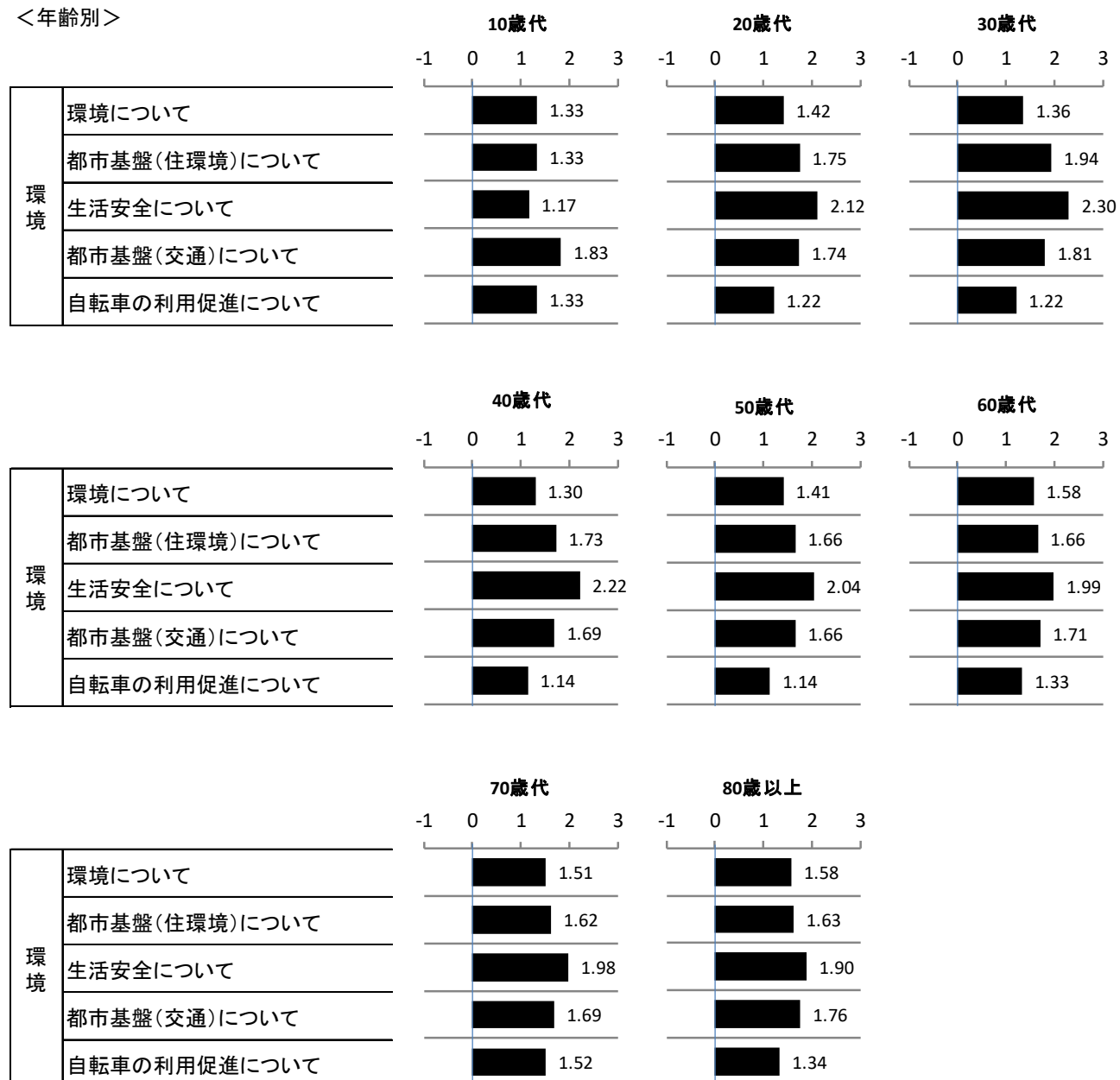


■図表 35 環境の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



③経済

施策項目	主な取組み
農業について	・農地の流動化^{*4}、担い手^{*5}の育成 ・農業の多面的機能共同活動^{*6}、ほ場整備の実施 ・地産地消・食育の推進
商工業について	・市内企業の支援体制の充実 ・空き店舗対策の実施 ・安城ビジネスコンシェルジュ（ABC）の設置等、創業支援の推進
観光について	・七夕まつり、桜まつりの開催 ・デンパークの充実（施設・イベント） ・観光案内所やウェブサイトを活用した観光情報の発信
都市基盤（市街地）について	・南明治地区土地地区画整理事業の実施 ・中心市街地拠点施設アンフォーレの建設及び賑わい創出事業の実施 ・桜井駅周辺特定土地地区画整理事業の実施

*4 農地の流動化：経営規模を拡大したい農業者や農業法人に対し、効率的な生産ができるように農地の賃借や売買を促進すること

*5 担い手：地域の中心となって農業経営を行っていく意欲のある農業者や農業法人

*6 多面的機能共同活動：農地及び農業用施設について、地域ぐるみで適切に保全活動をする活動団体に対して支援する事業

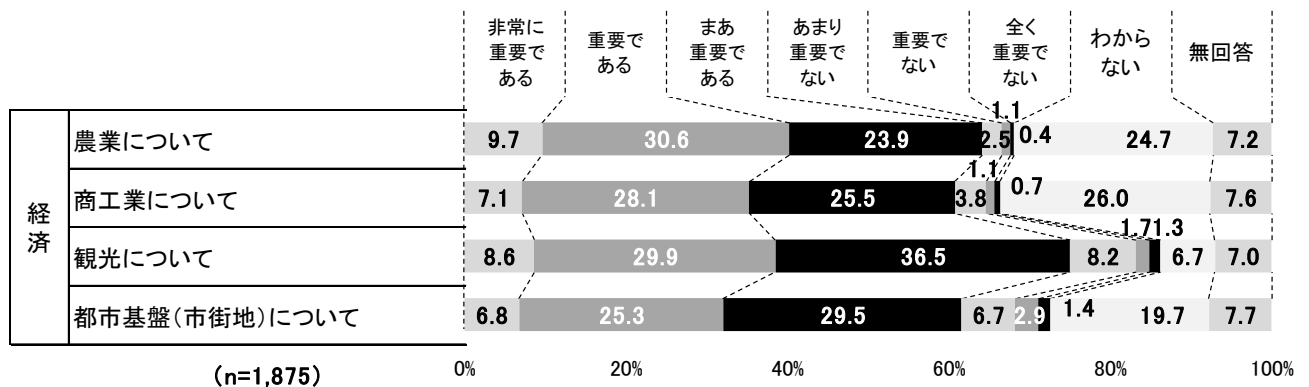
経済分野について、重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は、「農業について」が 64.2%、「商工業について」が 60.7%、「観光について」が 75.0%、「都市基盤（市街地）について」が 61.6%となっています。

評価平均得点では、「農業について」が 1.59 と最も高くなっています。

性別でみると、女性は男性よりもすべての項目において評価が高くなっています。

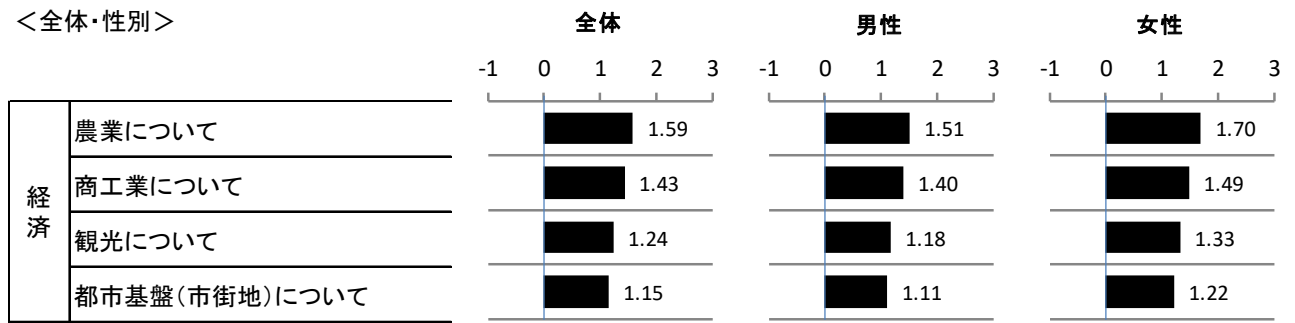
年齢別でみると、10 歳代では「観光について」が最も高くなっています。その他の年齢では、いずれも「農業について」が最も高くなっています。

■図表 36 経済の重要度の割合

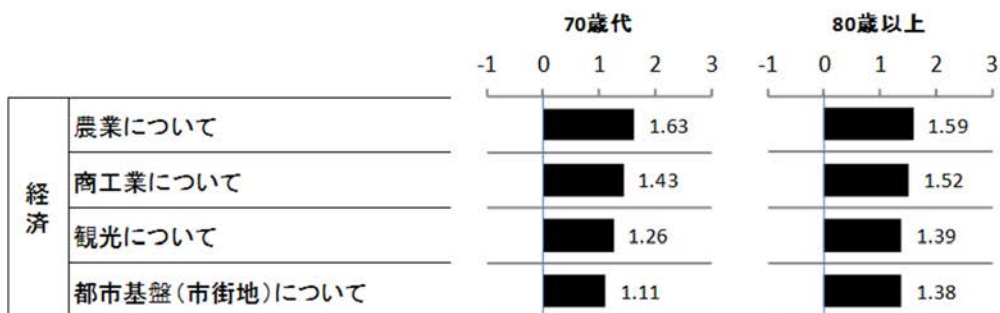
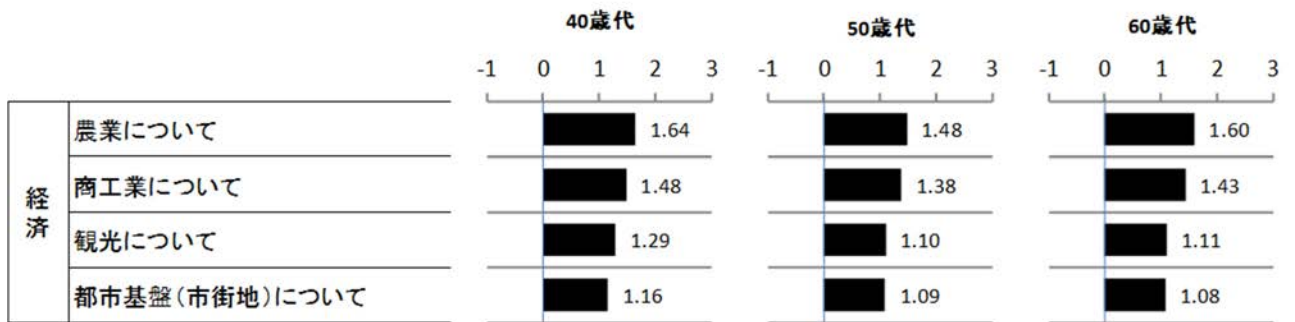
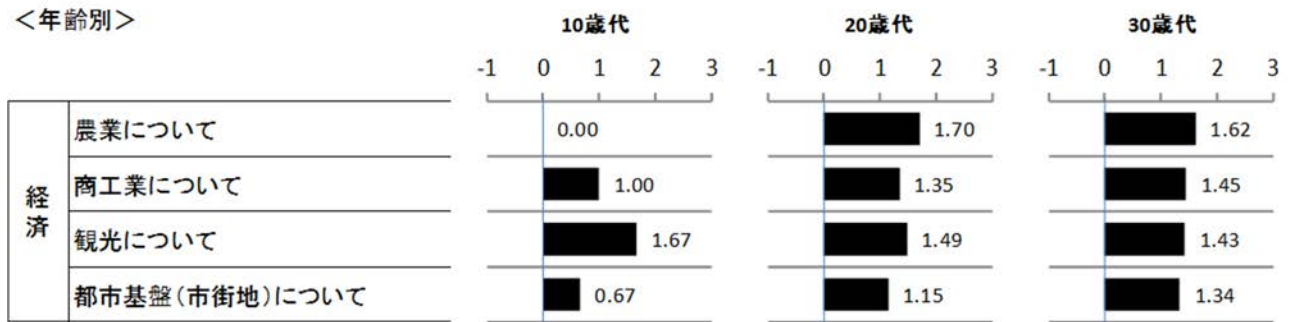


■図表 37 経済の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



④きずな

施策項目	主な取組み
防災・減災について	・防災ラジオ等による防災情報の発信 ・自主防災活動への支援、関係機関等との連携強化 ・雨水貯留施設の計画的な整備
地域福祉について	・町内福祉委員会による地域見守り活動の推進 ・日常生活圏域（中学校区）における地域包括支援センターの設置 ・町内福祉委員会やボランティア団体の活動支援
障害福祉について	・24時間対応の相談体制の整備 ・就労支援など自立に向けた支援 ・グループホームなど居住サービスの提供
社会保障について	・生活困窮者の自立支援 ・特定健診^{*7}結果によって行う特定保健指導^{*8}などの生活習慣改善の支援 事業や医療受診の案内
生涯学習について	・公民館等における各種講座や教室の開催 ・図書館の充実とアンフォーレ、公民館図書室、学校図書室の連携による子ども読書の推進 ・文化センター、プラネタリウムの整備
文化・芸術について	・歴史的建造物、遺跡等の調査と保護、三河万歳等の伝承活動 ・文化芸術の鑑賞機会提供・情報発信
参加と協働について	・審議会等の市民公募委員の募集 ・パブリックコメント^{*9}、ワークショップ^{*10}、e モニター^{*11}の実施による意見募集 ・市民交流センターの充実と市民活動への支援
地域自治（コミュニティ）について	・町内会及び地域が行う活動への支援 ・町内会の管理する集会所施設等の建設・改修補助

*7 特定健診：40 歳～74 歳の人を対象に行われるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診

*8 特定保健指導：特定健診の結果に基づき、生活習慣のアドバイスなどを行うもの

*9 パブリックコメント：市が公表した施策等の案に対し、市民から意見を求めて、その意見の概要及び市の対応を公表する制度

*10 ワークショップ：参加者同士が問題解決のために議論や共同作業を行い、施策に対し理解を深めたり、意見を述べる研究集会

*11 e モニター：インターネットと電子メールを利用した登録制のアンケート調査

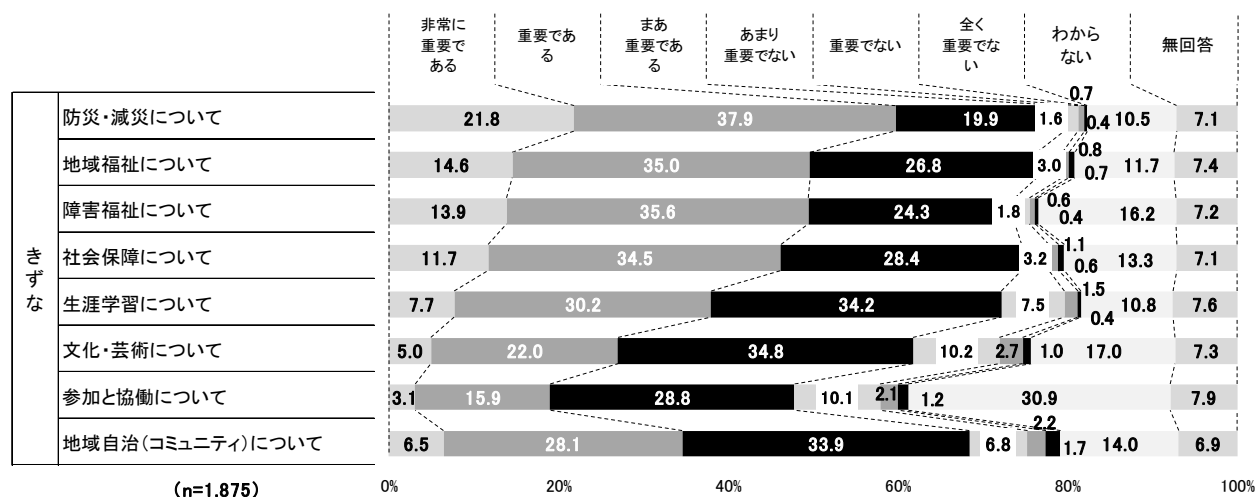
きずな分野について重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は、「防災・減災について」が 79.6%、「地域福祉について」が 76.4%、「障害福祉について」が 73.8%、「社会保障について」が 74.6%、「生涯学習について」が 72.1%、「文化・芸術について」が 61.8%、「参加と協働について」が 47.8%、「地域自治（コミュニティ）について」が 68.5%となっています。

評価平均得点では、「防災・減災について」（1.91）が最も高く、次いで「障害福祉について」（1.73）、「地域福祉について」（1.66）の順となっています。

性別でみると、女性はすべての項目において男性よりも評価が高くなっています。

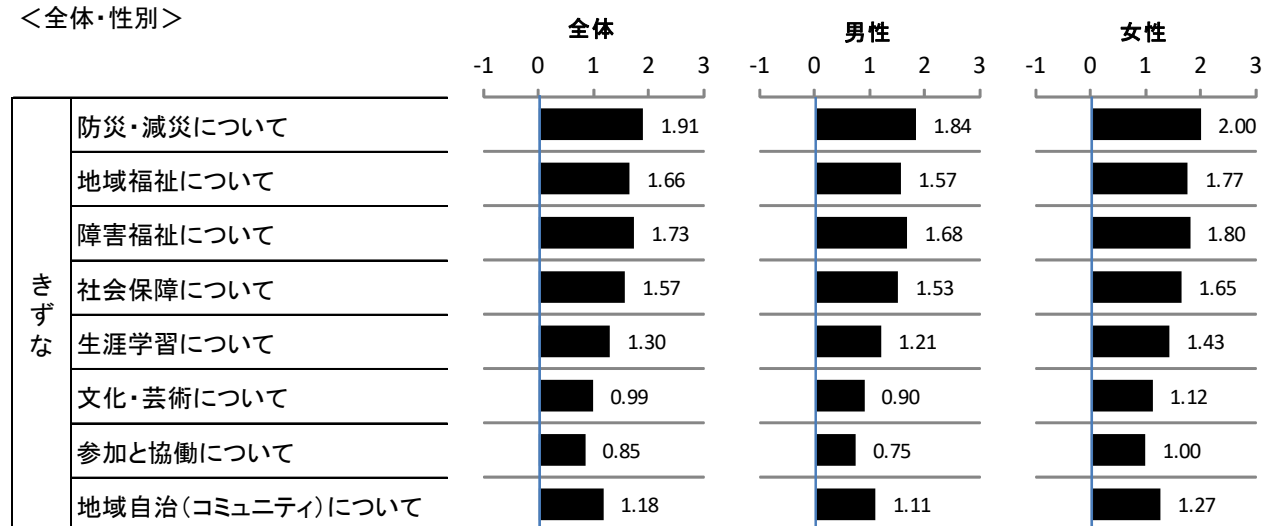
年齢別でみると、10 歳代では「社会保障について」、80 歳以上では「障害福祉について」が8項目中で最も高くなっているほか、20 歳代～70 歳代では「防災・減災について」が最も高く、特に20 歳代・30 歳代・40 歳代では2.00 以上の高い値になっています。

■図表 38 きずなの重要度の割合

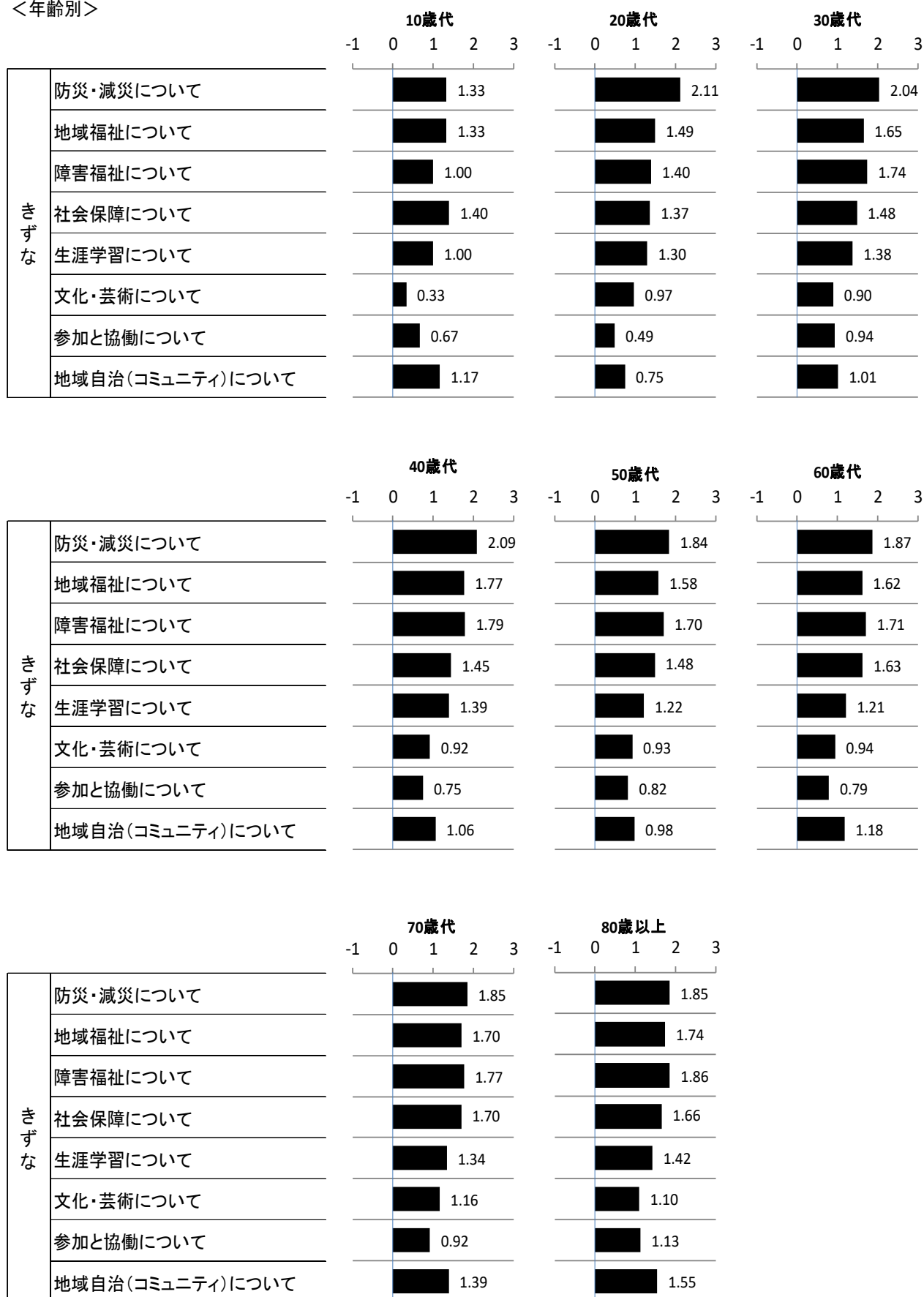


■図表 39 きずなの評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



⑤こども

施策項目	主な取組み
子育てについて	・低年齢児、延長保育、一時保育、休日保育等の充実 ・第3子以降の保育料・給食費の無料化及び小中学校給食費の無料化 ・児童クラブの対象学年拡大
ひとり親家庭福祉について	・ひとり親手当の支給 ・家庭相談員^{*12}による児童相談全般及び母子・父子自立支援員^{*13}による就業相談など ・産後の家事・育児支援事業の実施
学校教育について	・中学校1年生、小学校4年生までの少人数学級の実施 ・学校施設の改修（教室へのエアコン設置・トイレ・バリアフリー化など） ・授業でのタブレット端末等の情報機器の活用

*12 家庭相談員：地域や学校での人間関係、生活習慣、非行の問題などを抱える児童の保護者からの相談に対し、児童相談所など関係機関と連携して助言・指導を行う

*13 母子・父子自立支援員：ひとり親家庭の方が自立できるよう、生活の安定や子育ての相談、就業に関する相談・指導を総合的に行う

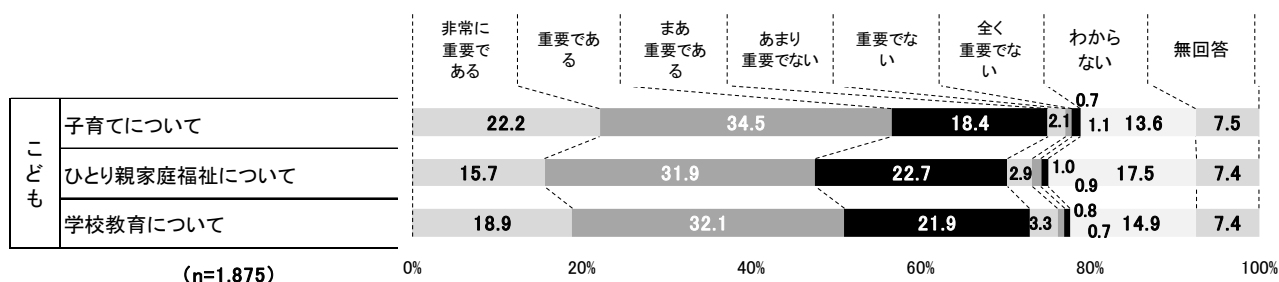
こども分野について重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は、「子育てについて」が75.1%、「ひとり親家庭福祉について」が70.3%、「学校教育について」が72.9%となっています。

評価平均得点では「子育てについて」（1.86）が最も高く、次いで「学校教育について」（1.75）、「ひとり親家庭福祉について」（1.68）の順となっています。

性別でみると、女性はずべての項目において男性よりも評価が高くなっています。

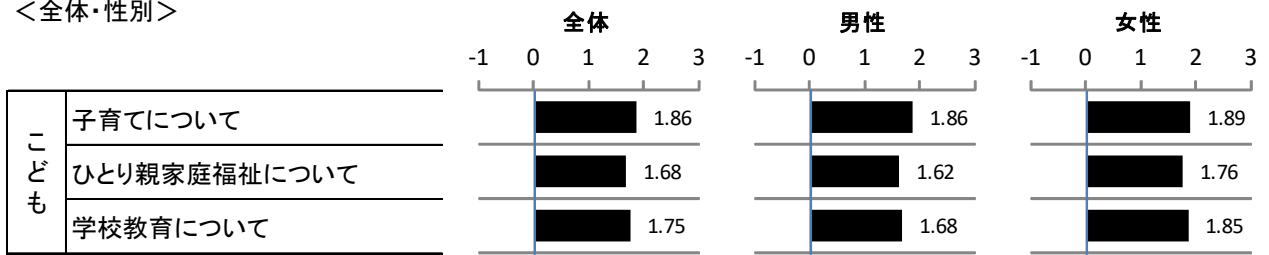
年齢別でみると、20歳代・30歳代では「子育てについて」が最も高く、いずれも2.00以上の高い値となっています。その他の年齢ではいずれも「学校教育について」が最も高くなっています。

■図表 40 こどもの重要度の割合

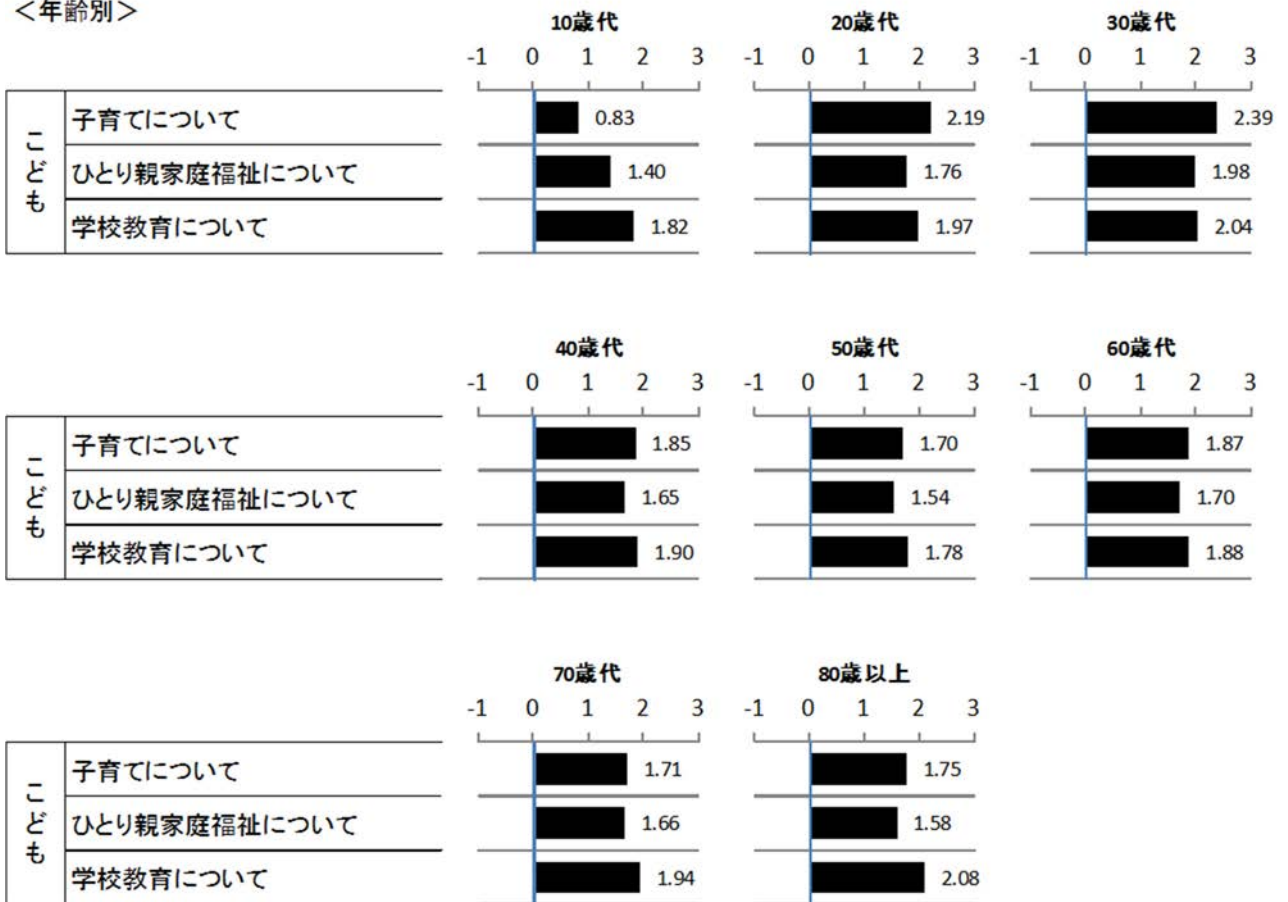


■図表 41 こどもの評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



⑥行財政運営

施策項目	主な取組み
行財政運営について	・公開行政レビュー（公開事業評価）の実施 ・各種証明書のコンビニ交付サービスの実施 ・健全財政の堅持

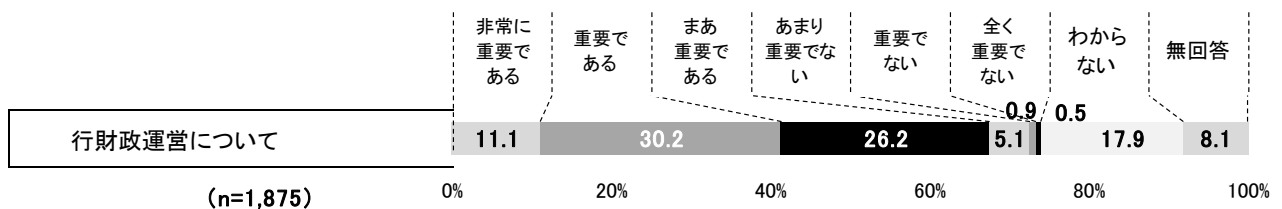
行財政運営分野について重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は67.5%となっています。

評価平均得点を全体でみると、1.51となっています。

性別でみると、女性は男性よりも評価が高くなっています。

年齢別でみると、80歳以上（1.67）と40歳代（1.61）でやや高くなっています。

■図表 42 行財政運営の重要度の割合

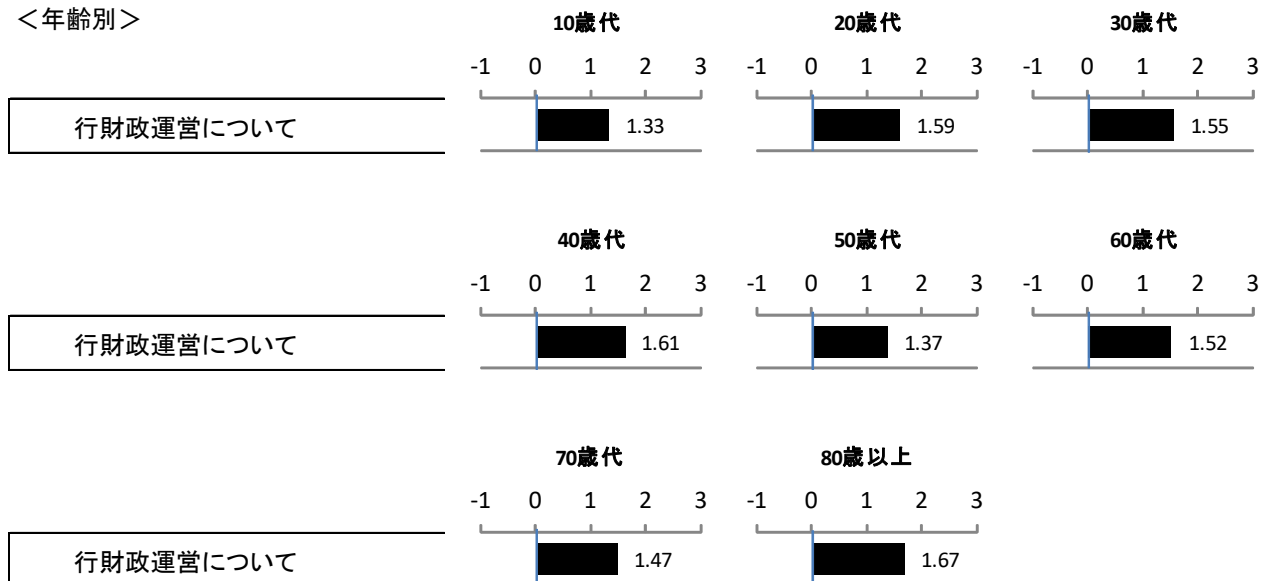


■図表 43 行財政運営の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



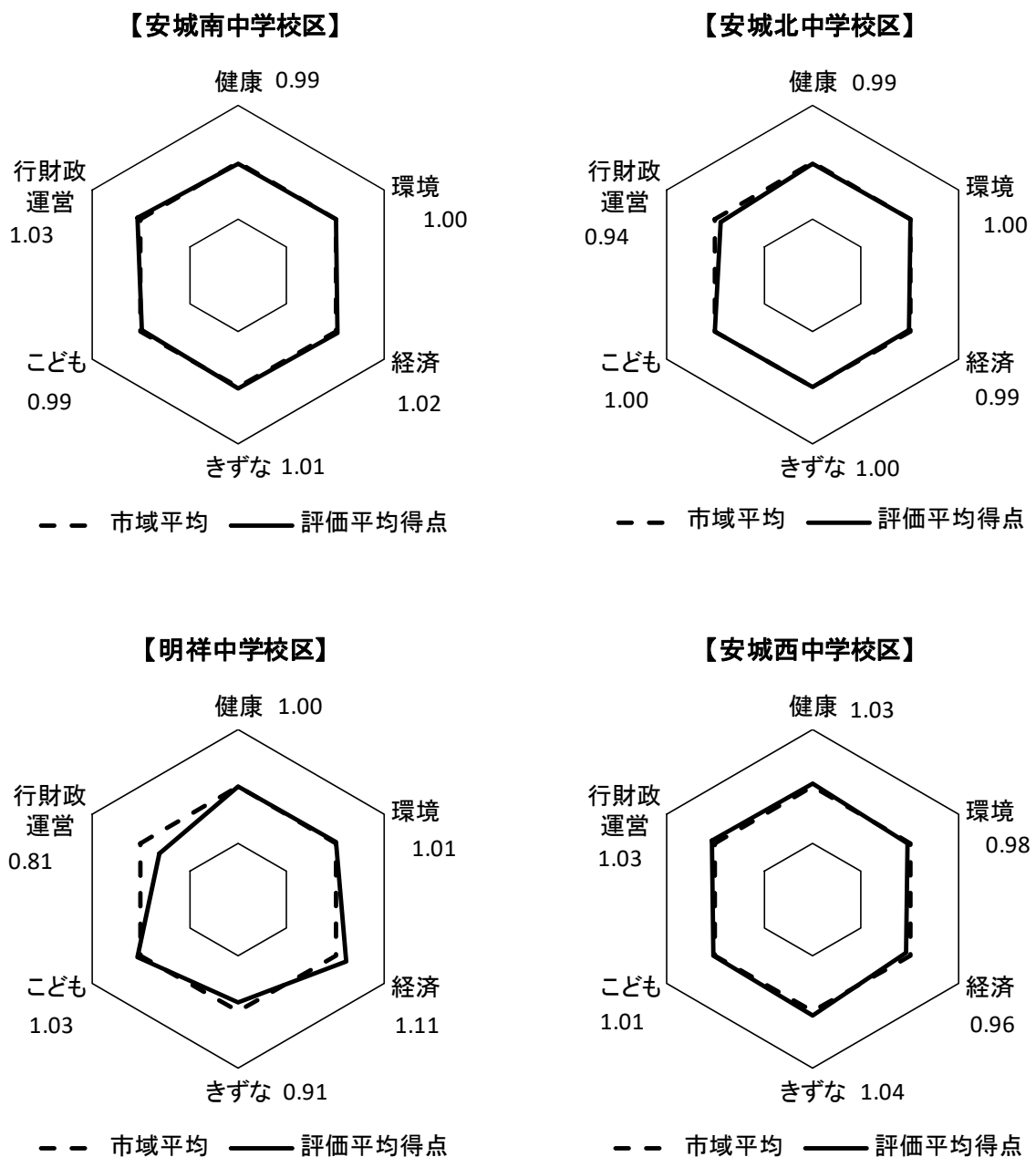
<年齢別>



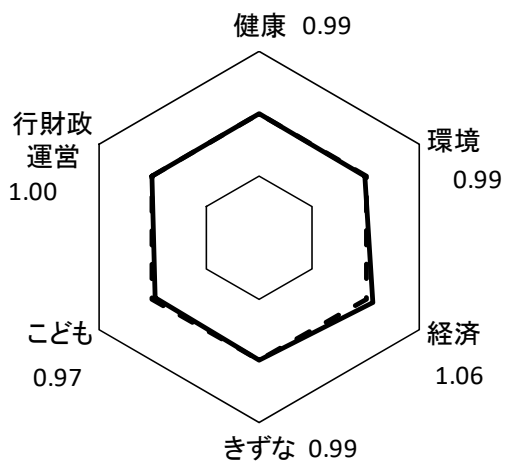
3) 居住地区別評価

居住地区別の重要度評価平均得点（市域平均を 1.00 として各中学校区の値を算出）をみると、安城南中学校区では「経済」「きずな」「行財政運営」の3分野で、明祥中学校区では「環境」「経済」「こども」の3分野で、安城西中学校区では「健康」「きずな」「こども」「行財政運営」の4分野で、桜井中学校区は「経済」の1分野で、東山中学校区は「環境」「きずな」「行財政運営」の3分野で、安祥中学校区は「行財政運営」を除く5分野で、篠目中学校区は「きずな」を除く5分野で、市域平均よりも重要度評価が高くなっています。安城北中学校区ではすべての分野が市域平均以下となっています。

■図表 44 居住地区ごとの施策分野別重要度評価の比較（市域平均を 1.00 として算出）

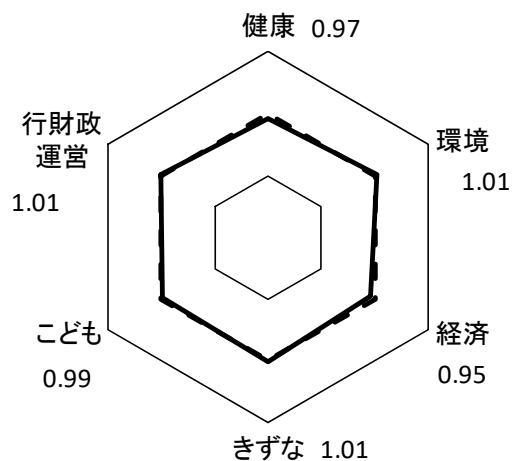


【桜井中学校区】



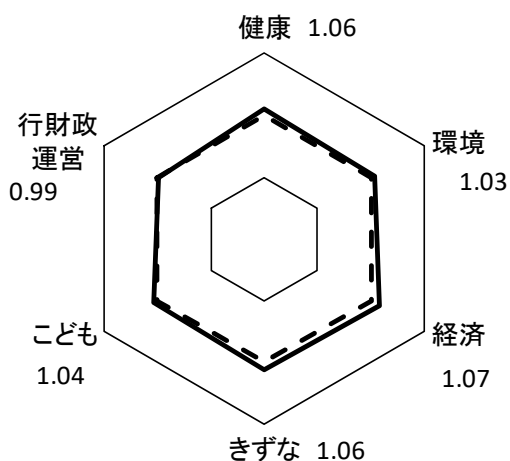
--- 市域平均 —— 評価平均得点

【東山中学校区】



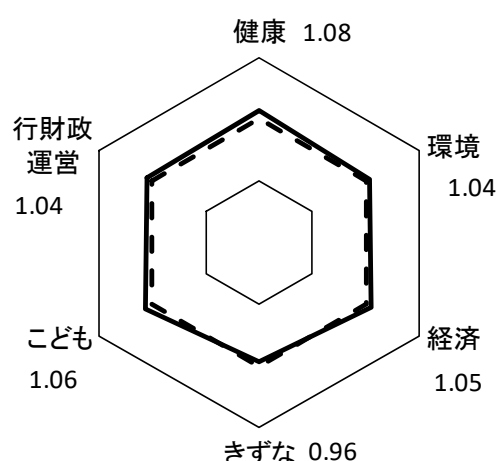
--- 市域平均 —— 評価平均得点

【安祥中学校区】



--- 市域平均 —— 評価平均得点

【篠目中学校区】



--- 市域平均 —— 評価平均得点

	健康	環境	経済	きずな	こども	行財政運営
市域平均	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
安城南中学校区	0.99	1.00	1.02	1.01	0.99	1.03
安城北中学校区	0.99	1.00	0.99	1.00	1.00	0.94
明祥中学校区	1.00	1.01	1.11	0.91	1.03	0.81
安城西中学校区	1.03	0.98	0.96	1.04	1.01	1.03
桜井中学校区	0.99	0.99	1.06	0.99	0.97	1.00
東山中学校区	0.97	1.01	0.95	1.01	0.99	1.01
安祥中学校区	1.06	1.03	1.07	1.06	1.04	0.99
篠目中学校区	1.08	1.04	1.05	0.96	1.06	1.04

(4) 満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係分布

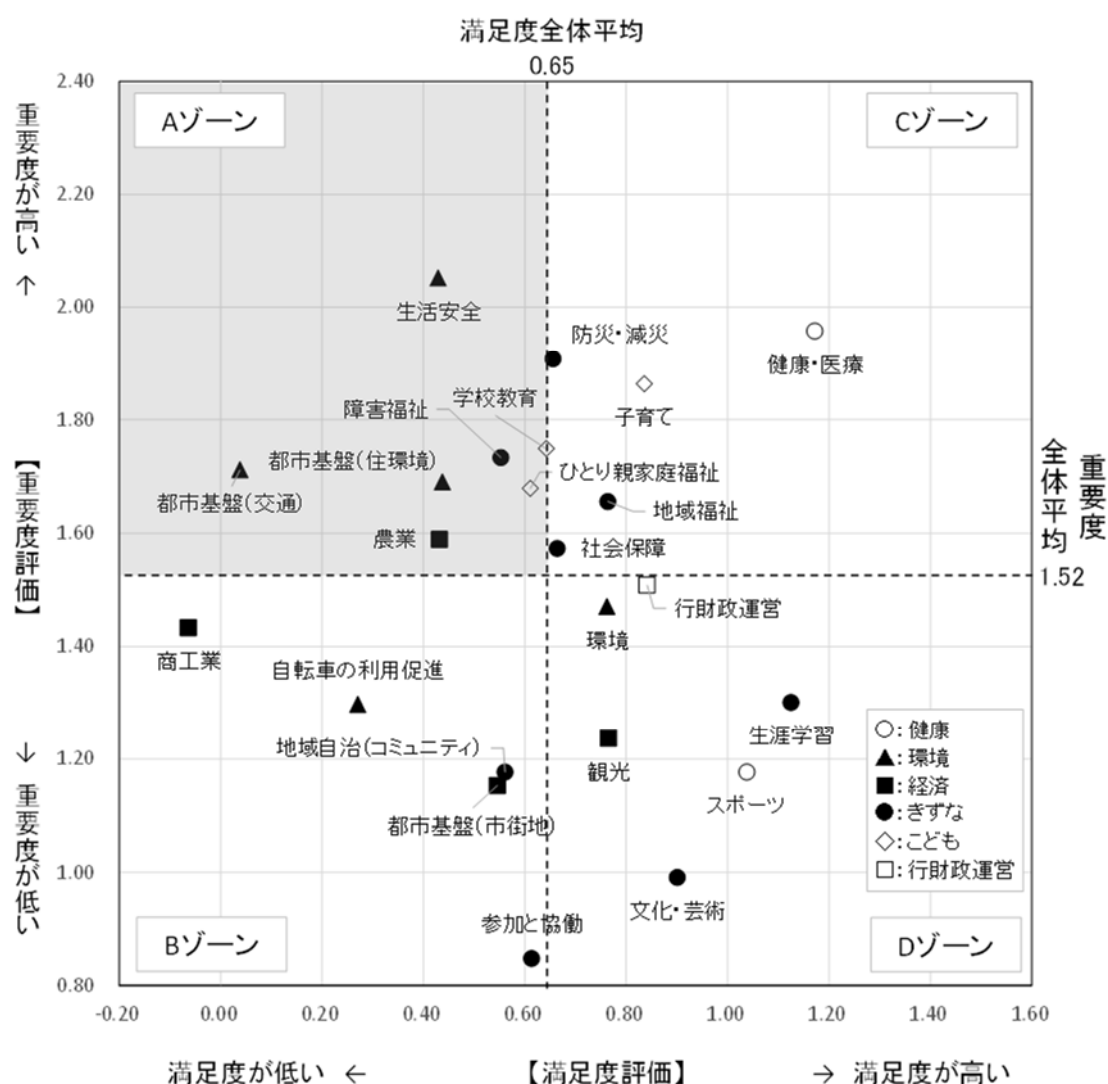
満足度を横軸に、重要度を縦軸にとって、6分野23項目の満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係を分布図にしたものが下の図です。

満足度評価の平均得点は、-0.06 から 1.17 の範囲にあり、平均値 0.65 です。また、重要度評価の平均得点は、0.85 から 2.05 の範囲にあり、平均値は 1.52 です。

網掛けの部分の「Aゾーン」に位置する施策項目は、《施策の必要性が十分認識され、かつ今後の取組みのさらなる推進や改善に対する市民のニーズ（期待）が高い施策項目》を示しています。

今回の調査では、今後、優先的に取り組むべき施策項目として、「生活安全について」「都市基盤（交通）について」「都市基盤（住環境）について」「農業について」「障害福祉について」「ひとり親家庭福祉について」「学校教育について」の7項目が該当しています。

■図表 45 満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係分布



【Aゾーン】 満足度：平均値より低い 重要度：平均値より高い	グラフ左上に位置する取組みは、施策の必要性が十分認識されているものの、取組みに対する満足度が低く、市民が最も充実を求めていると考えられます。そのため従来の取組みに改善を加え、さらなる充実を図る必要があります。
【Bゾーン】 満足度：平均値より低い 重要度：平均値より低い	グラフ左下に位置する取組みは、施策の必要性の認識が低く、取組みに対する満足度も低いと考えられます。そのため施策の重要性に対する理解を高めるとともに取組みの見直しや方向性などを十分検討し、満足度を上げていく必要があります。
【Cゾーン】 満足度：平均値より高い 重要度：平均値より高い	グラフ右上に位置する取組みは、施策の必要性が十分認識され、その取組みにも満足されていると考えられます。今後も現在の水準を維持するため、着実な取組みが求められます。
【Dゾーン】 満足度：平均値より高い 重要度：平均値より低い	グラフ右下に位置する取組みは、施策の必要性の認識は低く、取組みには満足されていると考えられるため、今後も現状どおりの着実な取組みが求められます。

■図表 46 満足度と重要度の評価平均得点

分野	項目	満足度評価	重要度評価
健康	健康・医療について	1.17	1.96
	スポーツについて	1.04	1.18
環境	環境について	0.76	1.47
	都市基盤(住環境)について	0.44	1.69
	生活安全について	0.43	2.05
	都市基盤(交通)について	0.04	1.71
	自転車の利用促進について	0.27	1.30
経済	農業について	0.43	1.59
	商工業について	-0.06	1.43
	観光について	0.77	1.24
	都市基盤(市街地)について	0.55	1.15
きずな	防災・減災について	0.66	1.91
	地域福祉について	0.76	1.66
	障害福祉について	0.55	1.73
	社会保障について	0.66	1.57
	生涯学習について	1.12	1.30
	文化・芸術について	0.90	0.99
	参加と協働について	0.61	0.85
	地域自治(コミュニティ)について	0.56	1.18
こども	子育てについて	0.84	1.86
	ひとり親家庭福祉について	0.61	1.68
	学校教育について	0.64	1.75
行財政運営について		0.84	1.51
全体平均		0.65	1.52

3 日常生活について

(1) 健康状態について

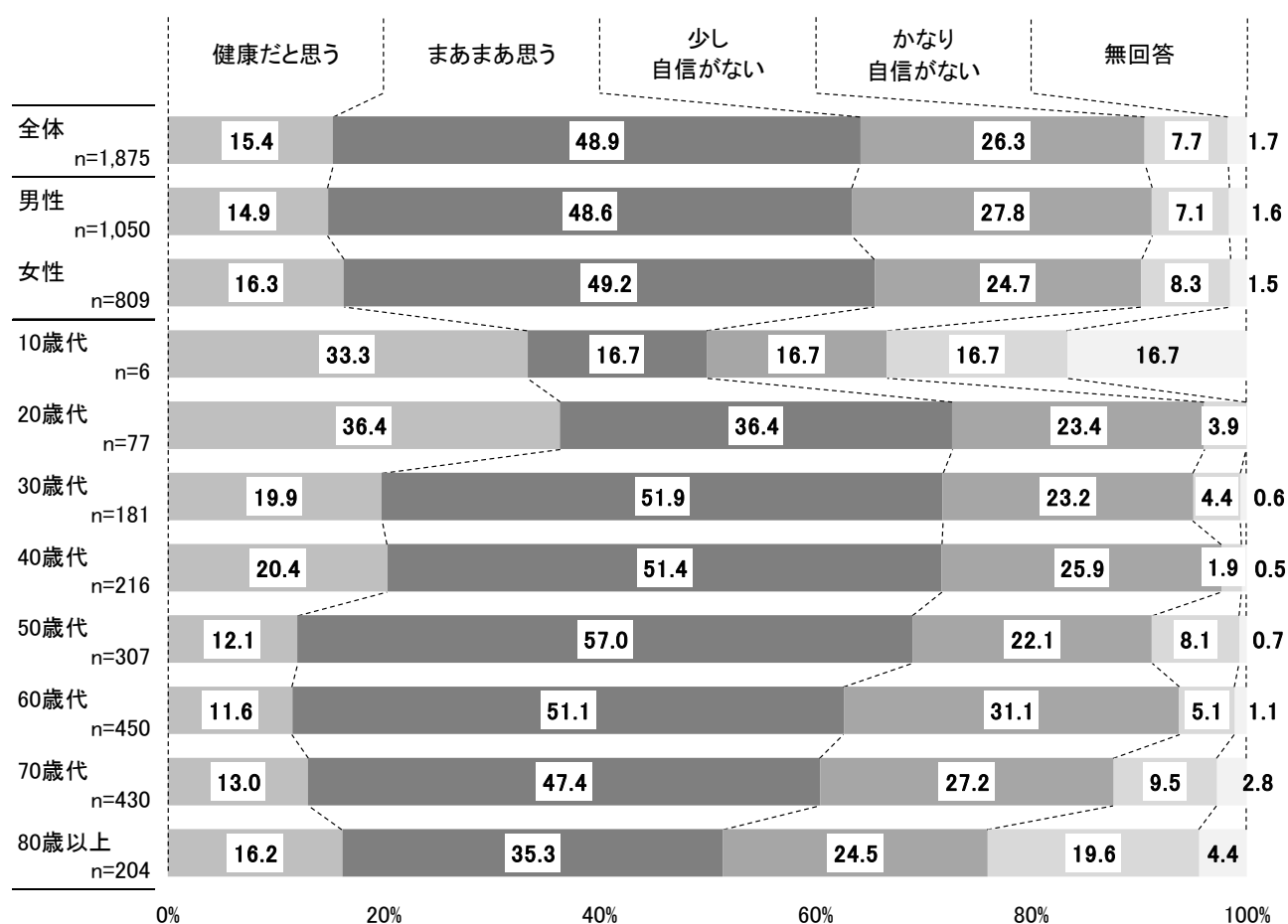
問 27 ご自身は健康であると思いますか。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

自身の健康状態について、全体でみると「健康だと思う」（15.4%）と「まあまあ思う」（48.9%）を合わせた“健康だと思う”が 64.3%、「少し自信がない」（26.3%）と「かなり自信がない」（7.7%）を合わせた“健康に自信がない”は 34.0%となっています。

性別による大きな差はみられません。

年齢別では、20 歳代以上では年齢が高くなるほど“健康に自信がない”人の割合が高くなる傾向にあります。

■図表 47 自身の健康状態（全体・性・年齢別）



(2) 食生活の問題点

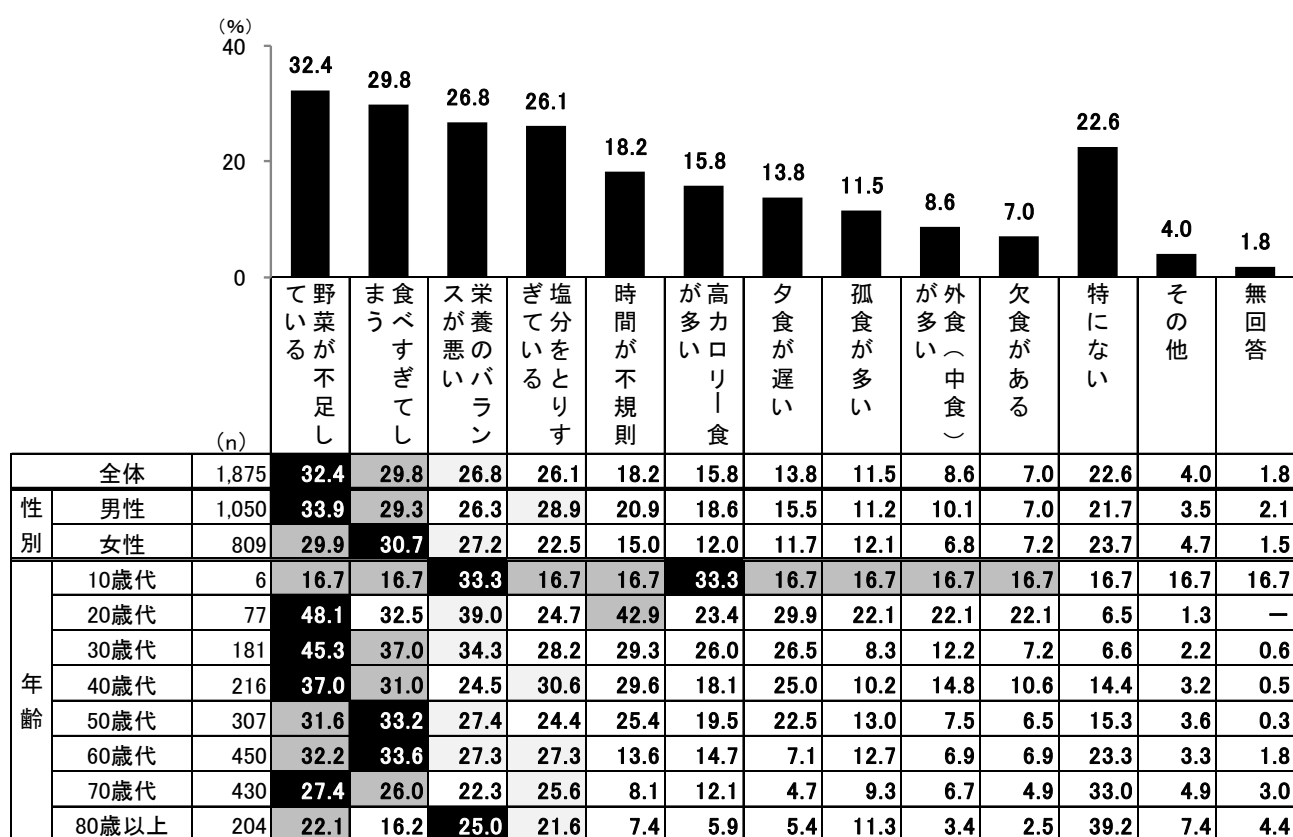
問 28 自身の食生活の問題点はどのようなものですか。次の中から該当するもの全てに○をつけてください。

食生活の問題点について、全体でみると「野菜が不足している」が 32.4%で最も高く、次いで「食べ過ぎてしまう」(29.8%)、「栄養のバランスが悪い」(26.8%)の順となっています。

性別でみると、男性は「野菜が不足している」(33.9%)、女性は「食べ過ぎてしまう」(30.7%)が最も高くなっています。

年齢別でみると、10 歳代では「栄養のバランスが悪い」と「高カロリー食が多い」、20 歳代～40 歳代・70 歳代では「野菜が不足している」、50 歳代・60 歳代では「食べ過ぎてしまう」、80 歳以上では「栄養のバランスが悪い」の割合が最も高くなっています。

■図表 48 食生活の問題点



<「その他」の回答>

- ・甘いものや好きなものばかり食べてしまう
- ・飲酒が多い
- ・早食いしてしまう
- ・持病のため食事に制限があり栄養バランスをとりにくい
- ・自炊がめんどろで簡単なもので済ますため栄養が偏ってしまう

(3) 1日の歩行時間

問 29 1日にどれくらいの時間を歩きますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。(ウォーキング等の運動以外に通勤などの時間も含みます)

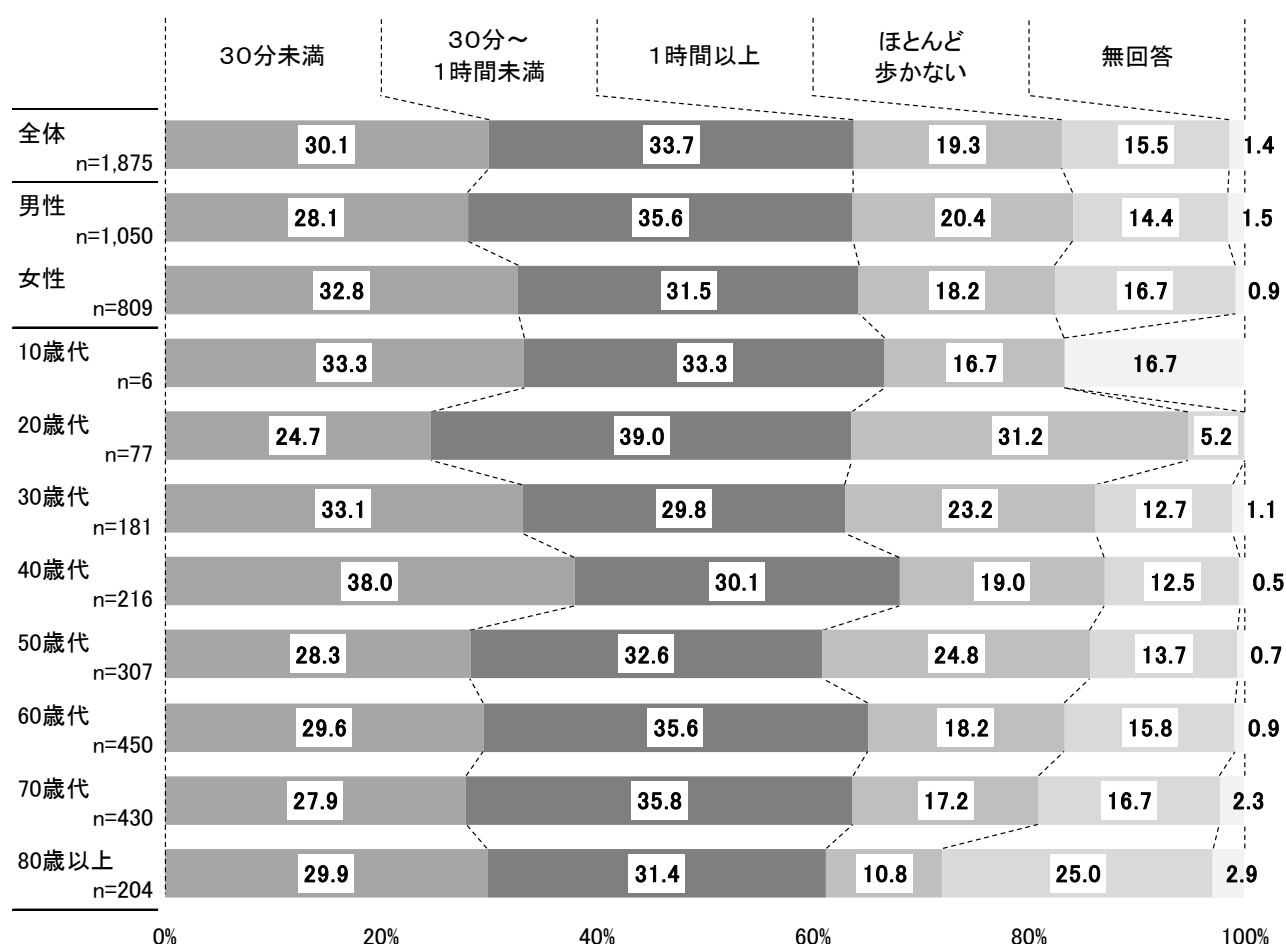
1日の歩行時間について、全体でみると「30分～1時間未満」が33.7%で最も高く、次いで「30分未満」(30.1%)となっています。1日に“30分以上”(「30分～1時間未満」+「1時間以上」)歩く人は53.0%となっており、半数を超えています。

性別でみると、“30分以上”歩く人は男性が56.0%、女性が49.7%となっています。

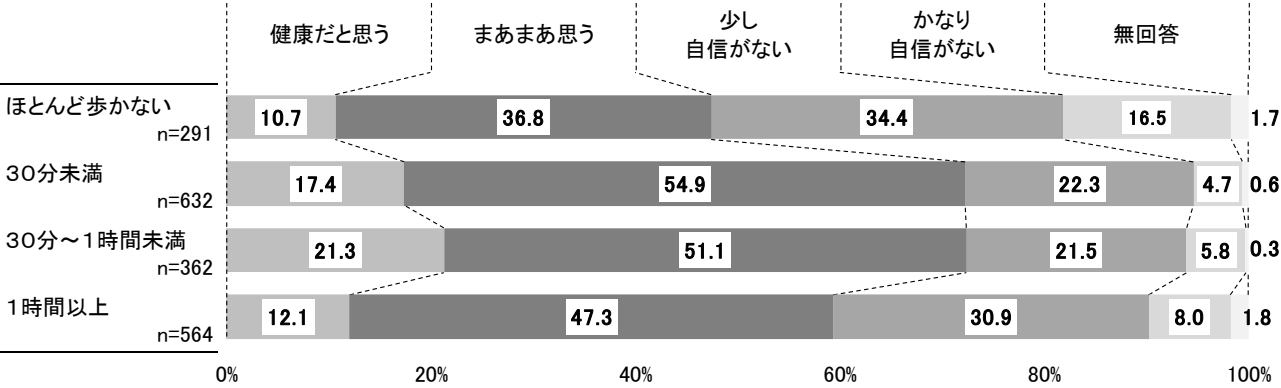
年齢別でみると、「ほとんど歩かない」人の割合は、10歳代の0.0%から年齢が上がるにつれ増加する傾向となっています。80歳以上では4人に1人が「ほとんど歩かない」(25.0%)と回答しています。

1日の歩行時間別の健康状態をみると、“健康に自信がない”(「少し自信がない」+「かなり自信がない」)の割合が、“歩く人”では4割未満(「30分未満」27.0%、「30分～1時間未満」27.3%、「1時間以上」38.9%)であるのに対し、「ほとんど歩かない」人では50.9%と高くなっています。

■図表 49 1日の歩行時間(全体・性・年齢別)



■図表 50 1日の歩行時間別の健康状態



(4) スポーツ・運動

問 30 あなたは普段どれぐらいの頻度でスポーツ・運動をしていますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。(ラジオ体操やさんぽ、山や公園などでの散策も運動に含みます)

スポーツ・運動の頻度について、全体でみると“週に1日以上運動する人”（「週に5日以上」＋「週に3～4日」＋「週に1～2日」）の割合は48.8%、「スポーツ・運動はしない」人の割合は38.6%となっています。

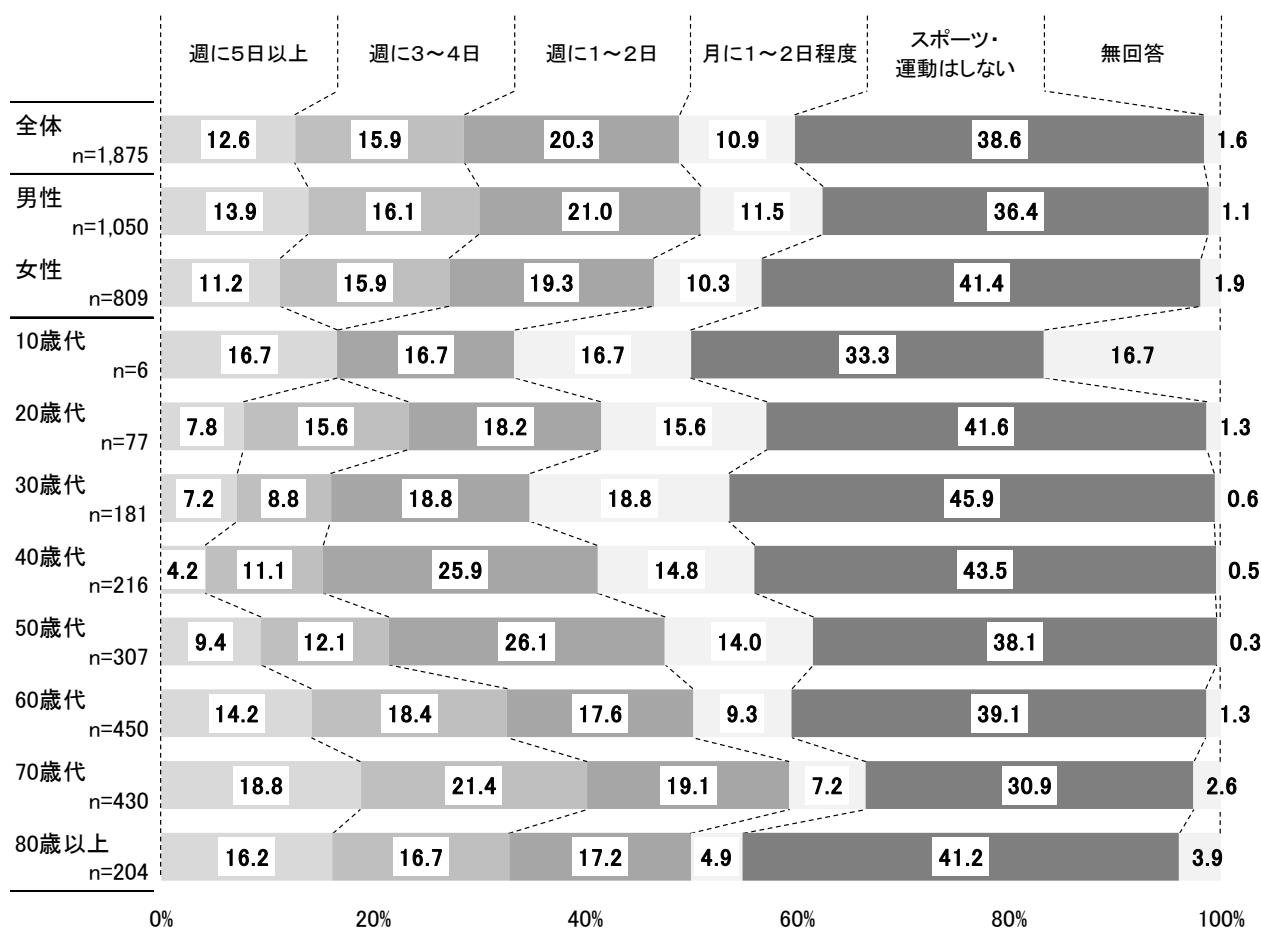
運動する人の頻度では「週に1～2日」（20.3%）、「週に3～4日」（15.9%）の順に高くなっています。

性別では、男性の方が女性よりも運動をする頻度がやや高くなっています。

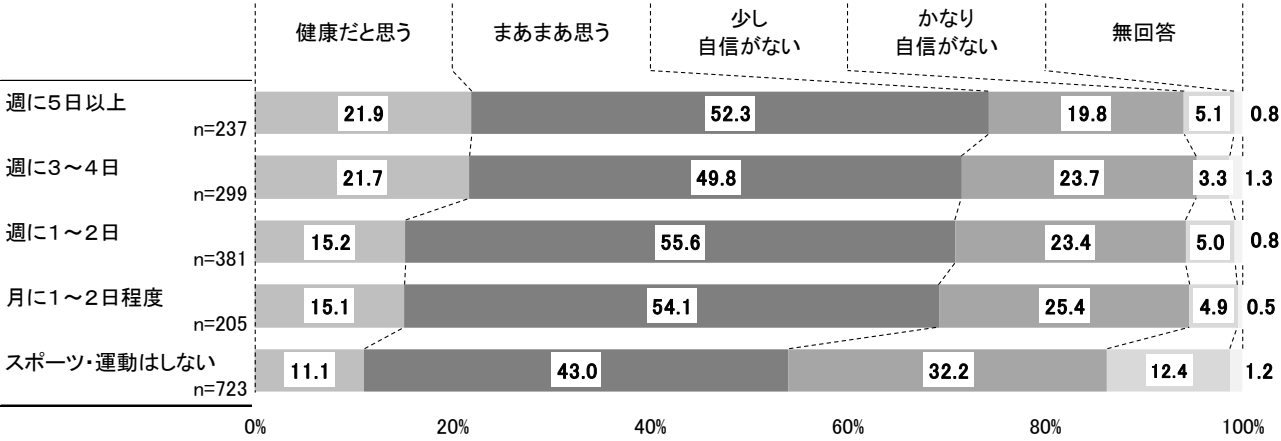
年齢別では、「スポーツ・運動はしない」人の割合が30歳代（45.9%）、40歳代（43.5%）、20歳代（41.6%）の順に高く、10歳代から70歳代では年齢が上がるにつれて運動する人は増える傾向がみられます。

スポーツ・運動の頻度別の健康状態をみると、“健康だと思う”（「健康だと思う」＋「まあまあ思う」）の割合は、「週に5日以上」（74.2%）、「週に3～4日」（71.5%）、「週に1～2日」（70.8%）、「月に1～2日程度」（69.2%）、「スポーツ・運動はしない」（54.1%）の順となっており、運動の頻度が上がるほど健康を自覚する人の割合が増える傾向がみられます。

■図表 51 スポーツ・運動の頻度（全体・性・年齢別）



■図表 52 スポーツ・運動の頻度（健康状態別）



(5) みるスポーツ

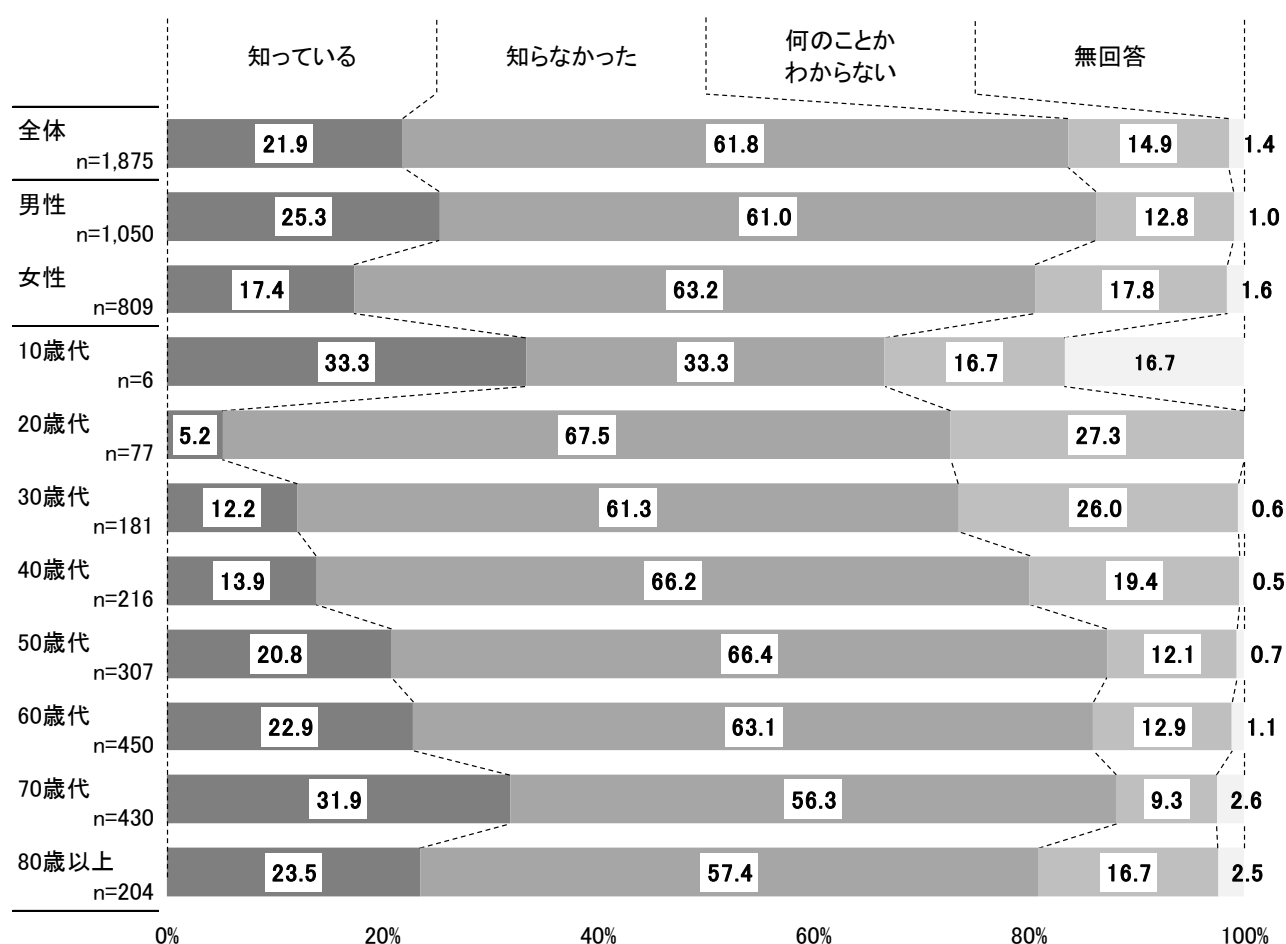
問 31 安城市では「みるスポーツ」も推進しています。全日本大学女子ソフトボール選手権大会（インカレ）が安城市で開催されます。あなたは安城市で開催されるのを知っていましたか。

「みるスポーツ」について、全体でみると「知っている」は 21.9%であるのに対し、“知らない”（「知らなかった」＋「何のことかわからない」）は 76.7%となっており、認知度はかなり低い状況となっています。

性別では、男性の認知度の方が女性よりも高くなっています。

年齢別では、「知っている」の割合は 10 歳代が 33.3%と最も高く、20 歳代が 5.2%と最も低くなっています。20 歳代以上では年齢が上がるにつれて認知度も上がっていく傾向がみられる一方、6 割前後の人が「知らなかった」と答えており、いずれの年齢でも“知らない”人の方が多い状況となっています。

■図表 53 「みるスポーツ」の認知度（全体・性・年齢別）



(6) 外出先への移動手段

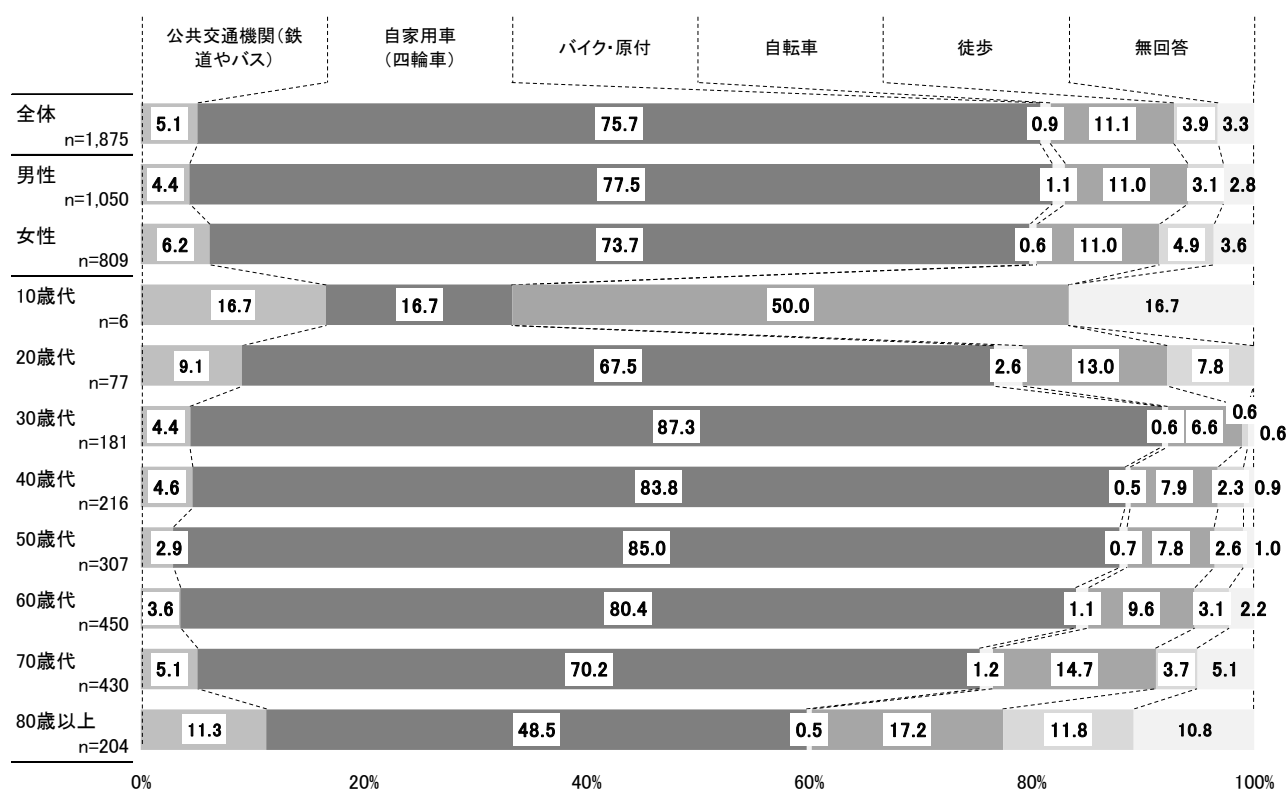
問 32 通勤・通学以外で安城市内を移動するとき、あなたが最も多く利用する交通手段はどれですか。
次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

通勤・通学以外での移動手段について、全体では「自家用車（四輪車）」が 75.7%と最も高く、次いで「自転車」（11.1%）、「公共交通機関（鉄道やバス）」（5.1%）となっており、自家用車の利用が多くを占めています。

性別では、女性の方が男性よりも「自家用車（四輪車）」の割合が低く、「公共交通機関（鉄道やバス）」や「徒歩」の割合が高くなっています。

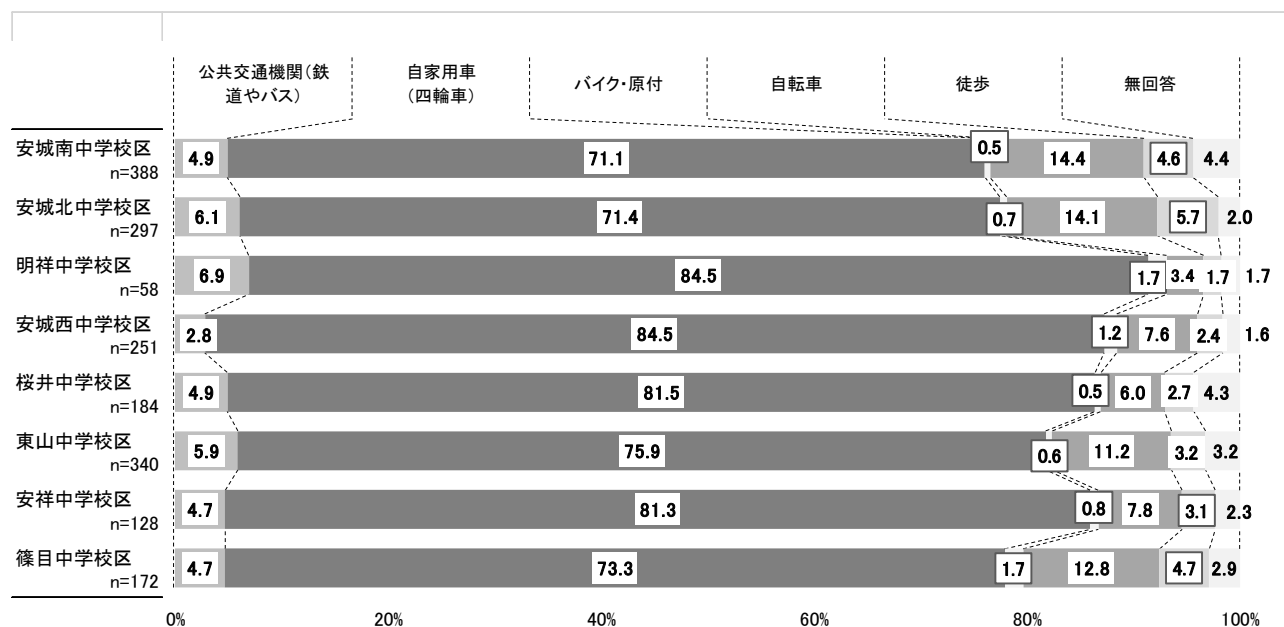
年齢別では、10 歳代では「自転車」（50.0%）が半数を占めています。「自家用車（四輪車）」の利用は 20 歳代から増え始め、30 歳代（87.3%）をピークに年齢が上がるにつれて減少する傾向にあります。80 歳以上では、「自家用車（四輪車）」（48.5%）の利用が半数未満になるとともに、「公共交通機関（鉄道やバス）」や「自転車」、「徒歩」などを利用する割合が他の年齢よりも高くなっています。

■図表 54 外出先への移動手段（通勤・通学以外）（全体・性・年齢別）



居住地区別でみると、すべての中学校区で「自家用車（四輪車）」が最も高く、明祥中学校区・安城西中学校区では 84.5%を占めています。安城南中学校区・安城北中学校区・東山中学校区・篠目中学校区では「自転車」が 1 割を超えています。

■図表 55 外出先への移動手段（通勤・通学以外）（居住地区別）



(7) 安城市内での移動手段

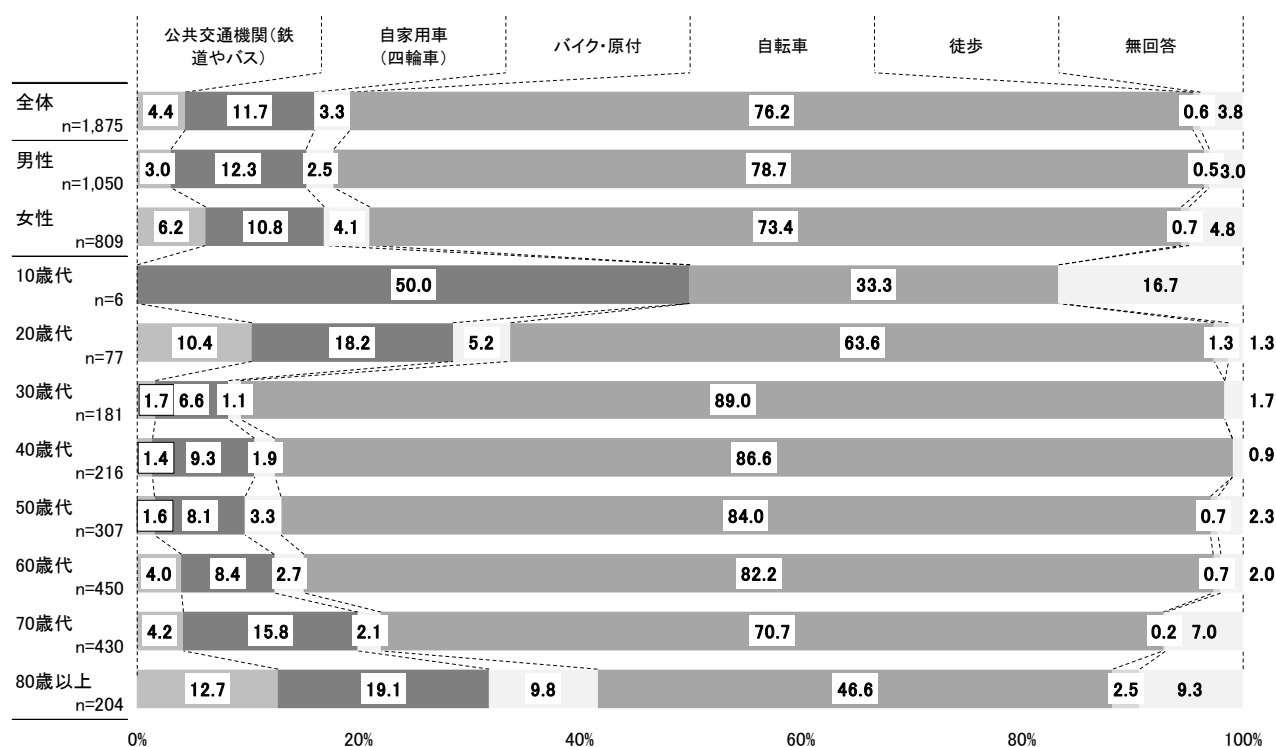
問 33 安城市内での移動手段として、主にどのような交通手段を使っていますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

安城市内での移動手段について、全体では「自転車」が 76.2%と最も高く、次いで「自家用車（四輪車）」（11.7%）、「公共交通機関（鉄道やバス）」（4.4%）となっており、自転車の利用が7割以上を占めています。

性別では、男性よりも女性の方が「自家用車（四輪車）」・「自転車」の割合が低く、「公共交通機関（鉄道やバス）」・「バイク・原付」の割合が高くなっています。

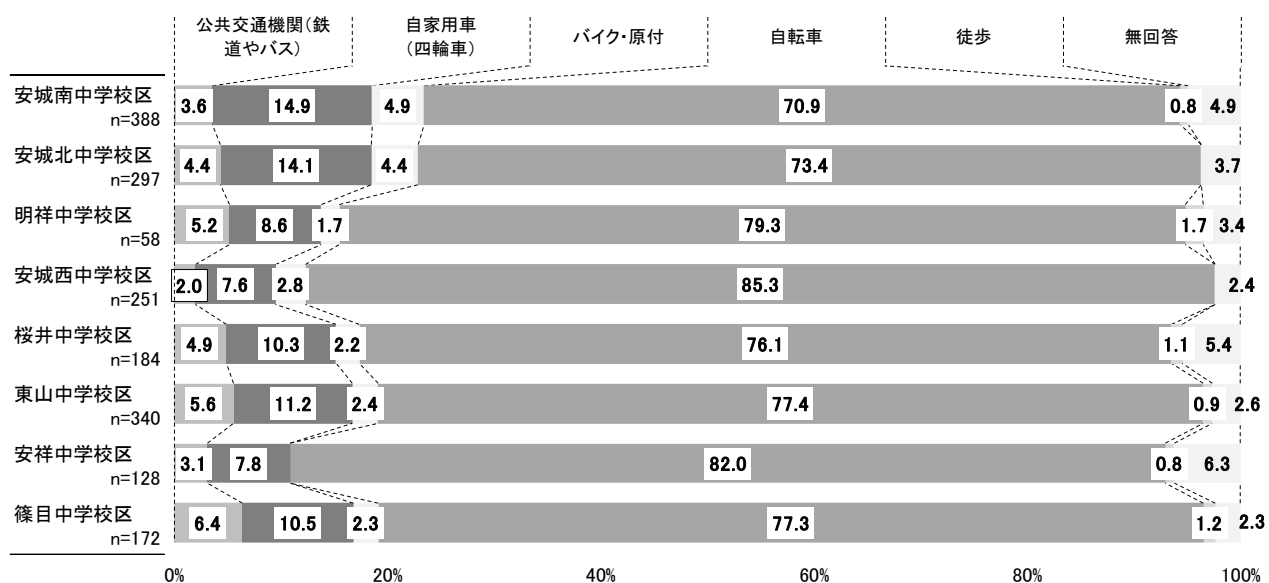
年齢別でみると、10 歳代では「自家用車（四輪車）」（50.0%）が半数を占め、次いで「自転車」（33.3%）となっています。20 歳代以上では、いずれも「自転車」の割合が最も高く、30 歳代では約9割（89.0%）、40 歳代から 60 歳代でも8割以上を占めています。20 歳代・80 歳以上では、「自家用車（四輪車）」や「公共交通機関（鉄道やバス）」、「バイク・原付」などの利用が他の年齢よりも高くなっています。

■図表 56 安城市内での移動手段（全体・性・年齢別）



居住地区別でみると、全ての中学校区で「自転車」が最も高く、安城西中学校区・安祥中学校区では 85.3%・82.0%と 8 割を超えています。次に高いのは「自家用車（四輪車）」で、安城南中学校区・安城北中学校区では 14%を超えています。

■図表 57 安城市内での移動手段（居住地区別）



（８）今後の自転車の利用

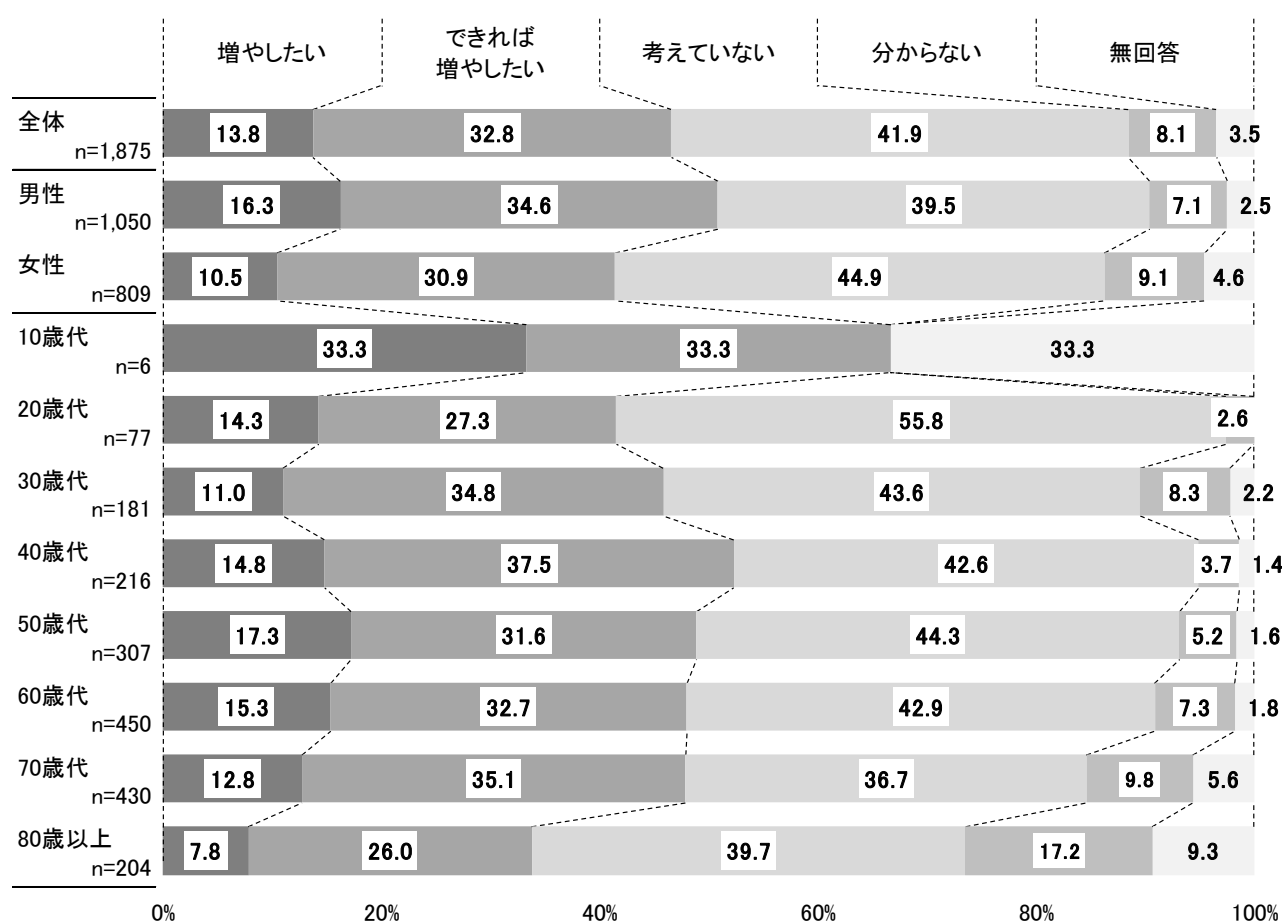
問 34 移動手段として、自転車の利用を増やしていきたいですか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

今後の自転車の利用について、全体でみると“増やしたい”（「増やしたい」＋「できれば増やしたい」）の割合は46.6%となっています。

性別でみると、“増やしたい”は男性（50.9%）の方が、女性（41.4%）よりも高くなっています。

年齢別でみると、10歳代では66.6%が“増やしたい”と答えています。20歳代・80歳以上では“増やしたい”（41.6%・33.8%）が「考えていない」（55.8%・39.7%）を下回っています。その他の年齢ではいずれも“増やしたい”が「考えていない」を上回っています。

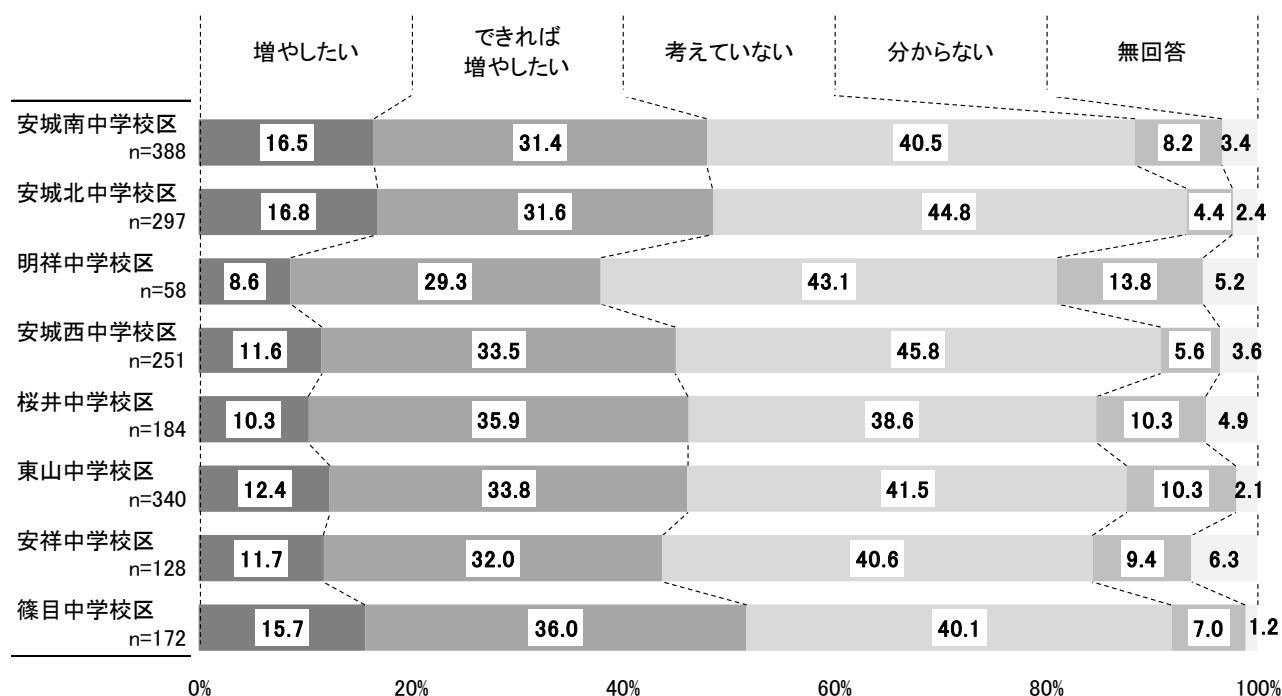
■図表 58 今後の自転車利用への意向（全体・性・年齢別）



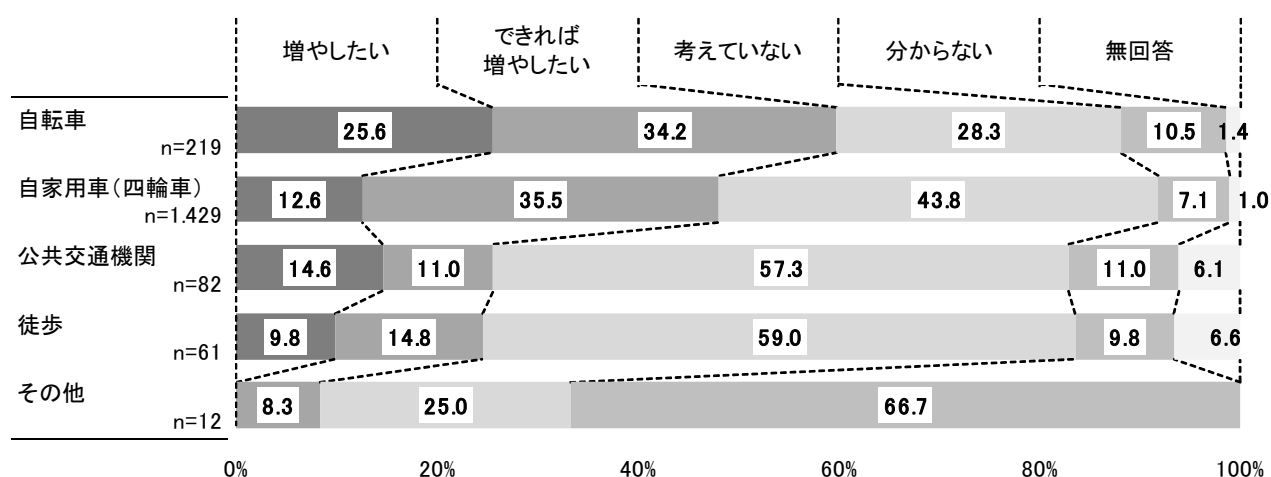
居住地区別でみると、“増やしたい”が最も高いのは篠目中学校区（51.7%）で、最も低いのは明祥中学校区（37.9%）となっています。

外出先への移動手段別でみると、“増やしたい”が最も高いのは、すでに「自転車」を利用している人（59.8%）で、次いで「自家用車（四輪車）」（48.1%）、「公共交通機関」（25.6%）、「徒歩」（24.6%）の順となっています。

■図表 59 今後の自転車利用への移行（居住地区別）



■図表 60 今後の自転車利用への移行（外出先への移動手段別）



（９）安城市の文化や芸術への愛着や誇り

問 35 本市の文化や芸術に愛着や誇りを感じますか。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

安城市の取組み

- ・市民芸術祭（安美展、市民文芸まつりなど）の開催
- ・歴史博物館企画展の開催
- ・歴史の散歩道の充実

安城市の文化や芸術への愛着や誇りについて、全体でみると、愛着や誇りを“感じる”（「感じる」＋「どちらかといえばそう感じる」）は 38.3%、“感じない”（「どちらかといえばそう感じない」＋「感じない」）は 30.1%となっています。

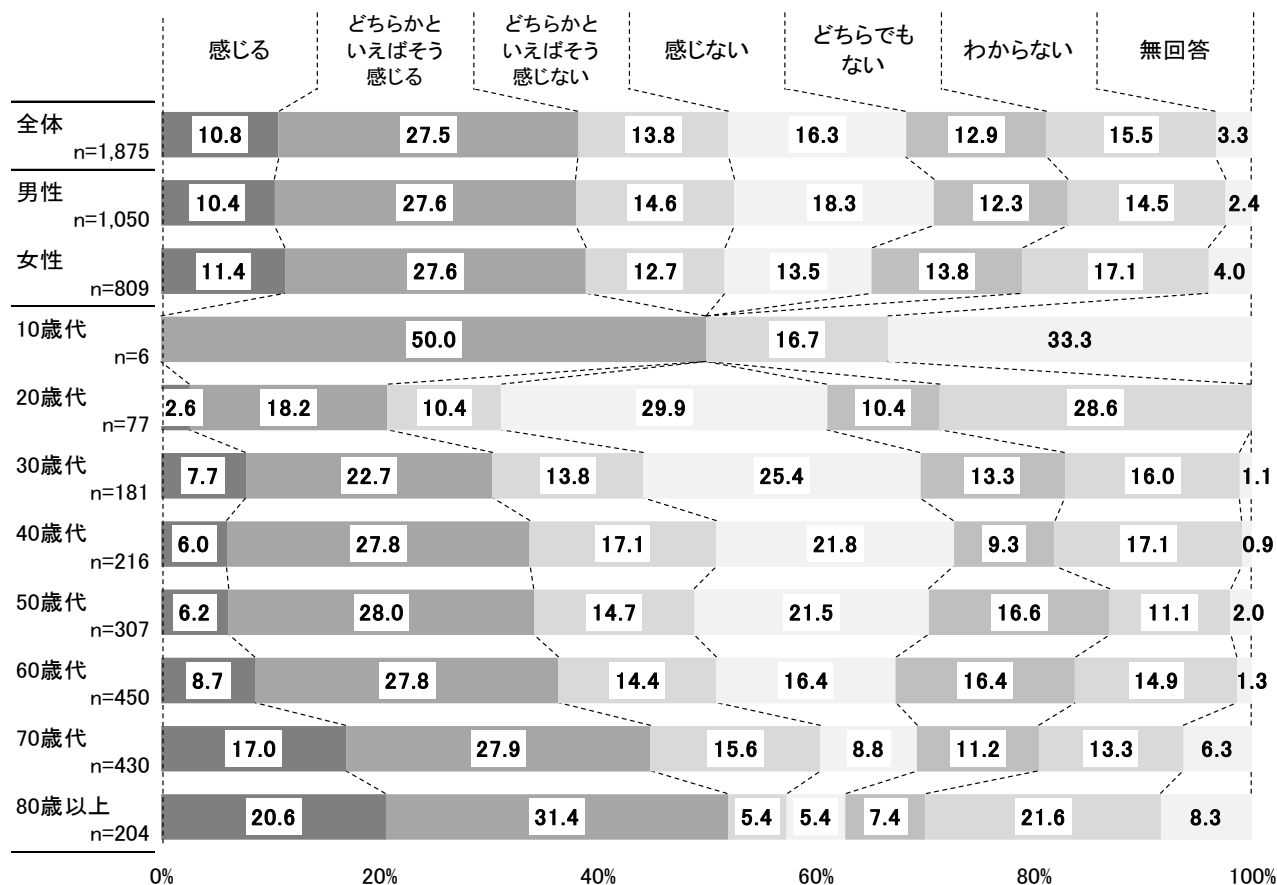
性別では、女性の方が“感じる”の割合が高く、男性の方が“感じない”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、10 歳代・80 歳以上では“感じる”が半数を超えています。一方、20 歳代から 50 歳代では“感じない”の割合が“感じる”より高くなっています。また、20 歳代以上では年齢が上がるにつれて“感じる”人の割合が高くなる傾向にあります。

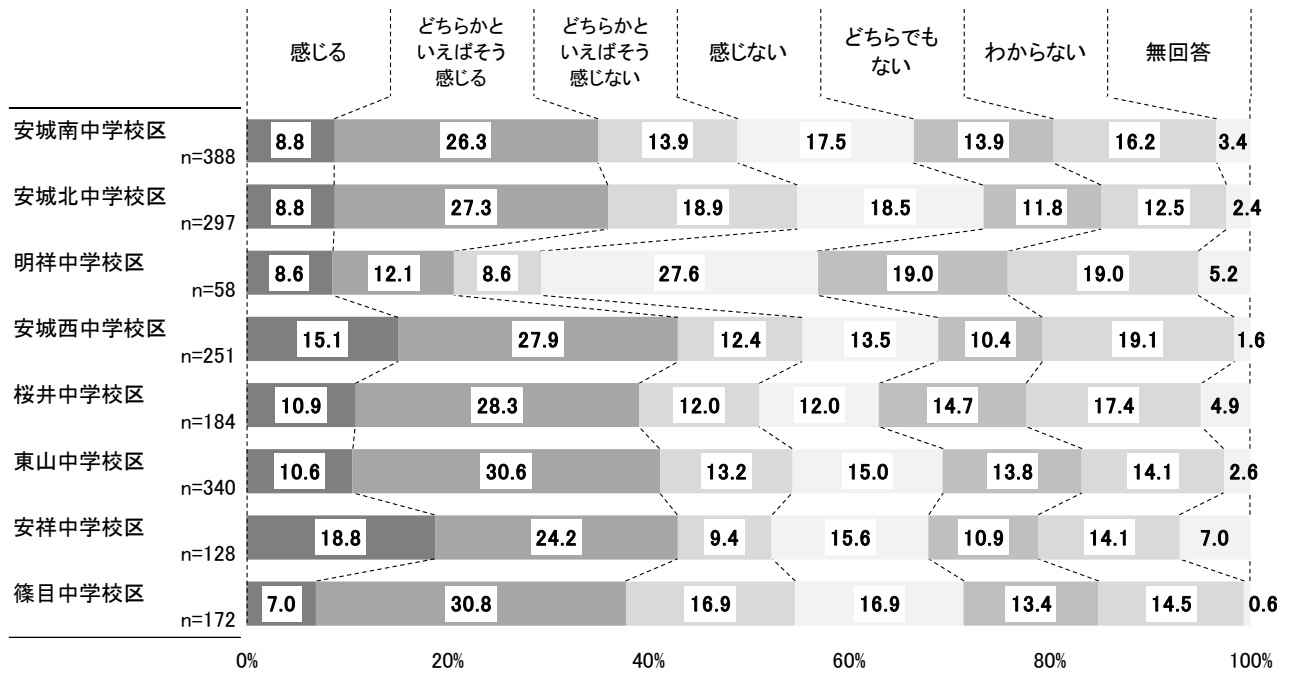
居住地区別でみると、“感じる”が最も高いのは安城西中学校区・安祥中学校区（43.0%）で、明祥中学校区では“感じる”（20.7%）の割合がどこよりも低く、“感じない”（36.2%）を下回っています。

居住年数別でみると、1 年以上住んでいる人では、年数が長いほど“感じる”の割合が増えています。また、1 年未満の人でも 40.0%が“感じる”と答えており、20 年以上の人に次ぐ高さとなっています。

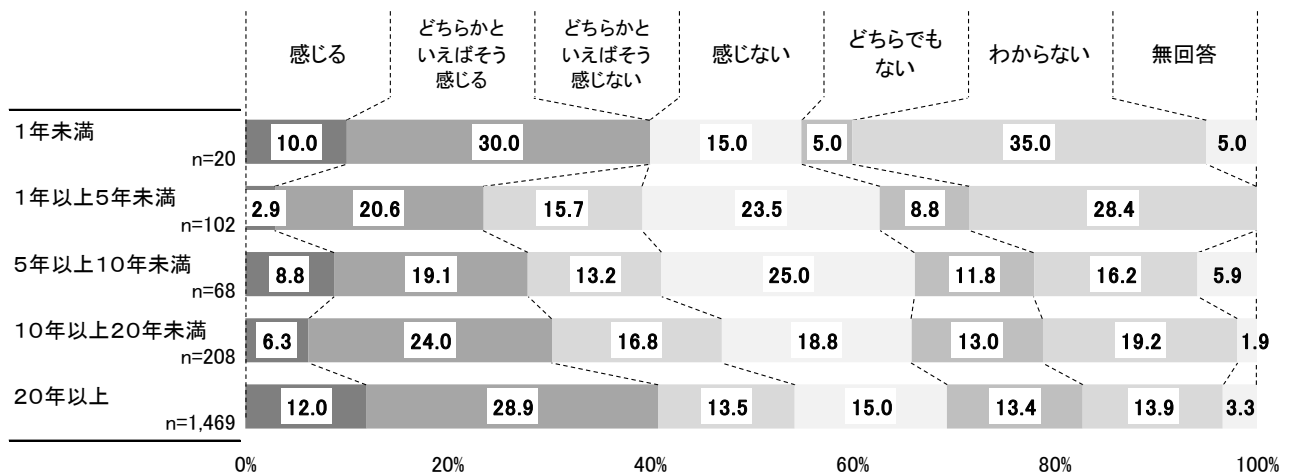
■図表 61 安城市の文化や芸術への愛着や誇り（全体・性・年齢別）



■図表 62 安城市の文化や芸術への愛着や誇り（居住地区別）



■図表 63 安城市の文化や芸術への愛着や誇り（居住年数別）



(10) デンパークの満足度

問 36 本市の貴重な観光資源であるデンパークについてお聞きます。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

安城市の取組み

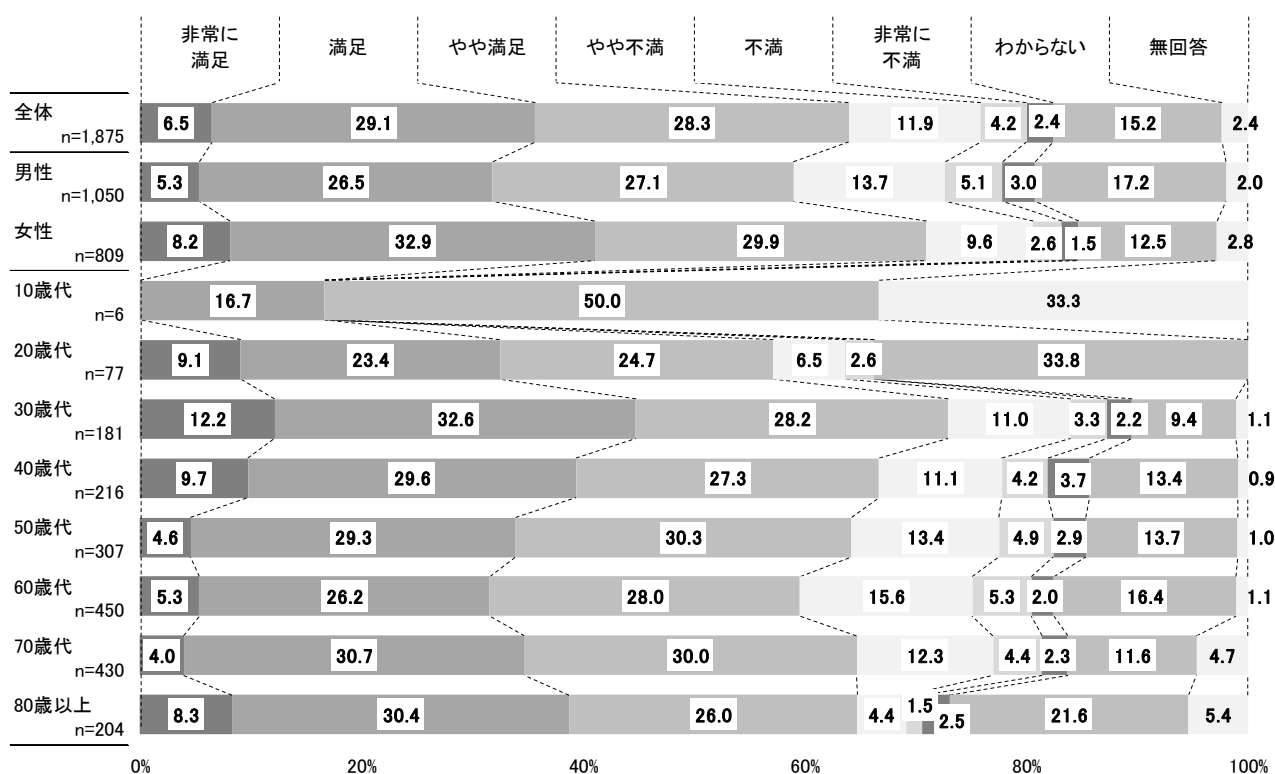
- ・花と緑の魅力ある公園づくり
- ・地元農産物や特産品の P R 等地場産業の振興
- ・子どもの遊び場等のリニューアルや様々なイベント

デンパークの満足度について、全体でみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は 63.9%となっています。

性別でみると、“満足”は男性が 58.9%、女性が 71.0%で、女性の方が高くなっています。

年齢別でみると、“満足”は30歳代（73.0%）が最も高く、次いで40歳代（66.6%）、70歳代・80歳以上（ともに 64.7%）の順となっています。一方、10歳代では「わからない」が半数（50.0%）を占めており、“満足”が 16.7%と最も低くなっています。

■図表 64 デンパークの満足度（全体・性・年齢別）



（１１）子育て中の人への就労環境の整備

問 37 本市は子育て中の人の仕事しやすい環境が整っていると思いますか。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

安城市の取り組み

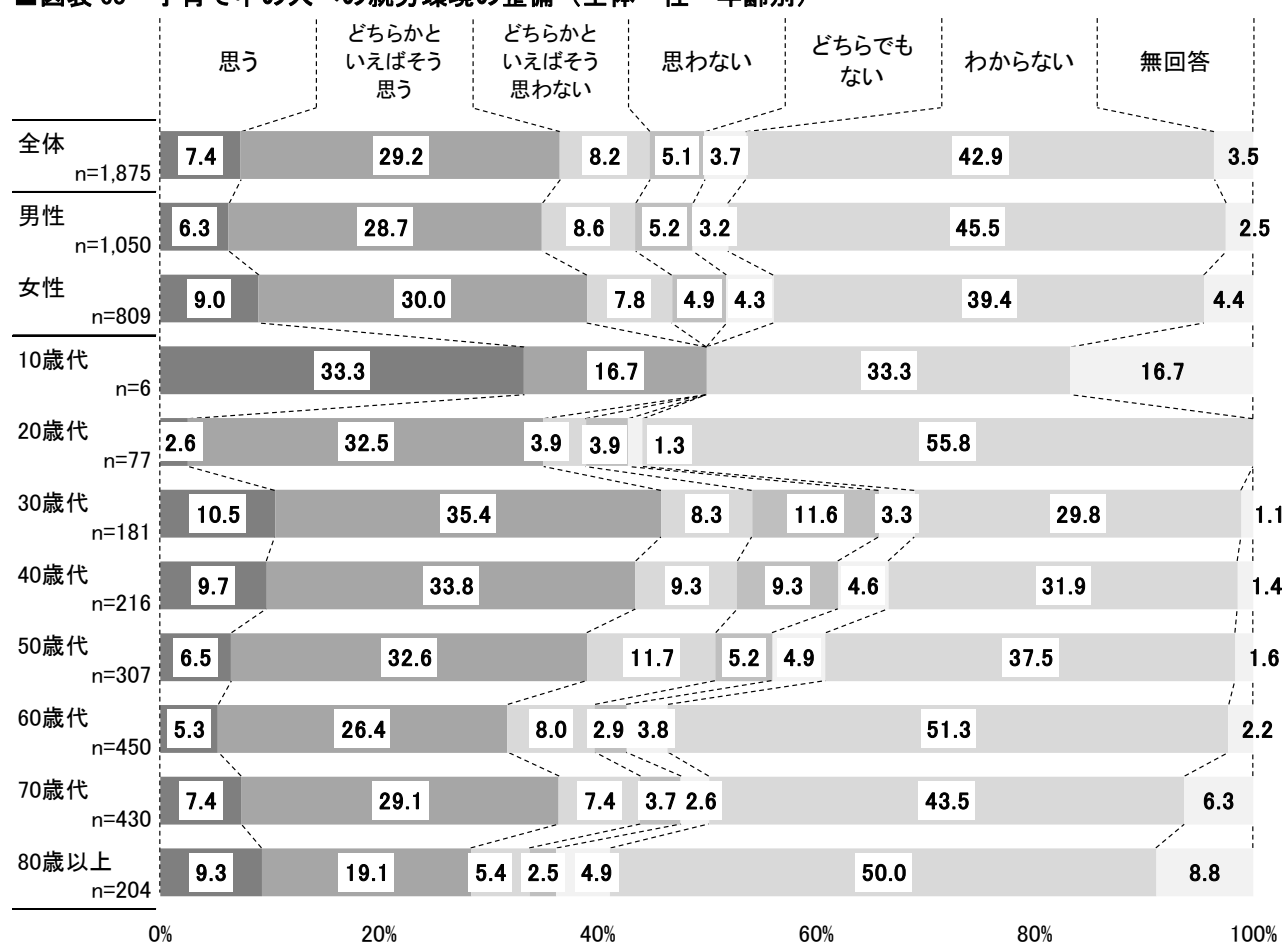
- ・児童クラブの学年拡大（定員に余裕のあるクラブから６年生まで受入）
- ・低年齢児の受け入れ拡大（和泉保育園の改築、民間保育所等の誘致）
- ・子育て女性の再就職支援（セミナー、相談会の開催）

子育て中の人への就労環境が整っているかについて、全体でみると、“思う”（「思う」＋「どちらかといえば思う」）は 36.6%、“思わない”（「どちらかといえば思わない」＋「思わない」）は 13.3%となっています。

性別でみると、“思う”の割合は女性（39.0%）の方が、男性（35.0%）よりも高くなっています。

年齢別でみると、子育て世代の 30 歳代・40 歳代では“思う”が 45.9%・43.5%で、他の年齢よりも高い割合となっています。他の年齢では「わからない」との回答が多く、とくに 20 歳代では 55.8%と高くなっています。

■図表 65 子育て中の人への就労環境の整備（全体・性・年齢別）



（１２）消費生活に関する相談体制

問 38 本市は消費生活に関する相談体制が整っていると思いますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

安城市の取組み

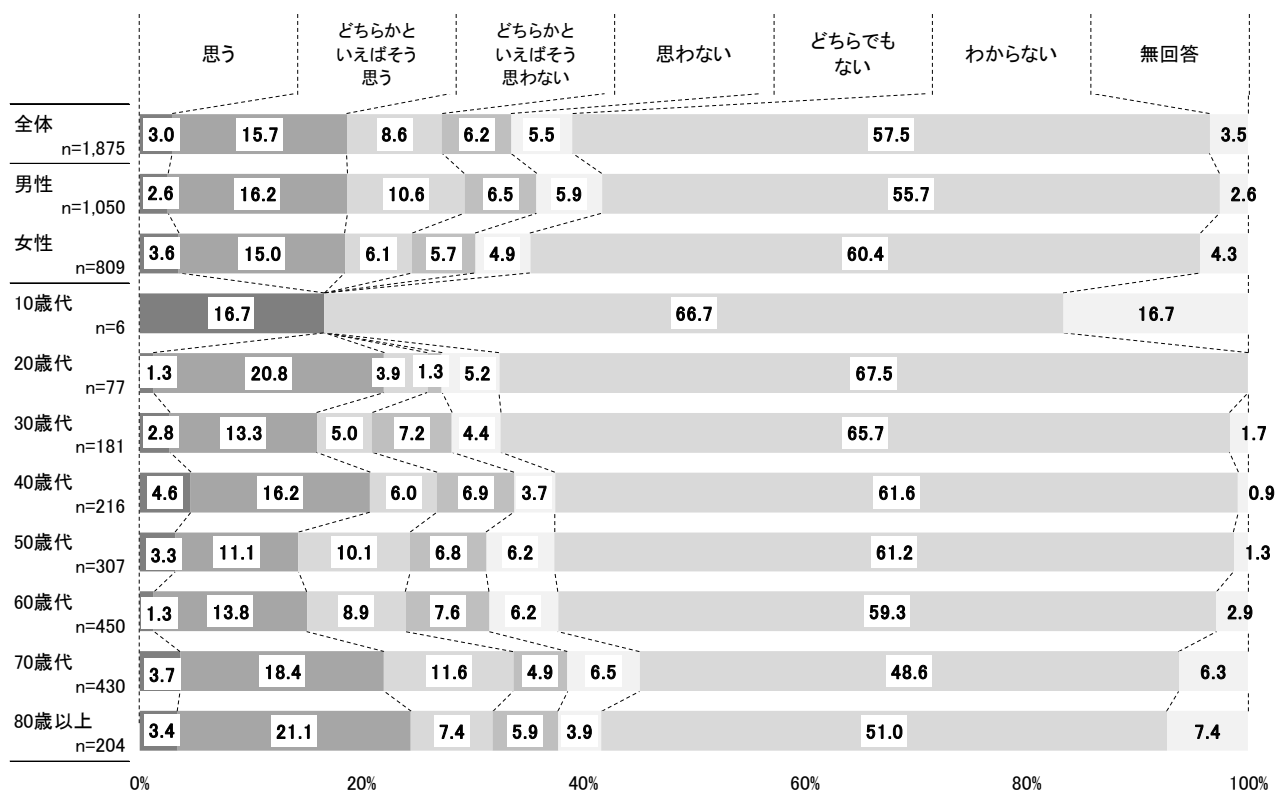
- ・消費生活センターの開設（相談スペースの拡充）
- ・消費生活講座の実施

消費生活に関する相談体制が整っているかについて、全体でみると、整っていると“思う”（「思う」＋「どちらかといえばそう思う」）は18.7%、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「思わない」）は14.8%となっています。一方で、「わからない」は57.5%となっています。

性別では、“思わない”の割合は、男性（17.1%）の方が、女性（11.8%）よりも高くなっています。

年齢別では、いずれの年齢も「わからない」が多く、年齢が上がるにつれてその割合が下がる傾向にあります。また、50歳代・60歳代では“思う”（14.4%・15.1%）より“思わない”（16.9%・16.5%）が高くなっています。

■図表 66 消費生活に関する相談体制（全体・性・年齢別）



（１３）自治基本条例の認知度

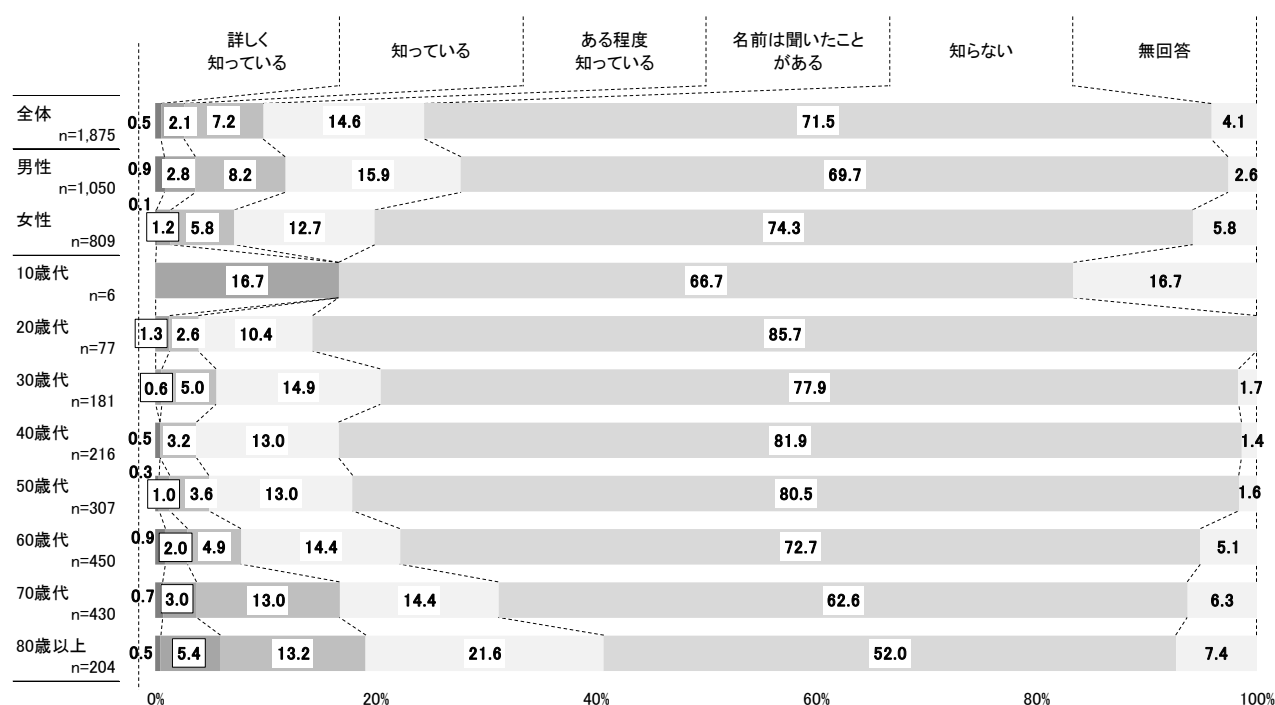
問 39 本市では市民が主役の自治の実現を目指して自治基本条例を制定しています。自治基本条例について、次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

自治基本条例について、全体でみると「知らない」が 71.5%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」（14.6%）、「ある程度知っている」（7.2%）の順となっています。
「詳しく知っている」と「知っている」、「知っている」、「ある程度知っている」を合わせた“知っている”は 9.8%となっています。

性別でみると、“知っている”は、男性が 11.9%、女性が 7.1%となっています。

年齢別でみると、10 歳代・70 歳代・80 歳以上では“知っている”が 16.7%・16.7%・19.1%とやや高いものの、その他の年齢はいずれも 1 割未満となっています。

■図表 67 自治基本条例の認知度（全体・性・年齢別）



（１４）マイナンバーでの証明書等コンビニ交付サービスの利用予定状況

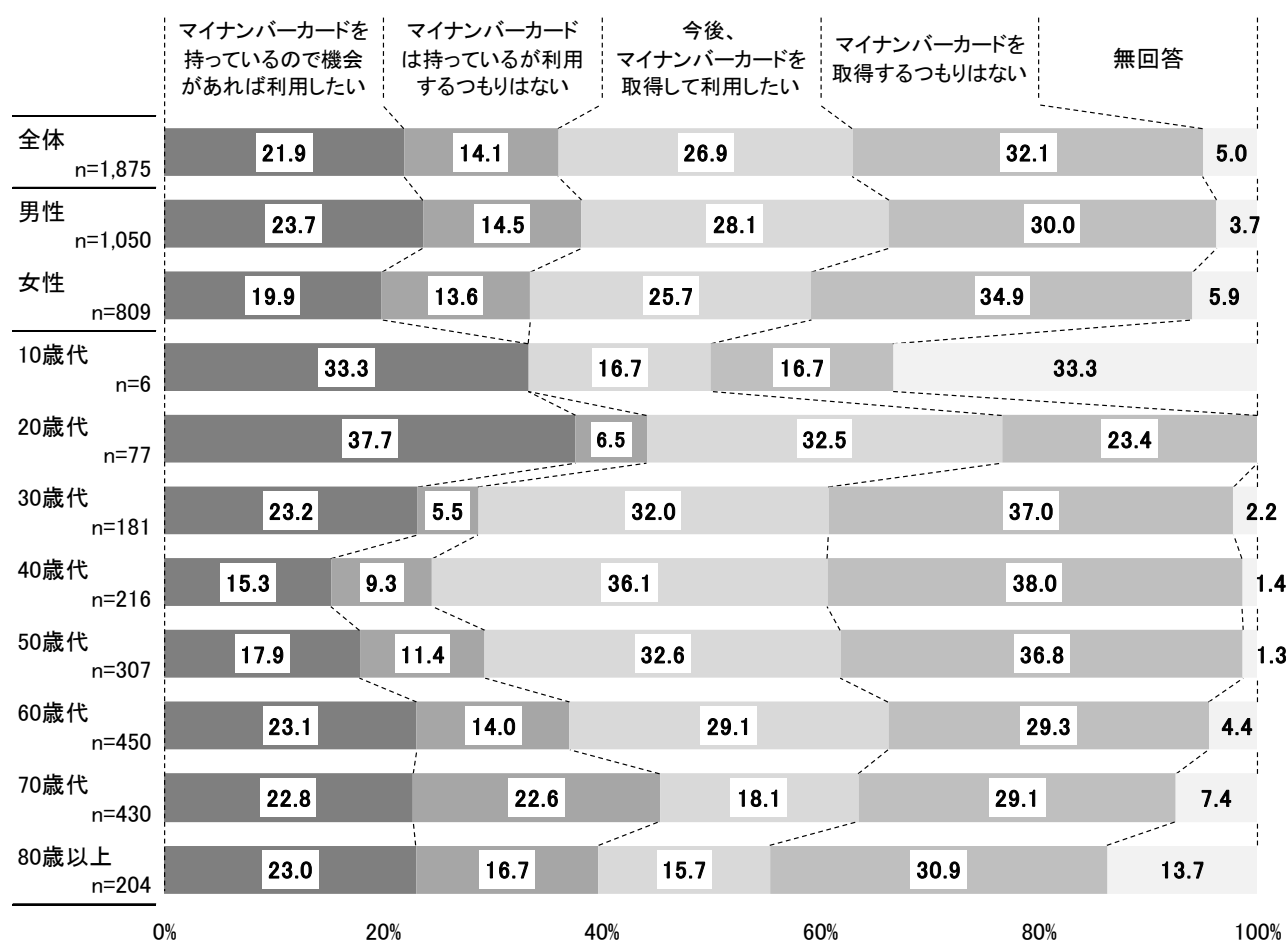
問 40 マイナンバーカードがあればコンビニで住民票、印鑑証明書及び戸籍証明書が取得できます（ただし、一部条件により取得できない場合があります）。コンビニ交付サービスについて次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

マイナンバーでの証明書等コンビニ交付サービスの利用について、全体でみると、「マイナンバーカードを取得するつもりはない」が 32.1%と最も高く、次いで「今後、マイナンバーカードを取得して利用したい」（26.9%）となっています。「マイナンバーカードを持っているので機会があれば利用したい」と「今後、マイナンバーカードを取得して利用したい」を合わせた“利用したい”は 48.8%となっています。

性別でみると、“利用したい”は男性が 51.8%、女性が 45.6%で、男性の方がやや高くなっています。

年齢別の“利用したい”の割合は、20 歳代が 70.2%と最も高く、10 歳代から 60 歳代までは過半数となっています。70 歳代・80 歳以上では4割程度（40.9%・38.7%）となっています。

■図表 68 マイナンバーカードによる証明書等コンビニ交付サービスの利用予定（全体・性・年齢別）



1)「マイナンバーカードは持っているが利用するつもりはない」理由

「マイナンバーカードは持っているが利用するつもりはない」理由として、「役所等の公的機関を利用したい」、「個人情報の漏洩が心配」等が挙げられました。

■図表 69 「マイナンバーカードは持っているが利用するつもりはない」主な理由

- ・役所等の公的機関を利用したい
- ・個人情報の漏洩が心配
- ・近くにコンビニがない（公的機関が近くにある）
- ・使い方がわからない

2)「マイナンバーカードを取得するつもりはない」理由

「マイナンバーカードを取得するつもりはない」理由として、「必要性を感じない」、「紛失や盗難などが怖い」等が挙げられました。

■図表 70 「マイナンバーカードを取得するつもりはない」主な理由

- ・必要性を感じない
- ・紛失や盗難などが怖い
- ・取得や更新などの手続きが面倒
- ・マイナンバー制度に反対だから

(15) 地震への備え（家具等の転倒防止）

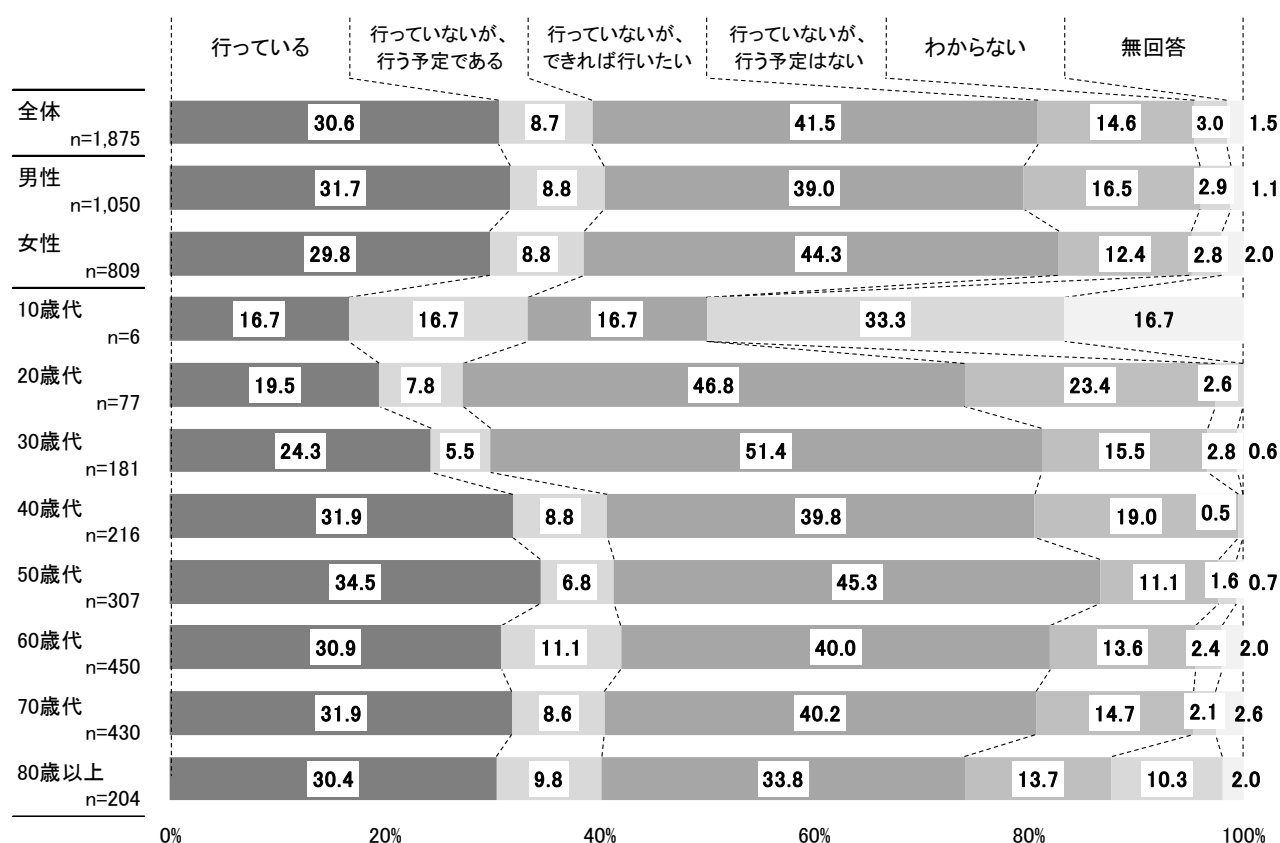
問 41 地震への備えとして、家具等の転倒防止のための固定を行っていますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

家具等の固定を行っているかについて、全体でみると、「行っている」は 30.6%、「行っていない」（「行っていないが、行う予定である」＋「行っていないが、できれば行いたい」＋「行っていないが、行う予定はない」）は 64.8%となっています。また、「いずれ行いたい」（「行っていないが、行う予定である」＋「行っていないが、できれば行いたい」）は 50.2%となっています。

性別でみると、男性の方が「行っている」の割合が高く、女性の方が「行っていないが、できれば行いたい」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、10 歳代から 50 歳代までは「行っている」と、「いずれ行いたい」が、いずれも年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあります。一方 60 歳代以上では、「いずれ行いたい」は年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあります。

■図表 71 家具等の転倒防止措置の状況（全体・性・年齢別）



(16) 地震への備え（食料や飲料水の備蓄）

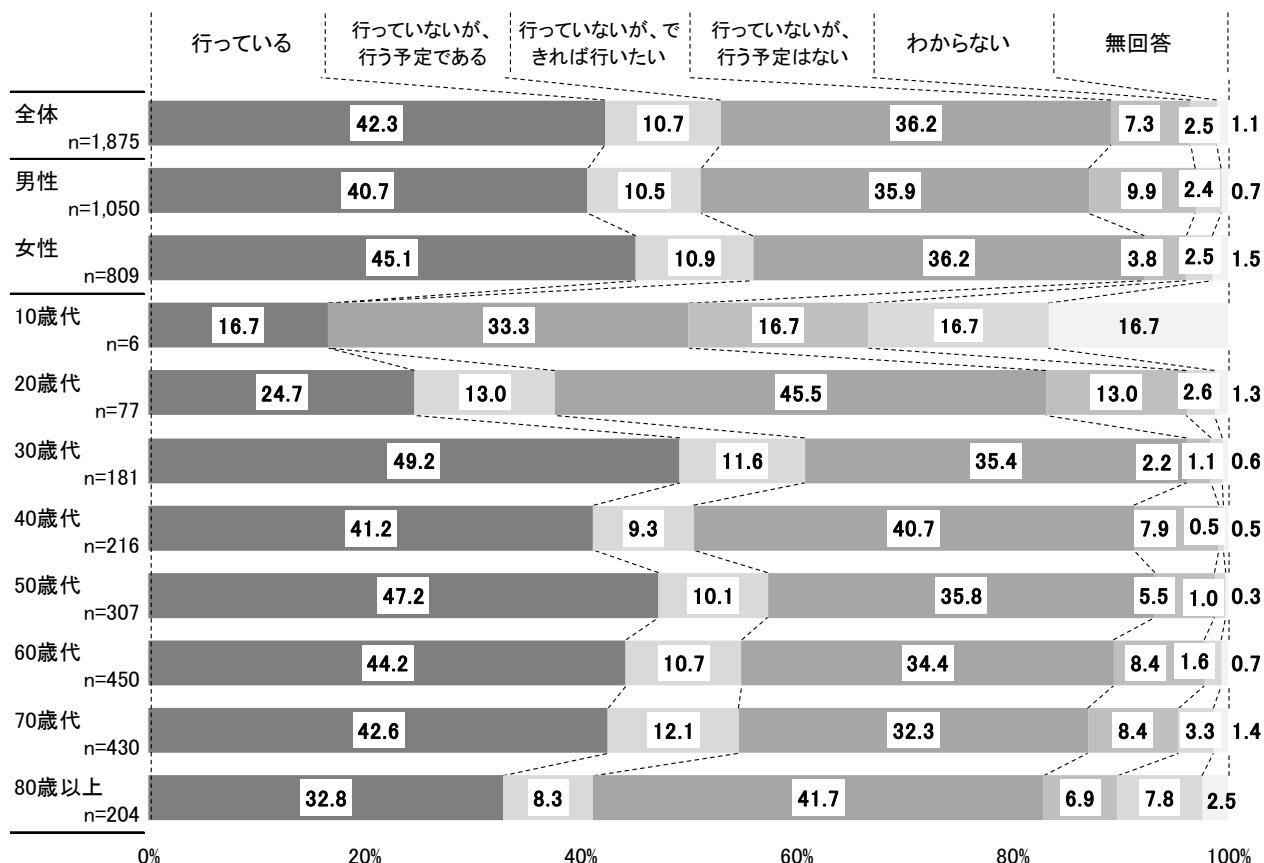
問 42 地震への備えとして、食料や飲料水の備蓄を行っていますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

食料や飲料水の備蓄について、全体でみると、「行っている」は 42.3%、「行っていない」（「行っていないが、行う予定である」＋「行っていないが、できれば行いたい」＋「行っていないが、行う予定はない」）は 54.2%となっています。また、「いずれ行いたい」（「行っていないが、行う予定である」＋「行っていないが、できれば行いたい」）は 46.9%となっています。

性別でみると、男性よりも女性の方が「行っている」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、「行っている」の割合が最も高いのは 30 歳代（49.2%）で、30 歳代から 70 歳代まではいずれも 4 割以上の人が備蓄を行っていますと回答しています。10 歳代は、「行っている」が 16.7%と最も低い一方、「いずれ行いたい」（50.0%）と高くなっています。また、50 歳以上では年齢が上がるにつれて「行っている」の割合が低くなっています。

■図表 72 食料や飲料水の備蓄の状況（全体・性・年齢別）



(17)「健幸」の認知度

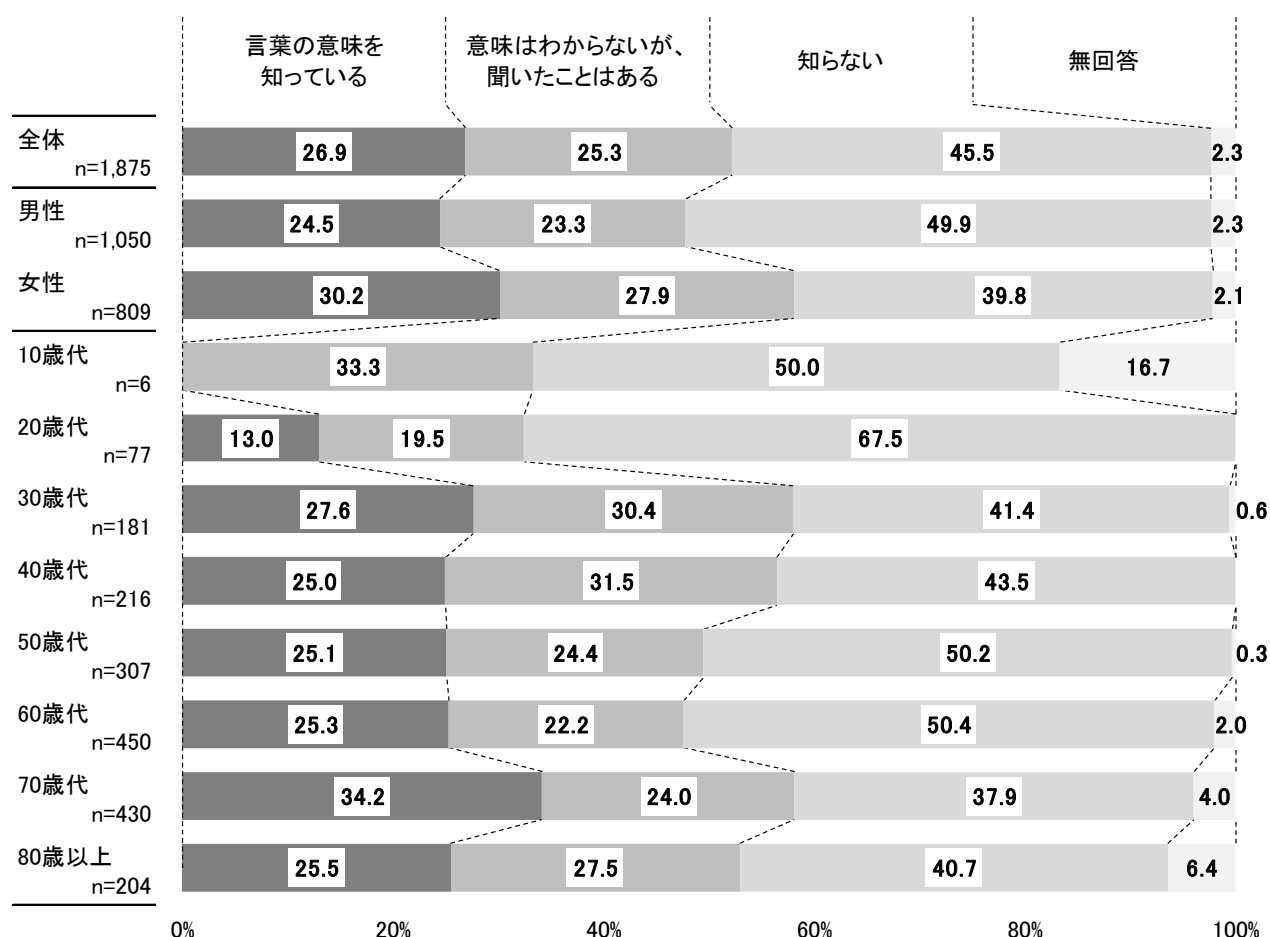
問 43 「健幸（ケンサチ）」という言葉を知っていますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

「健幸」について、全体でみると、「知らない」が 45.5%と最も高く、次いで「言葉の意味を知っている」（26.9%）、「意味はわからないが、聞いたことはある」（25.3%）となっています。「言葉の意味を知っている」と「意味はわからないが、聞いたことはある」を合わせた“聞いたことがある”は 52.2%となっています。

性別でみると、“聞いたことがある”は男性が 47.8%、女性が 58.1%で、男性よりも女性の方が高い割合となっています。

年齢別でみると、“聞いたことがある”の割合は 70 歳代（58.2%）、30 歳代（58.0%）、40 歳代（56.5%）、80 歳以上（53.0%）の順に高く、いずれも 5 割を超えています。一方、10 歳代（33.3%）・20 歳代（32.5%）は 3 割程度と、他の年齢と比べて低くなっています。

■図表 73 「健幸」の認知度（全体・性・年齢別）



(18)「健幸」のために普段から心掛けていること

問 44 「健幸（ケンサチ）」とは、市民一人ひとりが身体的・精神的に健康であることに加えて、趣味や社会貢献などの様々な活動を通じ、日々の生活に「いきがい」や「感動」を見出し、生きていることの喜びを実感することです。普段から心掛けていることを教えてください。次の中から該当するもの全てに○をつけてください。

普段から心掛けていることについて、全体でみると、「年1回、健診を受ける」が53.1%と最も高く、次いで「食事の栄養バランスを考える」（48.1%）、「運動や体を動かす」（47.1%）となっています。

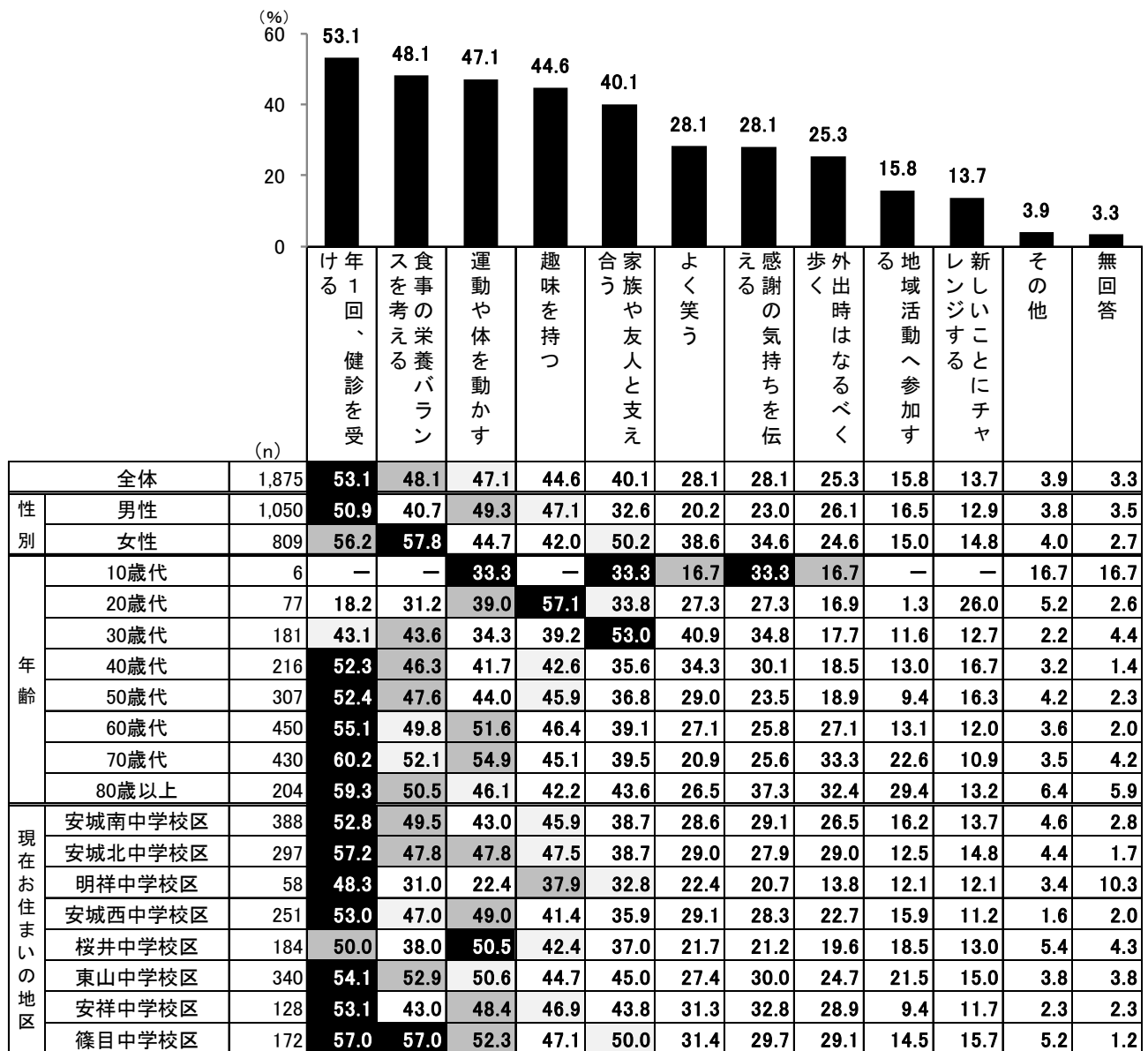
性別でみると、男性は「年1回、健診を受ける」（50.9%）、「運動や体を動かす」（49.3%）、女性は「食事の栄養バランスを考える」（57.8%）、「年1回、健診を受ける」（56.2%）の順となっています。

年齢別でみると、10歳代では「運動や体を動かす」・「家族や友人と支え合う」・「感謝の気持ちを伝える」、20歳代では「趣味を持つ」、30歳代では「家族や友人と支え合う」、40歳代以上ではいずれも「年1回、健診を受ける」が最も高くなっています。

居住地区別でみると、桜井中学校区では「運動や体を動かす」、篠目中学校区では「年1回、健診を受ける」と「食事の栄養バランスを考える」、その他の中学校区では「年1回、健診を受ける」が最も高くなっています。

また、「健幸」のために普段から心掛けていることの回答数と「健幸」の認知度をみると、回答数が多いほど「健幸」の認知度が高い傾向がみられます。

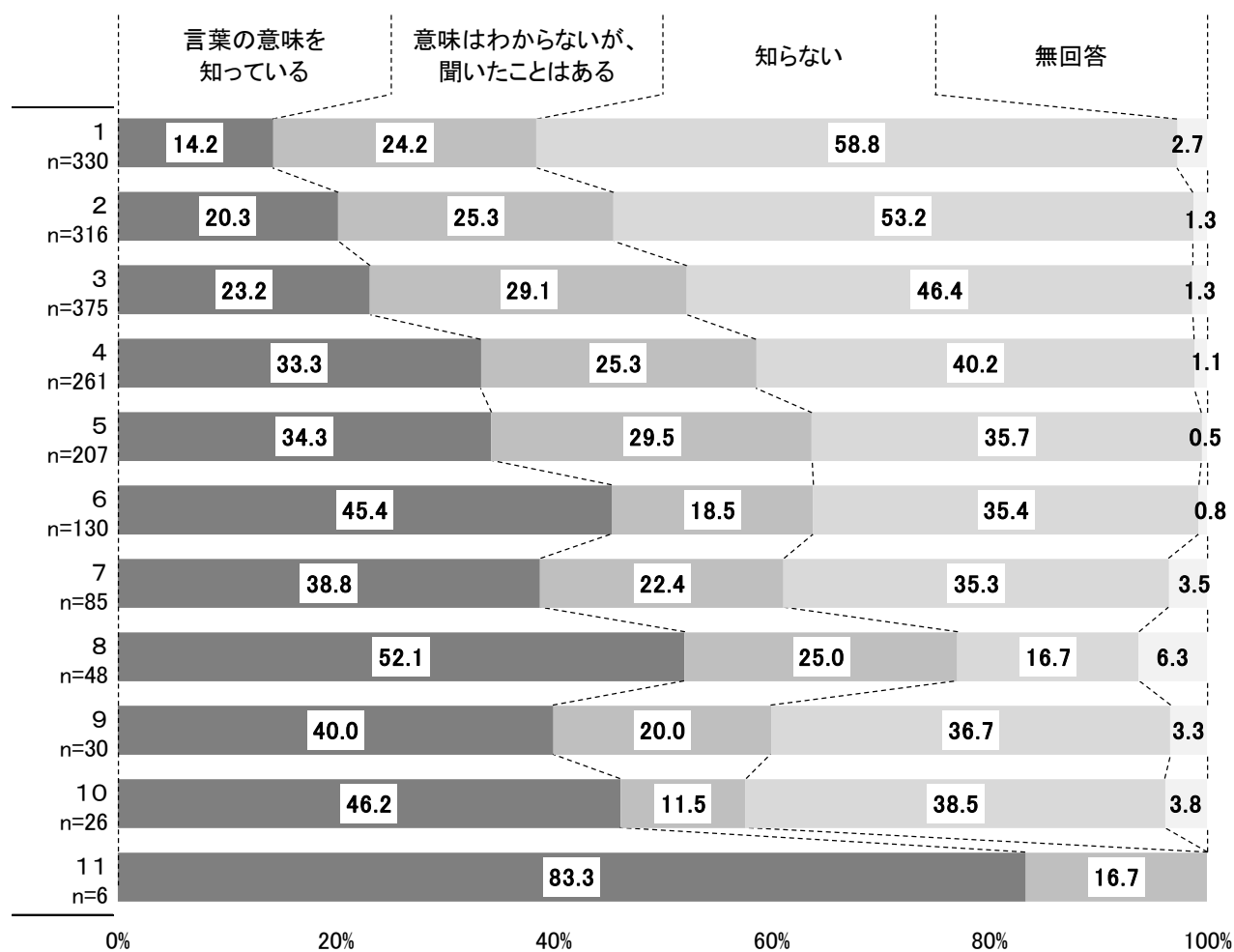
■図表 74 「健幸」のために普段から心掛けていること（全体・性・年齢・居住地区別）



＜「その他」の回答＞

- ・人とのコミュニケーションを取って仲良くする
- ・誘われたら喜んで行く
- ・様々な物事に興味を持つ
- ・外出時は自転車を使う
- ・一日一善穏やかに過ごす 等

■図表 75 「健幸」のために普段から心掛けていることの回答数と「健幸」の認知度



3 自由記入意見のまとめ

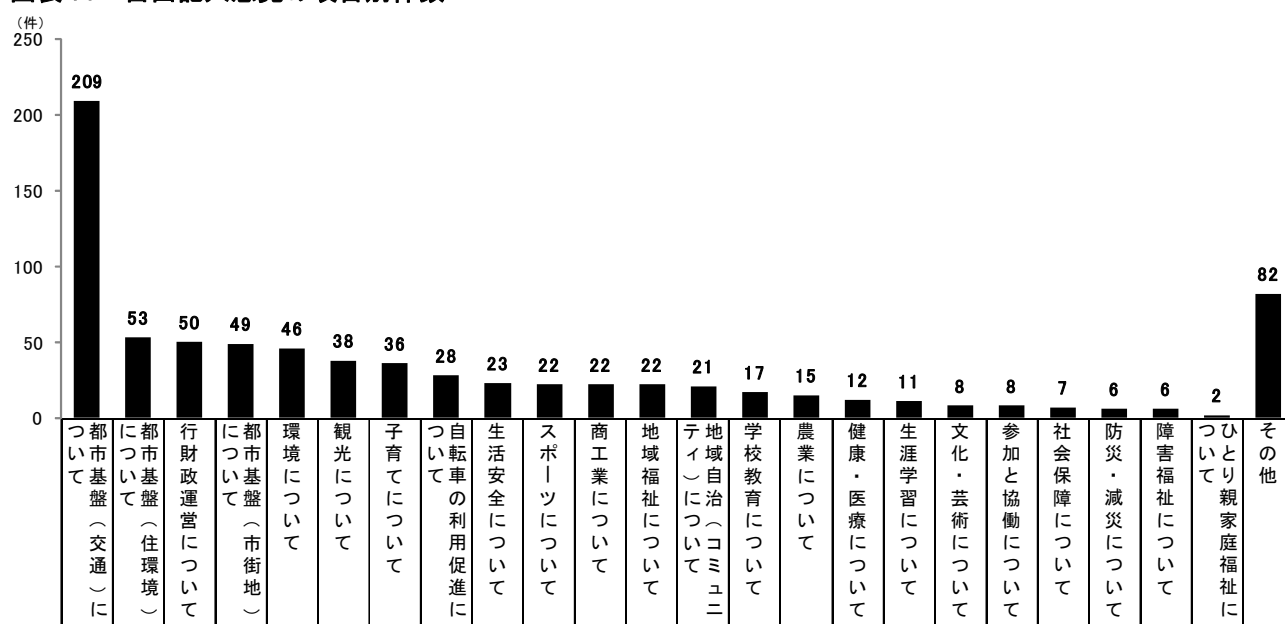
安城市の今後のまちづくりについて、計 592 人の方から自由意見が寄せられ、延べ 793 件の意見が得られました。

(1) 自由記入意見の内訳

「都市基盤（交通）について」に関する意見が 209 件と最も多く、次いで「都市基盤（住環境）について」が 53 件、「行財政運営について」が 50 件、「都市基盤（市街地）について」が 49 件になっています。

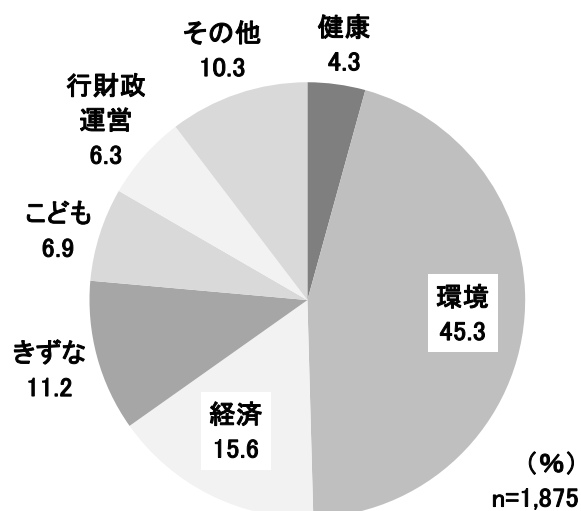
施策分野別では、「環境」に関する内容が 359 件（45.3%）と最も多く、次いで「経済」に関する内容が 124 件（15.6%）、「きずな」が 89 件（11.2%）となっています。

図表 76 自由記入意見の項目別件数



図表 77 自由記入意見の施策分野別の内訳

施策分野	件数	%
健康	34	4.3
環境	359	45.3
経済	124	15.6
きずな	89	11.2
こども	55	6.9
行財政運営	50	6.3
その他	82	10.3
計	793	100.0



(2) 主な意見

1) 健康

■健康・医療について

・気楽に出来る健康イベント回数を増やし、応募方法も簡単に出来ればと思います。
・健幸の都市にしては喫煙の商店が多いように感じます。市の商工課、商工会議所、保健所などとももっとよく話し合うことはできませんか。タバコは体に悪いと思いますが。
・隣の岡崎市で行われているように、休日診療所として市内の個人医院持ち回りで診療科目ごとに開院するシステムを導入してほしい。診療所への1点集中は混雑するし、急病人や子どもには辛い。
・岡崎市に比べると健診ドックの充実度が非常に低い。
・精神的にダメージを受けたときに相談できるところが欲しい。

■スポーツについて

・安城シティマラソンやウォーキングイベントだけでなく、親と一緒に子供たちがサイクリングや山登りの体験ができるものがあると良いです。
・野球場の整備。広いのは良いがやはり質は本格的なものがないとダメでは。
・4面ほどテニスコートを増やして欲しい。(土日の10面コートは大会使用のため一般が使えない)
・スポーツセンターの照明をもっと明るくしてください。2つおきに点灯は省エネのしすぎでは。バトミントンのシャトルが見づらいです。

2) 環境

■環境について

・ごみの分別が面倒なので良い焼却炉を導入してほしいです。
・ペットボトルの回収をしてほしい。ゴミステーションの場所を増やしてほしい。
・たばこのポイ捨てをやめる運動を強めてほしい。特に駅前や交差点での待ち時間にたばこを吸い、ポイ捨てが多いです。各箇所にポスターを提示してほしいです。
・歩道や道路にはみ出している草を見ると景観が悪く感じます。定期的に刈り取りをしてください。
・野焼きの煙がひどいので周辺住民のことを考えてほしい。
・道路の騒音対策をしましょう。高速道路がひどいです。
・大池公園を清掃してくれる人がいるが、犬の糞が多く飼い主のマナーが悪い。
・犬猫の避妊手術に助成金を出して欲しい。野良猫の捕獲にも協力していただきたい。虐待防止や殺処分0を推進していただきたい。

■都市基盤（住環境）について

・歩行者を巻き込む自動車事故のニュースが続いています。交通量が多いのにガードレールがない、雑草が伸びていて歩道が狭くなっている等、近所に気になる場所があります。安心して過ごせるようにまち全体を見直し、より安全になると良いです。
・街灯をもっと増やして欲しいです。
・家の周辺に街灯がほとんど無く不安。徒歩や自転車の移動を勧めるならそれらを使った移動をしやすいまちづくりをしてほしい。道路のこぼこも直して欲しい。
・無料で遊べる大きな公園がほしい(堀内公園の様な)。

堀内公園について、観覧車前、駅側のトイレが入りづらい雰囲気があるので、もう少し明るい雰囲気だと嬉しいです。事務棟のトイレももう少し使いやすい雰囲気だと良いです。オムツ替え等の場所もイオンのような使いやすい感じにしたいです。
市の中心部にスーパー、薬局等が集中して郊外ではスーパーに行くことも大変。今後自動車の運転をやめたときに不安です。徒歩圏内にスーパーや散歩のできる公園を充実させてください。
田畑を無くして工場ばかり作らないで欲しい。宅地を増やすのもどうか。
空き家や空き地が売り出されておらず、家を購入する際に市内は価格が高いという理由で他市に移る人がある。土地を市場に出したり、調整区域を減らして人をとどめる呼び込む工夫が欲しい。
県営古井住宅の空き家が多い。もったいない。改善していただきたい。

■生活安全について

警察署と協力して交通安全や防犯に力を入れて欲しい。街路灯を増やして薄暗いところを無くして欲しい。
地域によって夜真っ暗になるので、街灯や防犯カメラの設置をしてほしい。
通学が安全になるような取組みをしてください。
学生の自転車での右側通行が目立つ。横断歩道を斜めにわたったり、車道にはみ出てきたりと危険。計画的に再教育して欲しい。
市の発展に伴い様々な移住者（他県出身者や外国人）が増え、市の治安が悪くならないか不安な部分があります。夜間のパトロール等を特に強化していただきたいです。

■都市基盤（交通）について

あんくるバスが30分に1本あれば利用したい。免許返納をして雨の日はバスを利用している。市役所まで車で20分の所をバスでは1時間半かかり大変である。
市街地～遠隔地（美園町）～更生病院へ行くあんくるバスのダイヤを見直して欲しい。乗り継ぎ待ちが2時間あるので、朝家を出ても夕方に帰る事になり、実用的でない。
あんくるバスの有効活用をお願いします。名鉄、JRダイヤとの連携。ルートが分かりにくいので大きい地図があれば良い。高齢者が地べたに座るのを見たことがあるので椅子があると良い。
高齢者の自動車事故が多いこの頃です。私も70歳を過ぎ、交通手段を自動車から公共交通機関に変えたいと思っていますが、近くにお店や病院もなく、あんくるバスのバス停も遠く本数も少ないためどうしても自動車を使ってしまう。これからもっと不安です。眼科や耳鼻科、内科などほとんどの病院に通院していますがどこも車でないとはいけません。
自主返納（免許証）された方への支援について、「2年間あんくるバス無料乗車券を差し上げる」とありますが、2年と期間を限定するのではなく、「ずっと〇割引」などとするなどの支援の方が利用する人としては助かるのではないのでしょうか？運営費などの問題もあるかと思いますが。
あんくるバスを使って、アンフォーレに子どもだけで行かせたいのに、400円もかかる。それだったら「お母さんが送っていくわ」となる。せっかくだから子どもが安全にスムーズにアンフォーレまで（駅や市役所等）行けるようにしてほしい。1日の本数が少なくても良いので。安く行きたい。
老後、高齢者の方が暮らしやすい都市計画を行ってほしい。高齢者や若者、交通弱者のためにも自動車を運転しなくても日々生活できる場所にしてほしい。
真剣に渋滞回避策を検討してください。アンフォーレ、三河安城駅、豊田へ向かう周辺道路は特にお願いします。

・ 新安城駅近辺、名鉄の高架事業が白紙であることが非常に残念。桜井駅の高架が出来て新安城駅ができないのか。開かずの踏切対策をしっかりと進めてください。毎日本当に困っています。
・ 人口と自動車が増加していて市街地の交通渋滞が目立つ。交差点の右折、左折ラインの整備、車道横断者をなくす対策。
・ JR 安城駅のロータリーが狭い為送迎にも不便である。岡崎市や刈谷市の様にもっと整備してほしい。
・ JR 三河安城駅に快速電車、新幹線のひかりが停車するようになれば安城市がもっと発展すると思います。
・ JR の駅、新安城駅、三河安城駅それぞれをもっとアクセスしやすくしてください。車でなくとも楽に移動出来たら良い。
・ 通学時間帯、交通量、（トヨタ通勤の抜け道）の進入禁止やガードレールの設置、ミラー設置、一旦停止の対策をしてほしい。
・ 道路の整備や街灯の整備は地域に偏らず全体を見て欲しい。

■ 自転車の利用促進について

・ 自転車のブルーラインの見直し。広い道は良いが、狭い道にも無理に作ってあり、自動車と接触しそうなところもある。
・ 自転車の利用促進については賛成できるが、自転車走行空間は交通安全の見地からも不安であると思う。車を運転していていつも事故が発生しないか心配である。
・ アンフォーレに自転車で行くには道が危険。車道と別に整備して欲しい。
・ 自転車を推奨している割には道が悪くて走りにくい。はなまるうどん、エネオス、B2 がある 295 号線は段差が多すぎて転びそうになる時があるし、かごから荷物がでてしまいそうになる。横山町浜畔上の新幹線沿いの道から 295 号線に出るとき、自転車、歩行者が大変見にくい。そしてかなり危ない。ミラー等付けるなど対策してほしい。歩いていたら車が勢いよく出てきてぶつかりそうになったことが何回もある。車側としても家があったり、高架があったり見えにくいので怖いです。
・ 桜井駅前歩道に自転車用のブルーラインが設置されました。私は自転車が趣味なのですが、せっかくの子どもが利用される所で自転車は左側通行のはずがどちらの側も通っても OK となっています。良い教育の機会になると思います。サイクリングロードは整備されていて素晴らしいと思います。よく利用させてもらっています。
・ 自転車が乗りやすいまちにしてほしい。スマホ操作のながら運転は厳しく取り締まってほしい。歩行者と自転車の道を分けてもらおうと良い。車道側にある自転車用の白線は狭く傾いていて気の毒に感じる。
・ 一旦停止、踏切横断、横断歩道等のルールを守っていない。サイクリングロードを車で横断するときに自転車がスピードをだして怖い。
・ 子どもの自転車が危ない。市や学校などで、子どもが自転車のルールをしっかり把握し、安全に走行できるようになるサポート(教室等)をもっとたくさん実施してほしい。少しでも事故が減り子どもの命が守られますように。
・ 私は日常生活の移動手段は 10 年以上ほぼ徒歩です。自転車の方の走行により、歩道なのに歩いているこちらが止まったり、避けたり気を使いながら歩かなければならない事が多いです。自転車の利用促進をするのであれば商店や商業施設近辺の利用者が多い所、生徒が通学に使う所等に自転車走行レーンを作るなりマナー改善を望みます。

3) 経済

■農業について

・工業化が進み、田んぼがなくなってきましたが、安城の礎は「日本のデンマーク」であり、田んぼであると思います。もう少し田んぼを大切にすまちづくりをお願いします。
・農業に対する支援をしっかりと農家の方が生き生き生活できるまちづくりをして欲しい。
・農業の保護。産直品を拡充して欲しい。安くて新鮮な野菜は健康にも役立つ。
・農工商バランスの取れた市政を期待します。これからは農業の担い手に力を注ぐ必要があると思います。
・農業の大切さを市民の皆さんに知ってほしい。

■商工業について

・朝日町に多いシャッター店舗や空き店舗対策の実施。
・スーパー等の大規模商店の進出により自営業等の小規模店の不振が目立つ。難しい問題であるが昼でもシャッターが閉まっているのはさみしい限り。
・巨大モールを誘致し、市内へ出かけるまちづくりも必要。
・ショッピングモール、休日のイベント、観光施設、娯楽施設を増やしてほしい。
・桜井駅付近はコンビニ、スーパー、ドラッグストアがあるが、私の住んでいる所は何十年たってもコンビニすらできません。今後車の運転が難しくなる年代に差し掛かるので、住宅のある地域になんとかお店を1件でもできないものではないでしょうか。
・若手起業家、熟年起業家の支援促進。ビジネス環境の整備。

■観光について

・デンパークの運営について、魅力的なイベントを増やす。広告活動等宣伝の強化。交通の利便性向上及び情報発信を行い、集客を増やしてください。
・デンパークを全国的に知ってもらう必要がある。遊び場のリニューアルをして、楽しめるようにしてほしい。見る・遊ぶ・食べるすべてがあるデンパークになってほしい。
・デンパークが今一つ大切な施設とは思えず、活用もされていない。どんどん赤字経営になっていくのではないかと不安。改装されたプラネタリウムはイメージが良い。名古屋市科学館を参考に益々の発展を期待する。
・デンパークは3億円の補助なしでも自立できるように。むしろ利益を上げて欲しい。子ども向けのイベント、家族で行きたくなるようなイベント、それを発信するようなものを出す。
・デンパークは大好きな施設で良く行くのですが、他市に比べて中のイベントの入場料が高いように思います。もう少し少額の方が集客できるのではないのでしょうか
・七夕祭りの活性化。祭り開催地区の拡大。移住者も含めた市民がまつりに参加しやすい取り組み。
・七夕まつり毎回同じ人が中心でつまらない。当たり前だがいつも商店街が中心となっている。老人ばかりで気の毒になる。役員の世代交代が必要かと。なんだか見て歩くだけでつまらない。他の市町の意見を聞いたことがありますか。
・桜まつりを出店などがあるお祭りにしてほしい。キッチンカーなどでも良い。刈谷市の亀城公園や岡崎市の岡崎城のように桜見スポットとして色んな方面からの出向いてもらえるような場所になると嬉しい。
・在住歴が短いがどんな観光スポットがあるのか分からないので魅力的なスポットがあるのならPRしてほしい。

■都市基盤（市街地）について

・市街地が他の公共団体に比べ寂しい感じがします。駅が安城、新安城、三河安城と点在するためでしょうか。安城駅周辺の路上駐車モラルも気になり、住みやすい町ではありますが、残念な部分も多くあると感じます。
・中心部の整備だけでなく、離れた町の住みやすさも向上を図ってほしい。大型スーパーの誘致、通学に利用可能な駅までの交通手段の確立等。
・桜井地区も活性化するのは良いですが、他の地区も平等に活性化していくと良いと思います。下水道や都市ガスも少しずつできるところを増やしてくれると助かります。
・安城市南部の整備が遅れている気がする。工業地帯を作る事も大切だが、住民はあまり歓迎していない。中心部や鉄道沿線以外の陸の孤島になっている地域のことを考えてもらいたい。
・アンフォーレとてもいいです。アンフォーレにジム等できるとうれしいです。
・アンフォーレの駐車時間が短すぎる。子供を連れていとおむつ替えや授乳もする。実質遊ばせたり本を見たりするので1時間あれば良い方。ゆっくり過ごせない。子づれだけでも3時間以上にしてほしい。
・図書館へ行くためにアンフォーレの駐車場を使いました。あまりの狭さに驚きました。車同士のすれ違いがしにくく、歩行者がいれば止まらざるを得ません。止まる事は当然ですが、歩行者の安全を考えると新しい建物なのにとっても残念です。設計の段階で見直せなかったのでしょうか。狭さと共に暗さ、入庫入口の不便さを感じました。こういった設計は業者任せで市役所はノータッチなのかと思わざるを得ません。
・アンフォーレの駐車場について、大変狭くて使いづらい。催事広場が空いている日が多く、もったいない。使用時以外は駐車場として開放する等有効活用を望みます。
・家が建てられない地区が多すぎるので緩和してほしい。
・買えない土地が多すぎて新しい人が入りづらいと思います。大きな道路も鉄道も通っているのに使いやすくしようとする姿勢が感じられないです。

4) きずな

■防災・減災について

・地震等大災害時の災害弱者への対応が不明確。防災訓練をするにあたり広報が不十分な気がします。
・防災ラジオは大雨や台風の時に何の情報も入らず何のための防災ラジオか疑問。
・市内に井戸が減ってきているので、非常時の利用に不安がある。
・災害時の避難路の確保及び歩行者の安全確保のため中心市街地全域にわたる電柱の地下化をしてほしい。
・防災について避難ガイドラインの作成及び発信、地域防災訓練の実施等、防災の強化をお願いします。

■地域福祉について

・挨拶のできる穏やかな環境づくりをしてほしい。礼儀作法の悪い大人が多い中、子供たちの未来を思うと不安になるところがある。「正義」が価値あるものとして生きていけるまちに市民も協力して生きていきたい。
・例えば福祉の見守り活動等では活動の負荷を低減するために対象者が積極的に老人クラブ等の集まりに参加して、自ら自分の状況を周りにわかるようにする努力がほしい。（単なる受け身の活動ではなく、動ける人は外に出る働きかけが欲しい）
・少子高齢化はいずれ安城市にも降りかかる問題です。そのときに慌てずに済むよう今から手を打っておいてほしい。年齢問わず生涯働ける場や法整備をしてほしい。

・最低年金内で入所できる老人施設をたくさん作ってほしい。
・母親が高齢で養護施設に入居させたく市内の施設を探しましたが、空きが全くなく、ひどい所は200人まちで10年かかるといわれました。岡崎市のケアマネージャーに岡崎市の施設を紹介され即入居できました。安城市の対応と施設の貧困さを肌で感じ、他市の住民にもかかわらず対応してくれた岡崎市には母が亡くなった今でも深く感謝しています。
・現状住みやすいまちで概ね満足していますが、これからの高齢化社会に向けて、高齢者が自ら助け合って生き活きと暮らせるような施策、仕組みづくりが重要かと思います。
・町中の部分と田舎の部分では福祉に差があると感じます。田舎にも光を当ててください。

■障害福祉について

・健常者だけの健幸都市安城でなく、障害のある人、高齢者も安城市ですべての人にとって健幸都市安城市であってほしいと思います。
・障がいのある人、高齢者が暮らしやすいまちにしてほしい。健常者を基準ではなく、一番できない人を基準に考えて欲しい。自転車のイベント等は障がい者や高齢者は出来ない。
・家族が車いすを利用していますが、外食するのに段差のある入り口のある店が多い。障がい者に優しいということは健常者にも優しい街になると思うのですが。
・障がい者の就職や給料差別の改善をお願いします。
・障がい者の老後についてもっと目と耳を向けてください。

■社会保障について

・専業主婦も無料でなくて良いので市で自由に検診を受けられるようにしてほしい。65歳以上の人のように自由に家に届けてくれるとありがたいです。
・独身1人暮らしです。安城市はとても生活しやすいと感じています。老人、子どもへの政策はもちろんですが、働く独身者への政策があるとうれしいです。
・働かざる者食うべからず。40年、50年と働いてきた高齢者を保護する事は大切な事。しかし20代30代で働きもせず遊んでいる若者に生活保護とは何か。その者を就業させずに外国人労働者を大切にすると。若者が働く職場はいくらでもあるのに働かない今の若者。それを保護する国や市の考えが理解できない。
・高齢者と同居の家に助成金を出す。生活保護の人に手厚すぎる。花の木町立ち退きでコミュニティに入る人の家賃が1万円代はいかがなものか。

■生涯学習について

・安城市は花と緑にあふれていて良いところだと思います。図書館も充実しており感謝しています。
・市民大学講座を充実させてほしい（週末に開催）。高齢大学を設立してほしい。
・色んな講座や勉強会をする場を増やしてほしい。仕事をしていると日中は参加できない。土日、平日の夜の開催が少ないので増やしてほしいです。
・色んな講座を開催してほしいです。（このアンケートをもとにわからない回答について講座をしてほしい）
・公民館で色々な講座が開かれますが、いつも抽選なので若い人に譲ろうと思ひ諦めます。
・公民館の図書を増やしてほしい。

■文化・芸術について

・三河万歳をやっている若い子たちを応援して欲しい。
・市民会館が少し古い気がします。芸術の中でも音楽に力を入れて頂けると嬉しいです。
・財源に限りがあると思うので効果的なものを優先的に行ってほしい。歴史関係にお金を使うのはやめて欲しい。費用対効果がない。納税者として怒りを感じる。

・安城市内にある古墳や貝塚、歴史的建造物の改良をして欲しい。他の市や県から来る人に恥ずかしくないようにして欲しい。
・新美南吉は安城にはいないと思う。無理がある。オリジナルのものを作ってほしい。オカダ・カズチカ等。

■参加と協働について

・高校生、大学生位の若い世代の声を聞いて今後の安城市をどのようにして活気ある住みよく楽しい街にするかを取り入れて変革してほしい。
・若者がもっと興味が持てる参加できるまちづくり。興味関心を全く持っていないので。
・安城市で色々取り組んで下さるが、中々参加すると良いと思っても今現在出来ない自分がいる。スムーズに参加できる方法はないか。
・今までの中で行政活動に参加したくても出来ない事ばかりでした。自営業のため土日の開催は無理で。市民のためと言っているのなら年中曜日に関係なく行ってほしい。
・高齢者が参加しやすいまちづくりを希望する。

■地域自治（コミュニティ）について

・町内会への仕事委託が多いと思います。
・新しい人は町内会に入りたがらず、活動への理解が薄い。町内会の会費、清掃、運動会、役回りなど理解してもらう必要がある。
・町内会が強すぎる。借家なのに、入らないと町内ではごみを出すと言われるのでびっくりします。
・町内会に入るのは自由らしいが、賃貸に住むとそこが良くわからない。以前入っていたが、引っ越した先は入っていない人が多いとのこと。
・集合住宅、アパートの町内会未加入により市広報以外の町内の情報等を知る機会がない。
・近所に新しい住宅が数軒建ちましたが、住民と顔を合わせることがない。災害時は助け合いが必要。町内や組等のプライバシーにかかわるようなものではなく、SNS 等のつながりがあればと思う。
・区画で住所が新しくなったが、住民がいつまでも旧住所を使っているので訂正するように呼び掛けてほしい。地区の用事で家を探すのに苦労します。
・子ども会の活動をもっと充実させてほしい。誰のための子ども会なのかかわからない。
・地域の人との交流の場が欲しい。現在子育て、65 歳以上の高齢者の会はあるが、60 代前半がないので増やして欲しい。
・高齢になってから市の中心でないところで生活していますが、地域の皆さんは地域のまとまりと発展に力を注いでいるように感じます。

5) こども

■子育てについて

・産婦人科に勤めておりますが、安城市は産後のお母さんに対して近隣の市よりも力を入れておりとても良いと思っています。私も安城市に住んでとても子育てがしやすかったの感謝しています。子育てに不安のあるお母さんたちをこれからも皆で支えていければと思います。
・双子の子供がおり、私はリウマチになりました。産後サービスを利用するのに沢山の壁があり、結果市外の実家に戻りました。障害がある家庭が住みやすいためにとはいうことを考えてもらいたいです。

・現在、不妊治療中で安城市の一般不妊治療助成金も過去に利用させていただきました。ですが実際に費用がかかるのは特定治療以降なので、国の助成金にプラスして特定治療助成金を設けていただけると非常にありがたいです。子育てに対する援助は厚い自治体だと思いますが、そこにたどり着けない人間にとっては疎外感を覚えることが多々あります。
・子どもが雨の日でも体をダイナミックに動かして遊べる施設や、大人がゆっくりくつろげるマンガ読み放題等の施設が出来ればいいのと思います。子供が体を動かして遊べるように公園にバスケットゴールやサッカーゴールがもっと置いてあると良いと思います。安城市が好きです。いつも手厚いサービスに感謝しています。行政の皆様いつもありがとうございます。「安城市ってあそこがあるからいいよね」と言われるようなユニークな遊び心がある施設です。（例：大人も子供もできるボルダリング、トランポリンが室内にある施設。）
・住んでいる桜井学区は人口が増え続けており、保育園に入るのも難しい。小学校は増設されたが、これ以上人口が増えたらどうするのか。桜井中は受け入れ可能なのか。今後子どもが入学していくのでどうなっていくか心配。将来的な計画が分からないので知りたい。
・子どもを育てやすいまちを目指すにあたり、保育園と時間延長保育ができる園を増やしてください。母親が勤務するには現状0～2歳児の受け入れが少ないです。2人目を園に入れるために1人目を転園させなければならない状況も子どもにとっては辛いと思います。
・地元の保育園に入園できないと聞いて残念です。小学校入学時に同じ保育園からの友達がいなのは不安です。地元の保育園に入園できるようにお願いします。
・子育て中の人にとって仕事をしやすい反面、保育士の負担が大きい気がします。子どもを預かる側に温かい目を向け対策を講じて欲しい。
・生まれて間もなく子どもを保育園に預けられ、母親と触れる時間が少ないのは疑問に思います。人格形成に大事な時期であり、母親の愛情をしっかり受ける必要があります。育休の充実の方が保育施設の充実よりも大切に思います。子は将来の安城市を担う宝です。
・児童クラブは6年生まで希望者全員を受け入れて欲しい。放課後教育や体育館貸し出しなどで対応して、かぎっ子を減らして欲しい。
・児童クラブの充実。学校との連携を切に願う。本物の子育て支援を市を挙げて考えていく。
・幼稚園・保育園、小学校・中学校の給食費無償化。
・18歳未満も教育費、医療費、給食費を無料にする。
・問23に給食費の無料化とありますが、親の責任として食費は親が負担すべきなので無料化に反対です。

■ひとり親家庭福祉について

・母子家庭に優しい援助をお願いしたい。子供1人でも学校給食費・保育料の無償化を。子供1人でも大変な家庭はある。子供は宝物。
・安城市は他の市と比べると子育てや老人、障がい者への方の支援や施設が充実していて住みやすいと思います。ただ、母子家庭の身では少し税金が高いのが気になります。

■学校教育について

・小学校の少人数学級を6年生まで伸ばして欲しい。
・小中学校の授業を画一的な物ではなく、子どもが自分で考え、行動することを促すような工夫をしてほしい。答えを導くものではなく問いを探せるようなものが良い。
・特別支援学校の増設、教育の質の向上のための予算を確保。
・熱中症が話題になっているが、冷房の設置予定が公表されていない。他市と比較して遅れすぎている。

- ・今年の春頃、保育園や小学校の門近くに「冷暖房工事中」の掲示板を見てほっとしました。しかし、今回の工事は1、2年生の教室のみだったようで、近所に小学2年生、5年生のお子さんがいるお母さんと話した時には兄弟げんかのもとになっているとのことでした。予算等色々あるとは思いますが、1～2年遅れても全教室を同時に完成していただく方が良かったと思います。異常気象の近年、1日も早く全ての教室や体育館、職員室等を冷暖房完備にさせていただきますようお願いします。

6) 行財政運営

■行財政運営について

- ・名鉄新安城駅の改装に多額の税金が使われることについて市の明確な説明が成されていない。市民の疑問に答えるのがまちづくりのスタートであると考えます。
- ・アンフォーレ及びその周辺の区画整備にはいくら税金が使われたのですか。税務署や年金事務所は未だに刈谷市ですが、今日安城市の方が人口は多いのにどうしてですか。安城市に設置できないのですか。
- ・財政は問題ないため、コンサルタントを入れて市のPRをもっとがんばってもらいたい。
- ・広報活動がよくない。広報あんじょうも読みたいと思わない。マンガなどにして読みたくなる工夫が必要。
- ・広報あんじょうで全てとは言わないが情報が出来ていると思われては困る。広報あんじょうを見ていない人又は見ない方にどうしたら見てもらえるかを工夫する必要があると思います。
- ・問4から問26は内容を知らないものが多数。市民全体に周知させてほしい。自分に該当するものが何か全く分からない。安城市がいろいろな取組みをしても、知らないことが多すぎて市民が利用できていない取組みが多い。
- ・学校や保育園に提出する色々な書類や住民票もろもろは電子化して欲しい。Web上でやり取りできるようにしてほしい。紙で処理はやめて欲しい。
- ・行政サービスの早期デジタル化。（手続き業務、証明書発行等）
- ・コンビニ交付は店員のモラルが低いので信頼性がない。
- ・私はデイサービスの介護職として働いています。選挙があるたびに思うのですが、利用者様のほとんどが投票に行かれていません。デイの施設には来ていただけるのに。素人考えですが、期日前投票があるように選管の方が施設を周ってはどうか？1日1～2時間でいいので。

7) その他

■まちづくりについて

- ・現状住みやすいまちで概ね満足していますが、これからの高齢化社会に向けて、高齢者が自ら助け合って生き生きと暮らせるような施策、仕組みづくりが重要かと思います。
- ・神谷市長のもとで従来にないような変更が沢山実施されていてその効果も感じられるので今後に期待しています。
- ・第8次総合計画の進捗状況が分かりやすく理解できるように工夫して欲しい。
- ・非常に穏やかで生活に良い市だと思っています。しかし安城は生活基盤・観光・産業等に魅力が乏しいと感じます。市をアピールできる魅力あるまちづくり、地域コミュニティ、安心できる子育て等を展開していただきたい。
- ・他の周りの市（愛知県内）に負けない魅力ある施策、取組みをしてほしい。岡崎、刈谷、知立あたりに負けている感あり。

・家で過ごす以外にも外に散歩、スポーツ、鑑賞、食事等充実した毎日を楽しく過ごせるまちにしてください。
・昔は良かったと思わない、思わせない街づくりを進めてもらいたい。安城七夕まつり、小学校の運動会の短距離など今時にならうのは大変良いことだが、でも昔は良かったと思う。
・人は病気にもなるし老いる。人々の明るい希望だけに応じるまちづくりだけではなく、人の孤独などの負の状態にも温かく包み込み、真価を発揮するまちづくりを望みます。

■安城市について

・安城市は住みやすい町だと感じている。この街は静かだし、人とは付き合いやすい。道路がきれいである。この環境を守ってってください。
・安城市すごく良い所だと思った。生活しやすく出来る限りずっと暮らしていきたい。
・私は 17 年前に安城市に引っ越してきました。他の市に比べて非常に住みやすいと思います。（特に子育て世代）今後も安城市、市長、益々の発展を期待しています。

■外国人との共生について

・安城市に定住する外国人、技能研究生等のサポート、教育に予算を使ってほしい。
・外国人の移住者が増え、小さい子供がいる我が家ではマナーやモラルの違いに不安を覚えます。近くに住んでいるというだけでも不安を感じるので、対策が必要だと思います。共存するにはお互い努力も必要では。
・外国人の労働者が増加していますが、車の運転マナーが悪く感じる。今後は治安維持の観点から注力を願いたいです。郷に入っては郷に従うのが日本人の美德でありますから、彼らにその良さを伝えることが出来れば健幸とやらも成就できましょう。よろしくお願いします。

■行政サービスや職員のあり方について

・対応が人によって違ったりするので統一してほしい。毎日のことなので大変だとは思いますが、分からないことがあって窓口に行っているのに、誰にでも分かるような理解しやすい説明をしていただきたいです。
・ずっと同じ市長だから市役所に停滞感を感じる。職員の皆さんが自発的に日々変革に取り組んでいただけると嬉しいです。
・行政は聞いたことには答えてくれるが、良い情報やデメリットがある情報は教えてもらえない。そういうことがないように業務を改善して欲しいです。
・一生懸命なことはわかりますが、置き去りの人やまちづくりのことが理解できない人に教えることも大切だと思います。
・市役所職員の対応があまりにも悪い。電話に折り返すと言って半年待っているがまだかかってこない。こちらから掛けたら「少々お待ちください」と5分保留された挙句「別件で担当者が対応していて出られない」と切る羽目になった。公務員はどんな対応をとっても給料が変わらないので OK なのですか。今後のまちづくりの意見を求める前に自身の対応を見直してください。

IV 調査票

市 民 アン ケ ー ト の お 願 い

日ごろから市政運営につきまして、ご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

安城市では、平成28年に第8次安城市総合計画*を策定し、めざす都市像「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に向け、あらゆる施策分野に健康の視点を取り入れ、安城市の特色をいかした個性あるまちづくりを進めています。

このアンケートは広く市民の皆様のお考え（満足度や重要度）をお伺いし、計画の進捗状況の把握や今後の取組への基礎資料として活用させていただく、非常に重要なアンケートです。

質問項目が多く誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

*計画期間：平成28年度から令和5年度まで（8年間）

- 1 安城市在住で18歳以上の市民の中から3,000人の方を無作為に抽出しました。
- 2 このアンケートは、宛名の方に記入をお願いしましたが、何らかの都合で記入できない場合は、ご家族の中で18歳以上の方であれば、どなたでも結構ですので代わってご回答をお願いします。その場合は、記入された方の立場でお答えください。
- 3 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。
- 4 アンケートに氏名を記入する必要はありません。結果は全て統計的に処理し、この目的以外に利用することはありませんので、お考えになっていることや、お感じになっていることをありのままご回答ください。
集計結果につきましては、広報あんじょう、ウェブサイト等で発表させていただきます。
- 5 ご記入いただいたアンケートは
5月31日（金）
までに同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送ください。
※返信用封筒の郵便番号 446-8790 106は料金受取人払用の安城市役所の郵便番号です。
- 6 アンケートについてご不明な点・ご質問等がありましたら、下記までおたずねください。

お問い合わせ先 安城市企画部企画情報課企画政策係
TEL 0566-71-2204（直通）
0566-76-1111（代表）
FAX 0566-76-1112

総合計画ってなに？

アンケートの前に、「総合計画」について簡単にご紹介します。

総合計画とは、安城市のまちづくりを進める上で一番重要な基本となる計画で、市が目指すまちづくりの方向や、それを実現するために取り組むべきことを定めた計画です。

第8次
安城市総合計画

幸せつながる健幸都市

安 城



第8次総合計画は、「幸せつながる健幸都市 安城」をテーマに次の5つの施策分野の目標とするまちの姿を掲げ、具体的な施策や事業を推進しています。

＜目標とするまちの姿＞	
「健 康」	生涯にわたり心身ともに健康にすごせるまち
「環 境」	くらしの質を高める持続可能なまち
「経 済」	地域の魅力、潤いと活力あふれるまち
「きずな」	人々が優しくつながり、支え合う安全安心なまち
「こども」	子どもたちを社会で豊かに育むまち

「第8次安城市総合計画」は市公式ウェブサイトで見ることができます。

市公式ウェブサイト <http://www.city.anjo.aichi.jp/>

1 あなた自身についておたずねします。

問1 該当するものをそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

1 性別

- 1 男性 2 女性

2 年齢（令和元年5月1日現在）

- 1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳代 8 80歳以上

3 職業

- 1 農業
2 自営業（卸小売業、製造建設業、会社役員を含む。）
3 会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む。）
4 学生・専門学校生
5 家事専従（専業主夫・主婦等）
6 無職・その他

4 現在お住まいの地区

（中学校区がわからない場合は、封筒のあて名シールをご参照ください。）

- 1 安城南中学校区 2 安城北中学校区 3 明祥中学校区
4 安城西中学校区 5 桜井中学校区 6 東山中学校区
7 安祥中学校区 8 篠目中学校区

5 安城市での居住年数（通算年数でお答えください。）

- 1 1年未満 2 1年以上5年未満
3 5年以上10年未満 4 10年以上20年未満
5 20年以上

2 安城市の住みやすさについておたずねします。

問2 安城市の住みやすさについて、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 住みよい 2 どちらかといえば住みよい
3 どちらかといえば住みにくい 4 住みにくい

問3 問2で「3 どちらかといえば住みにくい」または、「4 住みにくい」と回答した人におたずねします。住みにくいと思う点について、次の中から2つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 交通の便が悪い | 2 騒音、大気汚染等自然環境が悪い |
| 3 文化、スポーツ施設、教養施設が少ない | 4 緑地、公園、広場等が少ない |
| 5 地域の連帯感が希薄である | 6 日常の買い物が不便である |
| 7 娯楽施設が少ない | 8 教育、保育施設が少ない |
| 9 福祉、医療施設が少ない | 10 物価が高い |
| 11 その他（ ） | |

3 これまでの安城市の取組み全般についておたずねします。

次の事項（問4～問26）に対する安城市の取組みについて、あなたの評価をしてください。

ア【満足度】これまでの安城市の取組みについて、どれくらい満足していますか。

イ【重要度】今後、これらに安城市が取り組むことはどれくらい重要とお考えですか。
それぞれ1～7のいずれか1つに○を付けてください。

	ア【満足度】							イ【重要度】						
	1 非常に満足	2 満足	3 やや満足	4 やや不満	5 不満	6 非常に不満	7 わからない	1 非常に重要である	2 重要である	3 まあ重要である	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 全く重要でない	7 わからない
これまでの安城市の取組み														
○健康について（問4～問5）														
問4【健康・医療について】														
・健康診査、がん検診、乳幼児健診の実施														
・健康イベント（ウォーキング等）開催、あんじょう健康マイレージ事業の実施	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
・休日夜間急病診療所の運営														
問5【スポーツについて】														
・体育館、ソフトボール場などスポーツ施設の改修														
・安城シティマラソン、デンパーク駅伝、ウォーキングイベントなど市民参加スポーツ事業の開催	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
・女子ソフトボール日本リーグなど全国レベルのスポーツ観戦事業の開催														

これまでの安城市の取組み	ア【満足度】							イ【重要度】						
	1 非常に満足	2 満足	3 やや満足	4 やや不満	5 不満	6 非常に不満	7 わからない	1 非常に重要である	2 重要である	3 まあ重要である	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 全く重要でない	7 わからない
○環境について（問６～問１０）														
問６【 環境について 】 ・スマートハウス普及促進設備*1の設置補助 ・次世代自動車*2の購入補助 ・ごみの減量・分別に対する取り組み	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問７【 都市基盤（住環境）について 】 ・公園遊具の計画的な更新 ・下水道の計画的な整備 ・適切な管理がされていない空き家の対策	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問８【 生活安全について 】 ・地域や学校等での防犯・交通安全教室の開催 ・防犯灯・防犯カメラの設置 ・交通安全・防犯の啓発活動	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問９【 都市基盤（交通）について 】 ・あんくるバスの運行の充実（ダイヤの改正、循環線のルートの変更） ・新安城駅の整備、南安城駅のバリアフリー化（エレベーターの設置）	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問１０【 自転車の利用促進について 】 ・自転車走行空間（ブルーライン）の整備 ・自転車購入補助、TSマーク*3取得補助 ・自転車啓発イベント（サイクリング、自転車教室等）の実施	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

*1 スマートハウス普及促進設備：太陽光発電設備、燃料電池、蓄電池、HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）、住宅用次世代自動車充電システム

*2 次世代自動車：燃料電池車（FCV）、電気自動車（EV）、プラグインハイブリット車（PHV）、超小型電気自動車（LEV）

*3 TS マーク：自転車安全整備士が点検整備した自転車に貼付されるもので、傷害保険と賠償責任保険が付帯されている

	ア【満足度】							イ【重要度】						
	1 非常に満足	2 満足	3 やや満足	4 やや不満	5 不満	6 非常に不満	7 わからない	1 非常に重要である	2 重要である	3 まあ重要である	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 全く重要でない	7 わからない
これまでの安城市の取組み														
○経済について（問１１～問１４）														
問１１【 農業について 】 ・農地の流動化* ⁴ 、担い手* ⁵ の育成 ・農業の多面的機能共同活動* ⁶ 、ほ場整備の実施 ・地産地消・食育の推進	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問１２【 商工業について 】 ・市内企業の支援体制の充実 ・空き店舗対策の実施 ・安城ビジネスコンシェルジュ（ABC）の設置等、 創業支援の推進	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問１３【 観光について 】 ・七夕まつり、桜まつりの開催 ・デンパークの充実（施設・イベント） ・観光案内所やウェブサイトを活用した観光情報の発信	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問１４【 都市基盤（市街地）について 】 ・南明治地区土地区画整理事業の実施 ・中心市街地拠点施設アンフォーレの建設及び賑わい創出事業の実施 ・桜井駅周辺特定土地区画整理事業の実施	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
○きずなについて（問１５～問２２）														
問１５【 防災・減災について 】 ・防災ラジオ等による防災情報の発信 ・自主防災活動への支援、関係機関等との連携強化 ・雨水貯留施設の計画的な整備	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問１６【 地域福祉について 】 ・町内福祉委員会による地域見守り活動の推進 ・日常生活圏域（中学校区）における地域包括支援センターの設置 ・町内福祉委員会やボランティア団体の活動支援	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

*⁴ 農地の流動化：経営規模を拡大したい農業者や農業法人に対し、効率的な生産ができるように農地の貸借や売買を促進すること

*⁵ 担い手：地域の中心となって農業経営を行っていく意欲のある農業者や農業法人

*⁶ 多面的機能共同活動：農地及び農業用施設について、地域ぐるみで適切に保全活動をする活動団体に対して支援する事業

これまでの安城市の取組み	ア【満足度】							イ【重要度】						
	1 非常に満足	2 満足	3 やや満足	4 やや不満	5 不満	6 非常に不満	7 わからない	1 非常に重要である	2 重要である	3 まあ重要である	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 全く重要でない	7 わからない
問 17 【 障害福祉について 】 ・ 24 時間対応の相談体制の整備 ・ 就労支援など自立に向けた支援 ・ グループホームなど居住サービスの提供	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問 18 【 社会保障について 】 ・ 生活困窮者の自立支援 ・ 特定健診*7結果によって行う特定保健指導*8などの生活習慣改善の支援事業や医療受診の案内	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問 19 【 生涯学習について 】 ・ 公民館等における各種講座や教室の開催 ・ 図書館の充実とアンフォーレ、公民館図書室、学校図書室の連携による子ども読書の推進 ・ 文化センター、プラネタリウムの整備	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問 20 【 文化・芸術について 】 ・ 歴史的建造物、遺跡等の調査と保護、三河万歳等の伝承活動 ・ 文化芸術の鑑賞機会提供・情報発信	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問 21 【 参加と協働について 】 ・ 審議会等の市民公募委員の募集 ・ パブリックコメント*9、ワークショップ*10、eモニター*11の実施による意見募集 ・ 市民交流センターの充実と市民活動への支援	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問 22 【 地域自治（コミュニティ）について 】 ・ 町内会及び地域が行う活動への支援 ・ 町内会の管理する集会所施設等の建設・改修補助	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

*7 特定健診：40 歳～74 歳の人を対象に行われるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診

*8 特定保健指導：特定健診の結果に基づき、生活習慣のアドバイスなどを行うもの

*9 パブリックコメント：市が公表した施策等の案に対し、市民から意見を求めて、その意見の概要及び市の対応を公表する制度

*10 ワークショップ：参加者同士が問題解決のために議論や共同作業を行い、施策に対し理解を深めたり、意見を述べる研究集会

*11 e モニター：インターネットと電子メールを利用した登録制のアンケート調査

	ア【満足度】							イ【重要度】						
	1 非常に満足	2 満足	3 やや満足	4 やや不満	5 不満	6 非常に不満	7 わからない	1 非常に重要である	2 重要である	3 まあ重要である	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 全く重要でない	7 わからない
これまでの安城市の取組み														
〇こどもについて（問23～問25）														
問23【子育てについて】 ・低年齢児、延長保育、一時保育、休日保育等の充実 ・第3子以降の保育料・給食費の無料化及び小中学校給食費の無料化 ・児童クラブの対象学年拡大	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問24【ひとり親家庭福祉について】 ・ひとり親手当の支給 ・家庭相談員 ^{*12} による児童相談全般及び母子・父子自立支援員 ^{*13} による就業相談など ・産後の家事・育児支援事業の実施	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問25【学校教育について】 ・中学校1年生、小学校4年生までの少人数学級の実施 ・学校施設の改修（教室へのエアコン設置・トイレ・バリアフリー化など） ・授業でのタブレット端末等の情報機器の活用	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
〇行財政運営について（問26）														
問26【行財政運営について】 ・公開行政レビュー（公開事業評価）の実施 ・各種証明書のコンビニ交付サービスの実施 ・健全財政の堅持	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

*12 家庭相談員：地域や学校での人間関係、生活習慣、非行の問題などを抱える児童の保護者からの相談に対し、児童相談所など関係機関と連携して助言・指導を行う

*13 母子・父子自立支援員：ひとり親家庭の方が自立できるよう、生活の安定や子育ての相談、就業に関する相談・指導を総合的に行う

あともう少しだよ！！



4 あなたの日常生活についておたずねします。

問 2 7 ご自身は健康であると思いますか。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

- 1 思う 2 まあまあ思う 3 少し自信がない 4 かなり自信がない

問 2 8 自身の食生活の問題点はどのようなものですか。次の中から該当するもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1 栄養のバランスが悪い | 2 野菜が不足している |
| 3 塩分をとりすぎている | 4 高カロリー食が多い |
| 5 欠食がある | 6 食べすぎてしまう |
| 7 夕食が遅い | 8 時間が不規則 |
| 9 外食（中食）が多い | 10 孤食が多い |
| 11 特にない | |
| 12 その他（下の自由記入欄へご記入ください） | |

自由記入欄

問 2 9 1日にどれくらいの時間を歩きますか。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。（ウォーキング等の運動以外に通勤などの時間も含みます）

- | | |
|---------|-------------|
| 1 30分未満 | 2 30分～1時間未満 |
| 3 1時間以上 | 4 ほとんど歩かない |

問 3 0 あなたは普段どれぐらいの頻度でスポーツ・運動をしていますか。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。（ラジオ体操やさんぽ、山や公園などでの散策も運動に含みます）

- | | | |
|------------|---------------|----------|
| 1 週に5日以上 | 2 週に3～4日 | 3 週に1～2日 |
| 4 月に1～2日程度 | 5 スポーツ・運動はしない | |

問 3 1 安城市では「みるスポーツ」も推進しています。全日本大学女子ソフトボール選手権大会（インカレ）が安城市で開催されます。あなたは安城市で開催されるのを知っていましたか。

- 1 知っている 2 知らなかった 3 何のことかわからない

問 3 2 通勤・通学以外で安城市内を移動するとき、あなたが最も多く利用する交通手段はどれですか。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 公共交通機関（鉄道やバス） | 2 自家用車（四輪車） |
| 3 バイク・原付 | 4 自転車 |
| 5 徒歩 | |

問 3 3 安城市内での移動手段として、主にどのような交通手段を使っていますか。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------|
| 1 公共交通機関（鉄道やバス） | 2 自転車 |
| 3 徒歩 | 4 自動車 |
| 5 その他 | |

問 3 4 移動手段として、自転車の利用を増やしていきたいですか。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

- | | |
|----------|-------------|
| 1 増やしたい | 2 できれば増やしたい |
| 3 考えていない | 4 分からない |

問 3 5 本市の文化や芸術に愛着や誇りを感じますか。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

安城市の取り組み

- ・市民芸術祭（安美展、市民文芸まつりなど）の開催
- ・歴史博物館企画展の開催
- ・歴史の散歩道の充実

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 感じる | 2 どちらかといえばそう感じる |
| 3 どちらかといえばそう感じない | 4 感じない |
| 5 どちらでもない | 6 わからない |

問 3 6 本市の貴重な観光資源であるデンパークについてお聞きします。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

安城市の取り組み

- ・花と緑の魅力ある公園づくり
- ・地元農産物や特産品の P R 等地場産業の振興
- ・子どもの遊び場等のリニューアルや様々なイベント

- | | |
|---------|---------|
| 1 非常に満足 | 2 満足 |
| 3 やや満足 | 4 やや不満 |
| 5 不満 | 6 非常に不満 |
| 7 わからない | |

問 3 7 本市は子育て中の人が仕事をしやすい環境が整っていると思いますか。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

安城市の取り組み

- ・児童クラブの学年拡大（定員に余裕のあるクラブから 6 年生まで受入）
- ・低年齢児の受け入れ拡大（和泉保育園の改築、民間保育所等の誘致）
- ・子育て女性の再就職支援（セミナー、相談会の開催）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 思わない |
| 5 どちらでもない | 6 わからない |

問 3 8 本市は消費生活に関する相談体制が整っていると思いますか。次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

安城市の取り組み

- ・消費生活センターの開設（相談スペースの拡充）
- ・消費生活講座の実施

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 思わない |
| 5 どちらでもない | 6 わからない |

問 3 9 本市では市民が主役の自治の実現を目指して自治基本条例を制定しています。自治基本条例について、次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 詳しく知っている | 2 知っている |
| 3 ある程度知っている | 4 名前は聞いたことがある |
| 5 知らない | |

問 4 0 マイナンバーカードがあればコンビニで住民票、印鑑証明書及び戸籍証明書が取得できます（ただし、一部条件により取得できない場合があります）。コンビニ交付サービスについて次の中から 1 つ選び番号に○をつけてください。

- 1 マイナンバーカードを持っているので機会があれば利用したい。
- 2 マイナンバーカードは持っているが利用するつもりはない（下欄へ）。
- 3 今後、マイナンバーカードを取得して利用したい。
- 4 マイナンバーカードを取得するつもりはない（下欄へ）。

2 又は 4 の理由を記入してください。

問 4 1 地震への備えとして、家具等の転倒防止のための固定を行っていますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 行っている | 2 行っていないが、行う予定である |
| 3 行っていないが、できれば行いたい | 4 行っていないが、行う予定はない |
| 5 わからない | |

問 4 2 地震への備えとして、食料や飲料水の備蓄を行っていますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 行っている | 2 行っていないが、行う予定である |
| 3 行っていないが、できれば行いたい | 4 行っていないが、行う予定はない |
| 5 わからない | |

問 4 3 「健幸（ケンサチ）」という言葉を知っていますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 言葉の意味を知っている | 2 意味はわからないが、聞いたことはある |
| 3 知らない | |

問 4 4 「健幸（ケンサチ）」とは、市民一人ひとりが身体的・精神的に健康であることに加えて、趣味や社会貢献などの様々な活動を通じ、日々の生活に「いきがい」や「感動」を見出し、生きていることの喜びを実感することです。普段から心掛けていることを教えてください。次の中から該当するもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 食事の栄養バランスを考える | 2 運動や体を動かす |
| 3 外出時はなるべく歩く | 4 趣味を持つ |
| 5 よく笑う | 6 年1回、健診を受ける |
| 7 地域活動へ参加する | 8 感謝の気持ちを伝える |
| 9 新しいことにチャレンジする | 10 家族や友人と支え合う |

11 その他（下の自由記入欄へご記入ください）

自由記入欄

最後に、安城市の今後のまちづくりに対するご意見などがありましたらお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

健幸[ケンサチ] つながる。はじまる。安城
健幸[ケンサチ]のまち、安城